

# 協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書



平成20年3月  
(平成19年8月実施)

豊島区



## 目次

## . 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査内容	1
4	回収結果	1
5	基本的な表記等	1
6	回答者の基本属性	2

## . 調査結果

第1章	豊島区の印象について	7
1 -	住み心地〔問1〕	7
1 -	住み心地の変化〔問1 - 2〕	8
1 -	住み心地の変化の理由〔問1 - 3〕	10
2	定住意向〔問2〕	14
3	地域への愛着〔問3〕	15
第2章	地域の生活環境について	17
	〔設問設定の考え方〕	17
1	目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕	20
	福祉	20
	健康	21
	子育て	22
	教育	23
	コミュニティ	24
	環境	25
	都市再生	26
	安心・安全	27
	観光・産業	28
	文化	29
	その他	30
	池袋副都心のまちづくり	31
	グループ全体を通して見た「最近の評価」	32
2	目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕	34
	福祉	34
	健康	35
	子育て	36
	教育	37
	コミュニティ	38
	環境	39
	都市再生	40
	安心・安全	41
	観光・産業	42
	文化	43
	池袋副都心のまちづくり	44

3	「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問4〕	45
	福祉	46
	健康	48
	子育て	50
	教育	52
	コミュニティ	54
	環境	56
	都市再生	58
	安心・安全	60
	観光・産業	62
	文化	64
	池袋副都心のまちづくり	66
第3章	区の政策について	69
1	区政全般への要望〔問6〕	69
2	震災等への備えについて〔問7〕	73
3 -	コミュニティバス導入について〔問8 - 1〕	75
3 -	コミュニティバス導入検討の際に重視すること〔問8 - 2〕	77
4	これからの行政のあり方〔問9〕	81
5 -	区政に意見を反映させる機会への参加〔問10 - 1〕	87
5 -	区政への参加を広げていくために必要なこと（区の情報を知るための手段） 〔問10 - 2〕	89
5 -	区政への参加を広げていくために必要なこと（区政に参加するための機会） 〔問10 - 2〕	92
第4章	地域におけるコミュニティや協働について	95
1	地域協議会の設置単位〔問11〕	95
2	地域の課題解決への取り組みについて〔問12〕	97
3	区民と行政とが協働する地域活動で重要と思うもの〔問13〕	99
4	地域活動への参加状況〔問14〕	103
5	参加している・したい活動組織〔問14 - 1〕	105
6	参加できない・参加したくない理由〔問14 - 2〕	108
7	地域活動に、より多くの人に参加できるようにするために必要なこと 〔問14 - 3〕	112
8	地域で活動する組織間の連携のあり方〔問15〕	114
9	これからのまちづくりを担っていく主体〔問16〕	116
10	地域の活動を解決する場合の住民と行政との役割分担のあり方〔問17〕	119
. 調査票		121

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした新しい区民運営を実現するため、区民や団体等の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成19年8月1日～8月24日

## 3 調査内容

豊島区の印象について  
 地域の生活環境について  
 区の政策について  
 地域におけるコミュニティや協働について  
 調査対象者の基本属性について

## 4 回収結果

発送数	回収数	回収率
人	人	%
5,000	1,471	29.4

## 5 基本的な表記等

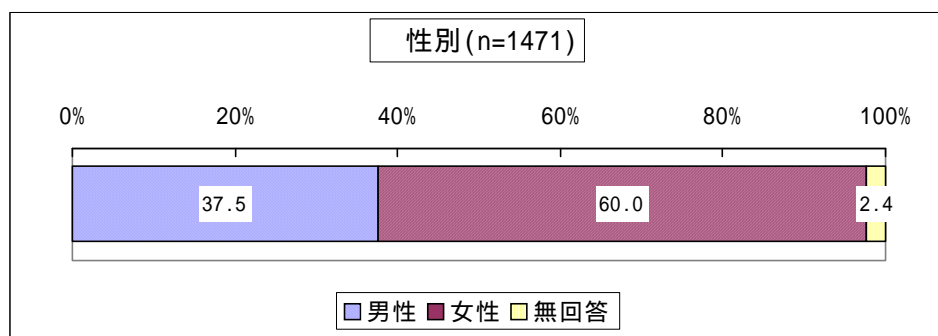
- (1) 図・表中のnとは、設問や選択肢に対する回答数のことである。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計全体の示す数値と一致しないことがある。  
 なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 図・表中の“-”は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。

- (4) 複数回答ができる質問では、回答者比率の合計が 100%を超える。なお、その場合には、グラフ中に「 2つ選択」や「 あてはまるものすべて選択」などと記載している。
- (5) 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

## 6 回答者の基本属性

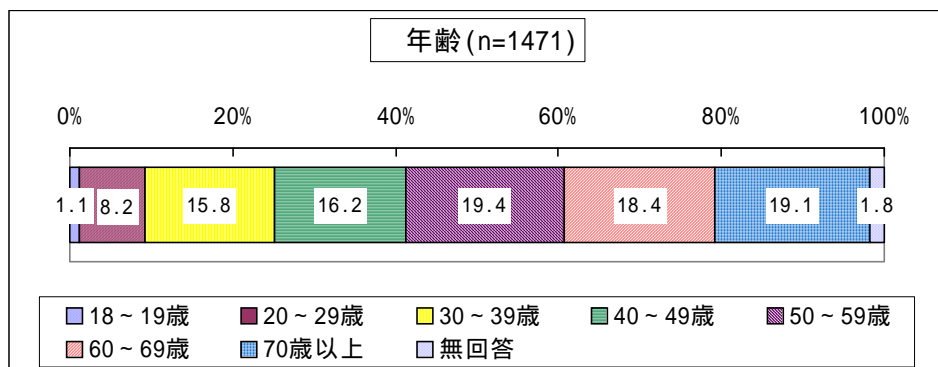
### (1) 性別

- 「女性」が6割、「男性」が4割である。



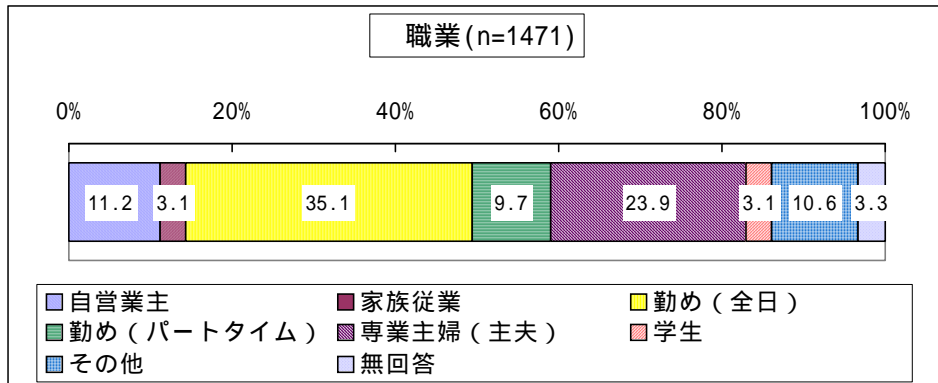
### (2) 年齢

- 「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」がそれぞれほぼ同数、各2割弱で並んでおり、次いで「30歳代」、「40歳代」がほぼ同数で次いでいる。「29歳以下」は1割弱である。



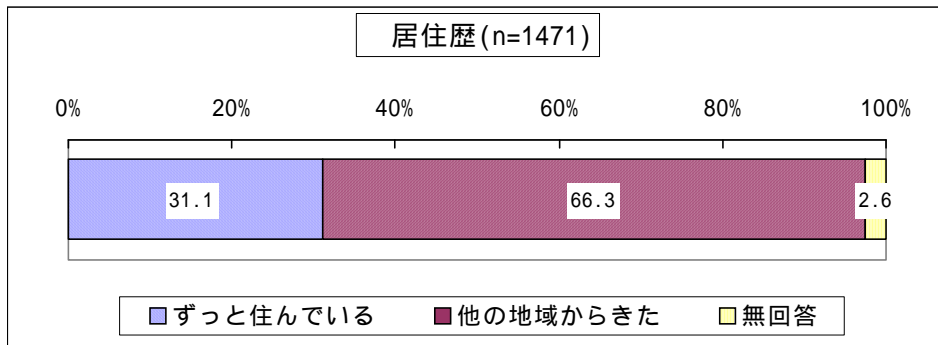
(3) 職業

- 「勤め(全日)」(35.1%)が最も多く、「専業主婦(主夫)」(23.9%)が次いでいる。この両方で6割近くを占める。



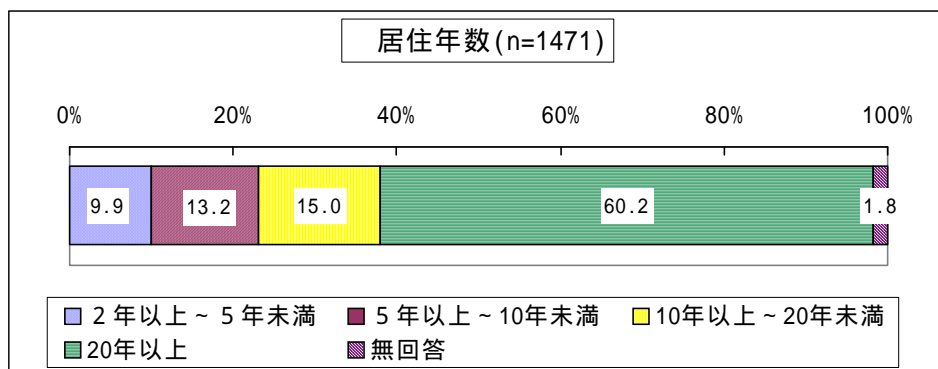
(4) 居住歴

- 「他の地域からきた」が7割弱を占め、「ずっと住んでいる」は3割である。



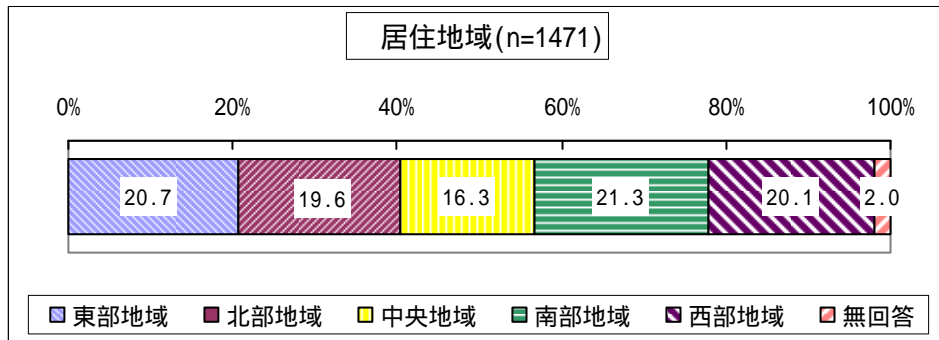
(5) 居住年数

- 「20年以上」が6割と最も多く、「10~20年未満」(15.0%)、「5~10年未満」(13.2%)と続いており、「2年以上~5年未満」は1割である。



( 6 ) 居住地

- 5地区区分では、中央地域(16.3%)がやや少ないが、東部(20.7%)・北部(19.6%)・南部(21.3%)・西部(20.1%)とそれぞれの地域が約2割である。



注) 5地区の町丁構成

東部地域 ( 駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚 )

北部地域 ( 西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町 )

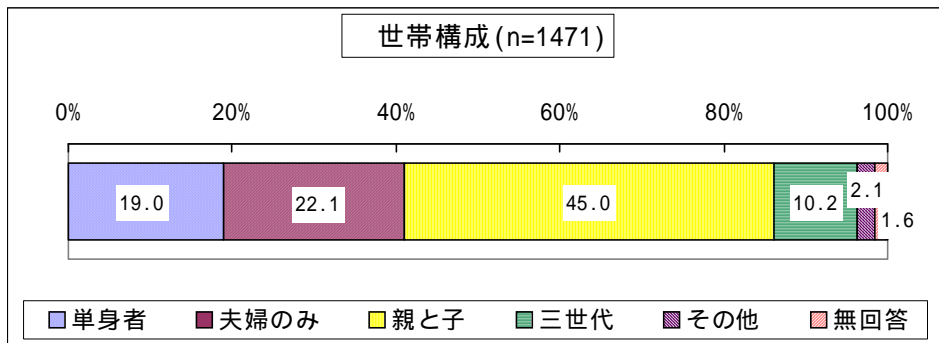
中央地域 ( 東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋 )

南部地域 ( 南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白 )

西部地域 ( 南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川 )

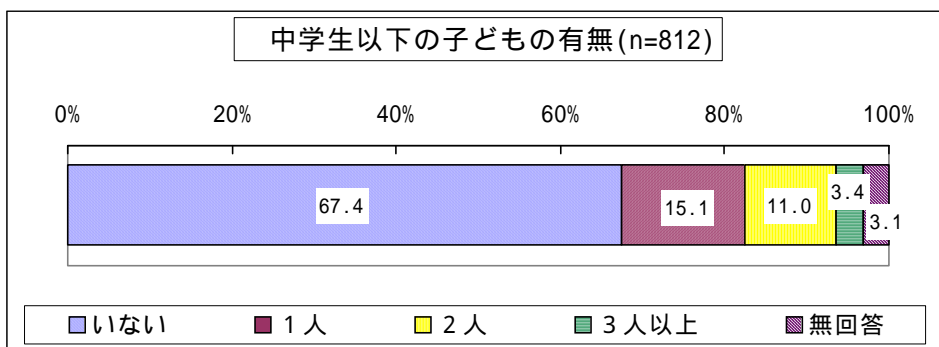
( 7 ) 世帯構成

- 「親子」の世帯構成が最も多く5割近くを占める。次いで「夫婦のみ」、「単身者」がそれぞれ約2割で続いている。「三世代」は1割である。



( 8 ) 中学生以下の子どもの有無

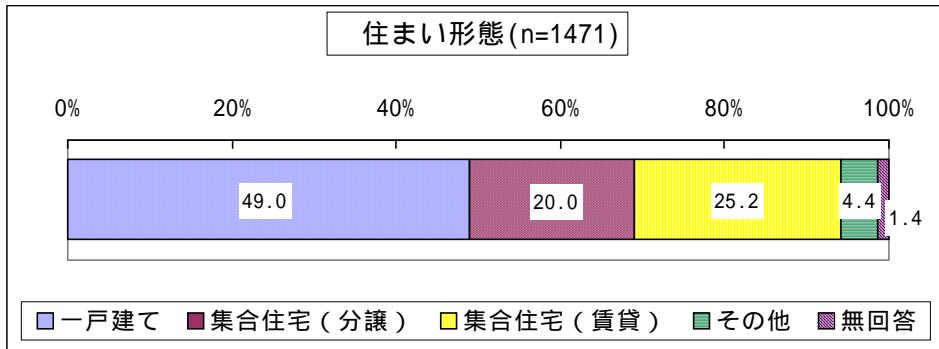
- 「親子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは)いない」が7割近くを占めている。
- 中学生以下の子どもの数は、「1人」が最も多く、「2人」、「3人以上」の順である。





(9) 住まい形態

- 「一戸建て」が5割と最も多く、「集合住宅(賃貸)(25.2%)」「集合住宅(分譲)(20.0%)」と続いている。



《今回調査と前回(平成16年度)調査の回答者の基本属性比較》

	平成19年度調査(今回) n=1,471(数値は%)	平成16年度調査(前回) n=805(数値は%)
基本属性	n=1,471(数値は%)	n=805(数値は%)
性別	・男性 37.5 ・女性 60.0 ・無回答 2.4	・男性 38.5 ・女性 58.8 ・無回答 2.7
年齢	・18~19歳 1.1 ・20~29歳 8.2 ・30~39歳 15.8 ・40~49歳 16.2 ・50~59歳 19.4 ・60~69歳 18.4 ・70歳以上 19.1 ・無回答 1.8	・20~29歳 8.0 ・30~39歳 13.0 ・40~49歳 15.8 ・50~59歳 21.4 ・60~69歳 19.5 ・70歳以上 20.4 ・無回答 2.0
職業	・自営業主 11.2 ・家族従業 3.1 ・全日勤め 35.1 ・パートタイム勤め 9.7 ・専業主婦 23.9 ・学生 3.1 ・その他 10.6 ・無回答 3.3	・自営業主 15.4 ・家族従業 3.5 ・全日勤め 27.1 ・パートタイム勤め 8.8 ・専業主婦 28.6 ・学生 2.1 ・その他 10.8 ・無回答 3.7
居住歴	・ずっと居住 31.1 ・他地域から 66.3 ・無回答 2.6	・ずっと居住 37.0 ・他地域から 60.1 ・無回答 2.9
居住年数	・2年~5年未満 9.9 ・5年~10年未満 13.2 ・10年~20年未満 15.0 ・20年以上 60.2 ・無回答 1.8	・2年未満 - ・2年~5年未満 1.5 ・5年~10年未満 7.1 ・10年~20年未満 9.8 ・20年以上 79.6 ・無回答 2.0
居住地域	・東部 20.7 ・北部 19.6 ・中央 16.3 ・南部 21.3 ・西部 20.1 ・無回答 2.0 町丁まで回答、5地区区分変更	・東部 27.1 ・北部 9.8 ・中央 16.8 ・南部 10.3 ・西部 33.8 ・無回答 2.2 町名のみ回答
世帯構成	・単身者 19.0 ・夫婦のみ 22.1 ・親と子 45.0 ・三世代 10.2 ・その他 2.1 ・無回答 1.6	・単身者 16.6 ・夫婦のみ 21.0 ・親と子 46.5 ・三世代 10.4 ・その他 2.9 ・無回答 2.6
中学生以下の子どもの有無	(n=812:親と子、三世代の回答者) ・いない 67.4 ・1人 15.1 ・2人 11.0 ・3人以上 3.4 ・無回答 3.1	(n=458:親と子、三世代の回答者) ・いない 71.2 ・1人 13.5 ・2人 10.3 ・3人以上 2.8 ・無回答 2.2

注)平成16年度調査は、平成17年3月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。(なお、前回の標本数は20歳以上の区民3,000人、回答者総数805人)



# ・ 調査結果

## 第1章

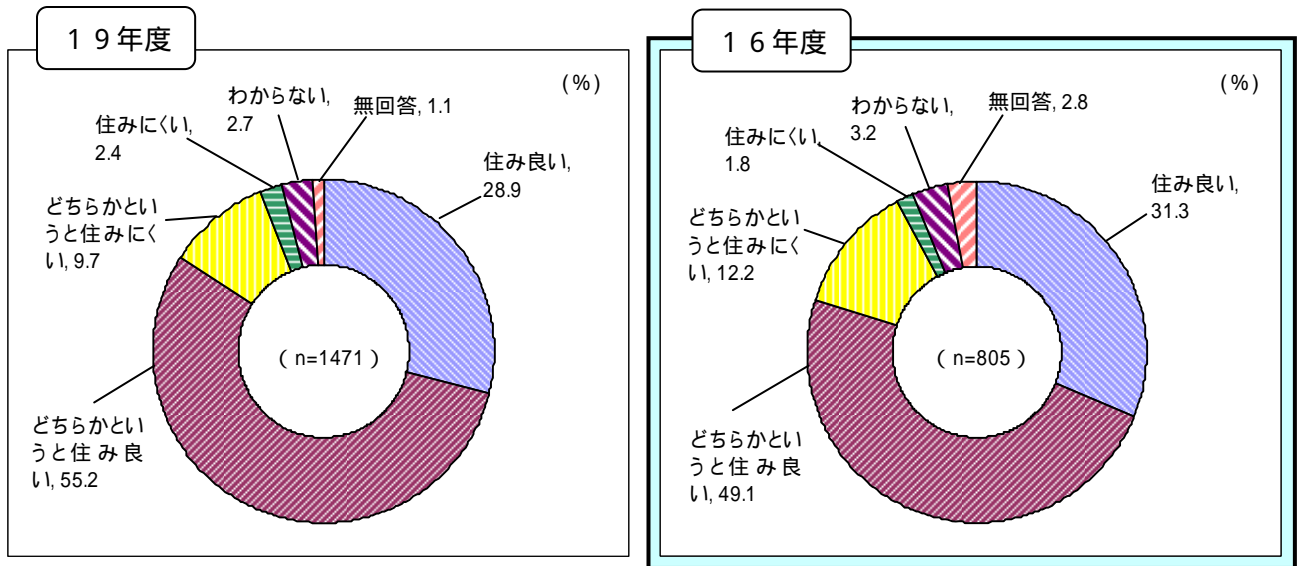
### 豊島区の印象について



# 第1章 豊島区の印象について

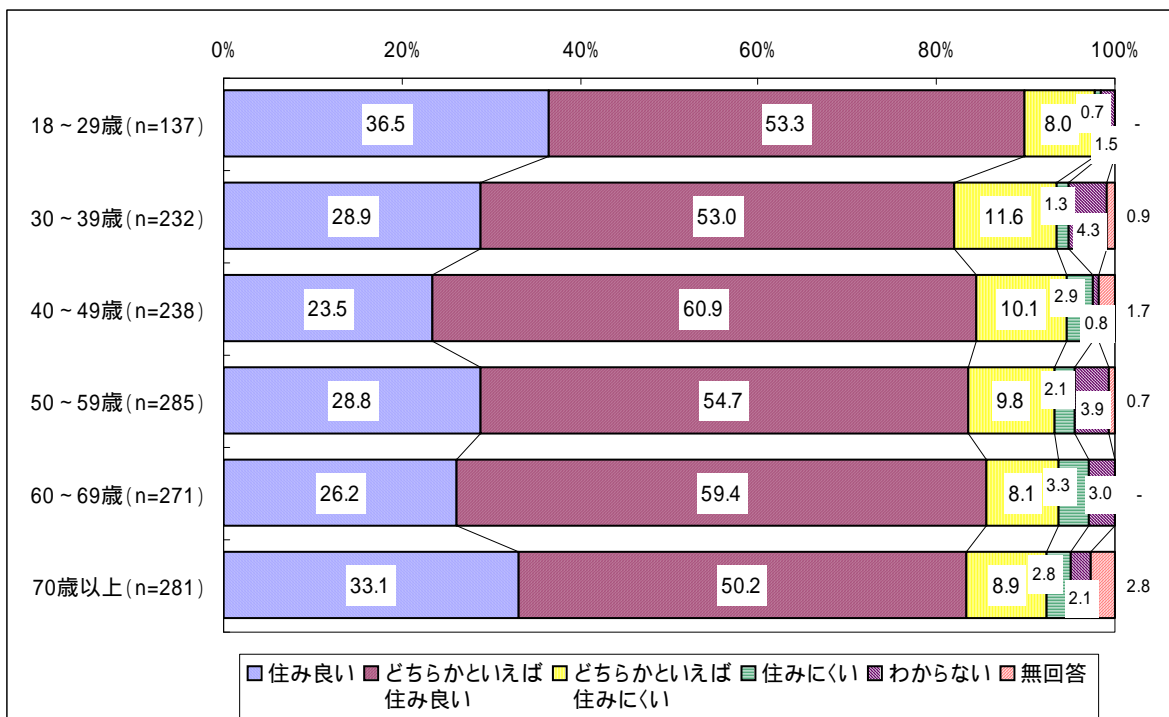
## 1 - 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「どちらかといえば住み良い」(55.2%)が最も高く、「住み良い」(28.9%)と合わせると8割強(84.1%)となっている。
- 平成16年度調査と比較すると、「住みよい」「どちらかというと住みよい」の合計(16年度80.4%)は3.7ポイント高く、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の合計(16年度14.0%)は1.9ポイント低くなっている。



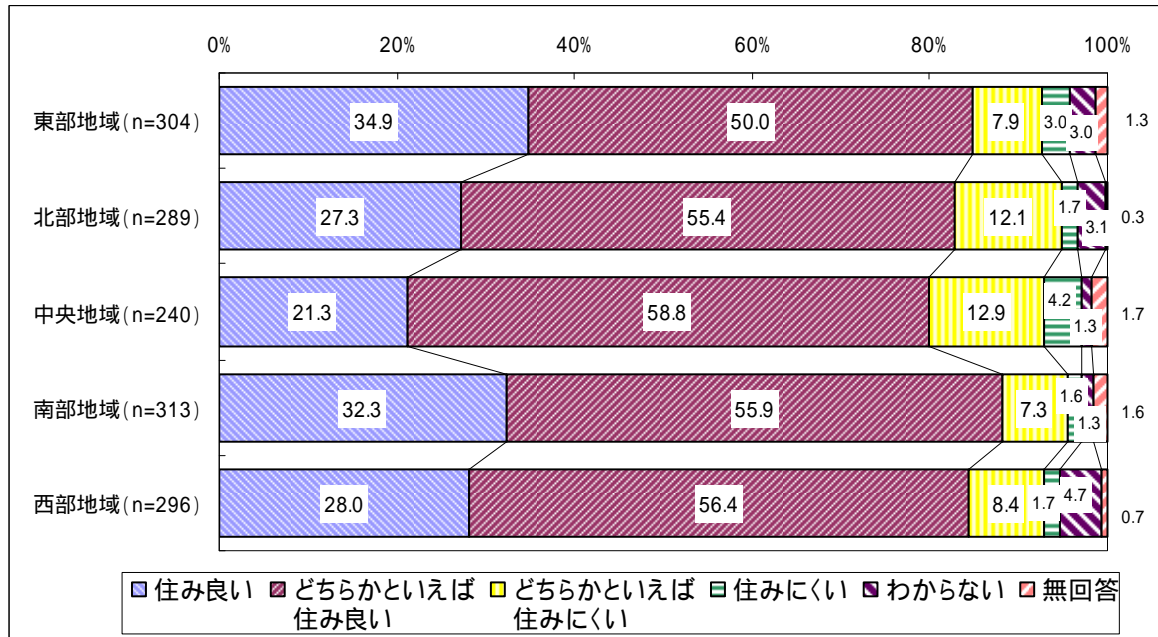
### 【年齢別】

- 「18～29歳」と「70歳以上」で「住み良い」が3割を超えている。「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせると、年齢別にばらつきは少なく、全ての年齢で8割を超えている。



【地域別】

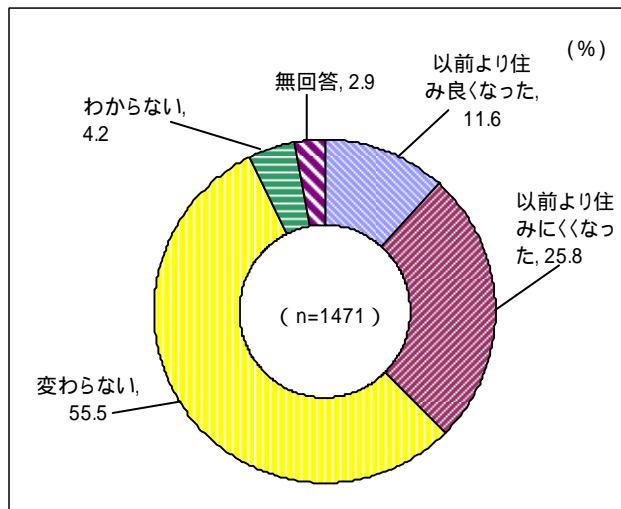
- 東部地域と南部地域で「住み良い」が3割を超えているが、中央地域では、2割程度になっている。
- 「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせると、地域別にばらつきは少なく、全ての地域で8割を超えている。



地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

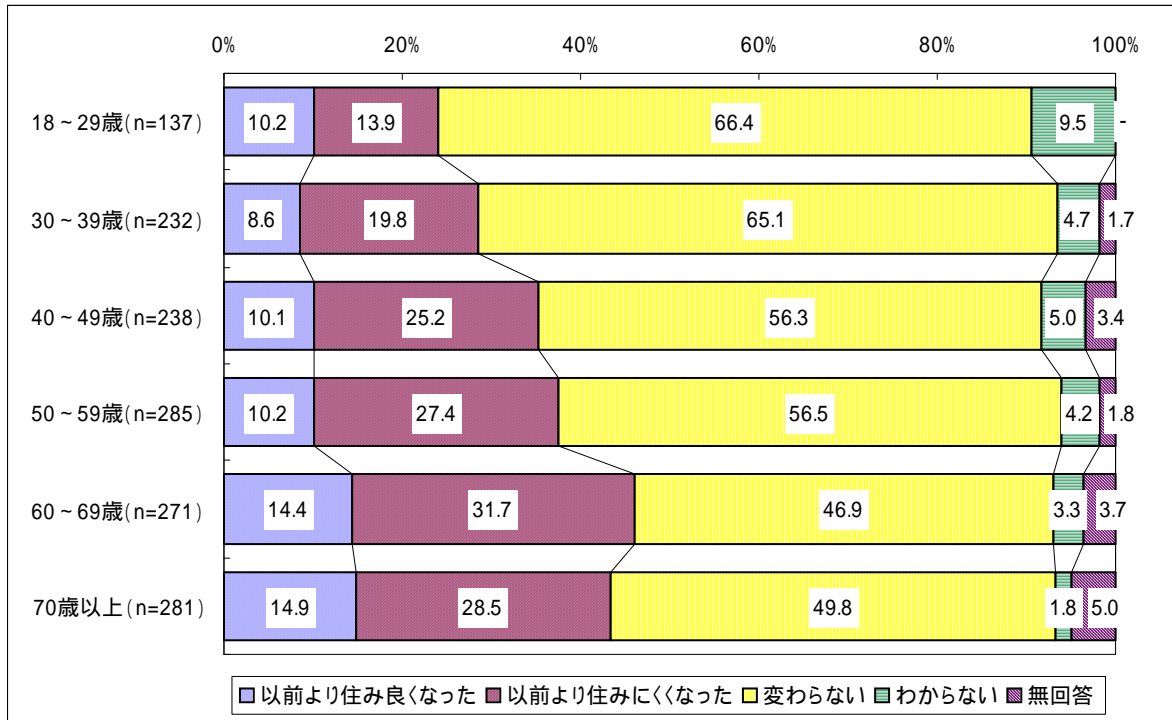
1 - 住み心地の変化〔問1 - 2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、住み心地は「変わらない」(55.5%)が6割近くで最も高くなっている。
- また、「以前より住み良くなった」(11.6%)よりも「以前より住みにくくなった」(25.8%)と回答する割合が高い。



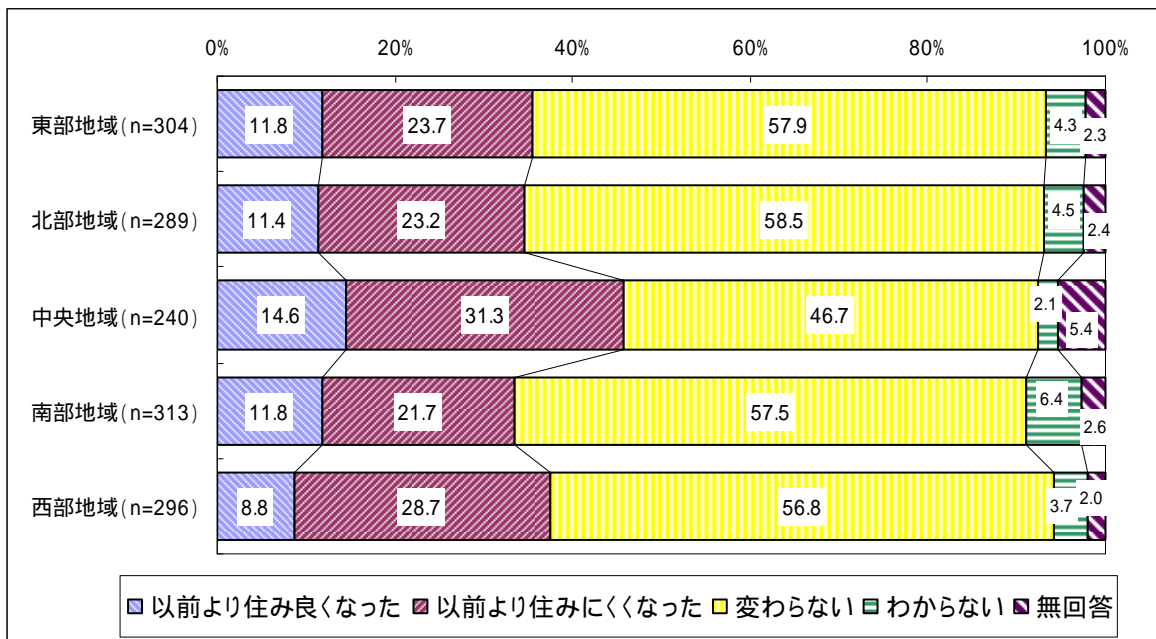
【年齢別】

- 全ての年齢層で、「以前より住みよくなった」より「以前より住みにくくなった」と考える人の割合が高い。
- 年齢が高くなるほど「以前より住みにくくなった」の割合が高くなる傾向がみられる。



【地域別】

- 全ての地域で、以前より「住みよくなった」より以前より「住みにくくなった」と考える人の割合が高い。
- 中央地域では、以前より「住みにくくなった」が3割を超えている。



地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

## 1 - 住み心地の変化の理由〔問1 - 3〕

〔問1 - 2〕で「以前よりも住みよくなった」「以前よりも住みにくくなった」と回答した人に、その理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

### 【以前よりも住みよくなった主な理由】

区 分	件 数	主 意 見
交通の便がよくなった	29件	地下鉄が通って、交通の便がよくなった
		埼京線にりんかい線が通るようになった
		駅のアクセスが便利になった
		都心に出るのが便利
		南北線開通により便利になった
		池袋駅周辺の商業性が増した / 首都高延長や、地下鉄の開通が見込まれ、利便性が更に良くなる
		近くに大江戸線の駅が出来た
		要町通りの歩道が良くなった
		公共の交通機関が便利でよい
		池袋駅の地下道
		有楽線が開通したので
		環境が良くて、交通の便も良い
元々交通の便は良かったが、さらに良くなりどこへ行くにも非常に便利		
買い物が便利になった	27件	コンビニが増えた
		日常生活に必要な店々が近くにあるようになった
		駅を挟んで両側にスーパーがあり、冷暖房が充実して、ゆっくりと買物ができる
		食品を買える店が新しく出来てきた
		東池袋周辺にスーパーやお菓子屋さんや雑貨店等のお店が増え、池袋駅のデパートまで買い物に行かなくともよくなった
		近くに大型スーパーが出来て、日常の買い物が便利になった
		近くのスーパーやデパートのレベルがあがって、食材など良い物が買いやすくなった
街づくり	27件	細い道路が広がった
		街灯が明るく安心
		東長崎駅に階段だけでなくエスカレーターとエレベーターが付いた
		建て直した家の前の道が広がっていきから
		インフラの整備が良くなっている、また改善の意欲が見られる
		駅の周辺がきれいに整備されてきている
		駅周辺の歩道が広くなり歩きやすくなった
		排気ガスが以前ほど気にならない
		公園がきれいになった
		公園が以前より増えた
		駅前の放置自転車や不愉快な呼び込みが無くなったことで、歩き易くなった。
		巣鴨駅周辺が整備され、花などで綺麗な街になった
		地域がきれいになった



区 分	件 数	主 意 見
治安がよくなった	7件	警官の見回りが多いため、安心していられる
		パトカーの巡回が増え、防犯がよくなった
		治安、犯罪について以前より良くなっている
		駅が近くになり、管理人がいて庭もあり静かで治安が良く毎日が快適
騒音がなくなった	5件	車通りが多少少なくなった
		閑静な地域になった
		高速道路の遮音壁などで騒音が低減した

## 【以前よりも、住みにくくなった主な理由】

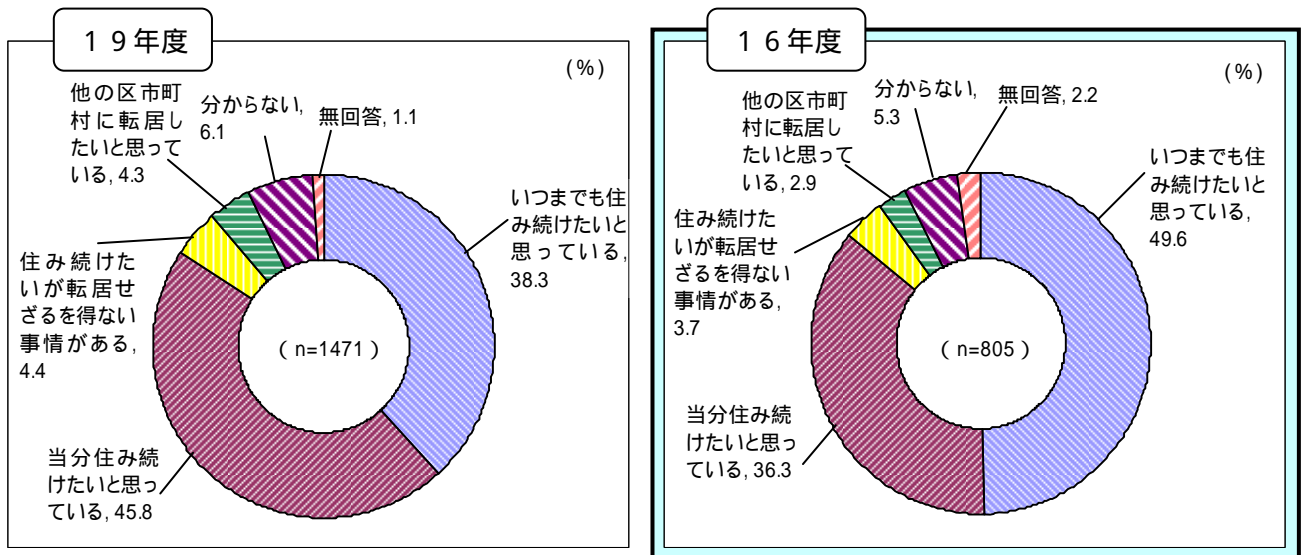
区 分	件 数	主 意 見
治安・マナー	78件	外国人犯罪の増加
		高層マンションの増加により、物騒になっている
		玄関、窓の施錠を完全にしなければ安心できない
		空巣等の犯罪が多くなった
		夜遅く細い路地に入ってくる人が多くなり、物騒になってきた
		池袋などは治安が悪くなったと思うから
		犯罪が多く子供を1人で歩かせられない
		のぞきなどが多くなった
		環境や治安が以前より悪化している
		町のウォッチング機能減少
		ゴミ出だしなどのルールが守られていない
		外国人が多くなり、マナーが悪い
		ワンルームの賃貸アパートが増え、居住者のマナーが問題
		自転車のマナーが悪い
		マナーの悪い人が増えた
		野良猫が増え、糞害に困っている
		若年層が増え、活気が出た反面、マナーが悪くなった
		個人のモラルの低下で、タバコのポイ捨て、道路のゴミが増えた
		周囲の迷惑を考えない行動や暮らしをしている、若者のモラルの低下
		ペットを連れて散歩する人のマナーが悪い
		駅や公園にホームレスがいて、歩くのが怖い
		使用する側が勝手すぎて公共マナーが悪くなった
		ごみのポイ捨てなど生活面でのマナーの悪さが目立つ
		公園ができてからは、夜も昼も人の騒がしさ、犬の鳴き声、子供のキャーキャー声、大人の話し声がひどい
風俗関係者のマナーの悪さ		
歩きタバコがまだ多く見られる		

区 分	件 数	主 な 意 見
新しくマンション等が建設され、住環境が悪化した	53件	隣の空き地がワンルームマンションになり、遅い時間に騒がしくなった
		自宅マンションの周囲に高層マンションが建ち、日照の問題等で住みづらい
		マンション乱立によって、精神的にも窮屈になってきている
		狭く坂の多い崖地でも高層マンションが建ち、地震や台風が来るたびに不安
		目の前に高層建物が建ち、冬に見えていた富士山が見えなくなった
		周辺にビルが建てられ、日当たりだけではなくカーテンを閉めないで窓を開けておけない
		マンション建築、密集建て売り販売などが町内環境に影響している
		高層ビルが立ち並び、防災、地震のことを考えると恐ろしくなる
		規制緩和により高い建物が増え、美観も悪く住宅地にも高さ制限が欲しい
		住宅地の中にマンションが出来て、日照が悪くなった
		高層マンションの建築により見晴らしや日照が悪くなった
コミュニティ・近隣関係	44件	近所の人と情報交換しているが、マンションの人とは難しい
		周りにどんな人が住んでいるのかわかりづらくなった
		ワンルームマンションが増え、住民の顔が見えにくくなった
		定住者が少なく、入れ替えが多くなった
		近所間の付き合い等々、自分も含めて人情味が薄れていくように年々感じられる
		オーナーが住まない賃貸住宅が増えた
		個人商店や個人として付き合いのできる商店が減ってしまった
		町会、個人の付き合いなどに無関心
		価値観の違いから来る違和感
		以前に比べて一戸建てが減り、アパート、マンションが増えて地域に対して責任がなくなったと思う
		近所に商店がなくなり、買い物が不便になった
小さな商店がなくなり、商店街のにぎやかさがない		
高齢化のため商店が閉じてしまう		
商店街のお店の閉店が多く、買い物が不便になった		
商店街がさびれ、デパート万能の街は活気に乏しい		
駅からの帰り道に、手ごろな商業施設が少ない		
コンビニや弁当屋ばかりで個人商店が減った		
飲食店が増え、日用品を購入する店が減った		
商店通りなのにお店がなくなり、マンションが建ち、買い物が不便になった		
商店街が少しずつさびれていくのがさびしい		
商店街は他地区からの新規参入が増え地元商店街が変わった		

区 分	件 数	主 意 見
緑・オープンスペース	28件	狭い敷地にひしめくように家が建ち、緑が極端に減ってきた
		住居が取り壊され駐車場になり、緑が少なくなった
		マンションが増え「庭の木」のある家がほとんどなくなり、「土」が無くなってコンクリートに固められてしまった
		近くに原っぱが無くなり、全て住宅になってしまった
		緑が少なくなり、暑さが年々ひどくなっている。公園としてでも緑を残さないと大変なことになる
		小規模分譲住宅地で密集した街となり緑が無くなった
		カラス、ネズミの増加
		家と家との間の空間が少ない
騒音	20件	車とスーパーの雑音に悩まされている
		真前で地下鉄駅の工事も長く、落ち着かない
		首都高速中央環状新宿線の工事による騒音
		近所で高層ビル建築が相次ぎ、騒音がひどい時がある
		店舗から町中へ流れる音楽、コンビニ周辺の群がりなど騒音が多くなった
		電車の騒音が煩わしい
		温泉施設が近隣に出来た / 施設からの騒音、狭い道を占領して走る
交通	20件	車の交通量が増え路地に地域外から来た車が入り込む
		家の前の歩道のない道路の交通量が増え、騒音と危険度が増した
		マンションが多くなり家の前の道路の交通量が増えた
		山手通りの抜け道となる道路は、通行量が増えたため通学等が不安
		駅が近くに出来てから、人通りが増えたから
		駐車場が少ないので車が自由に使えない
		歩道の整備の悪さ

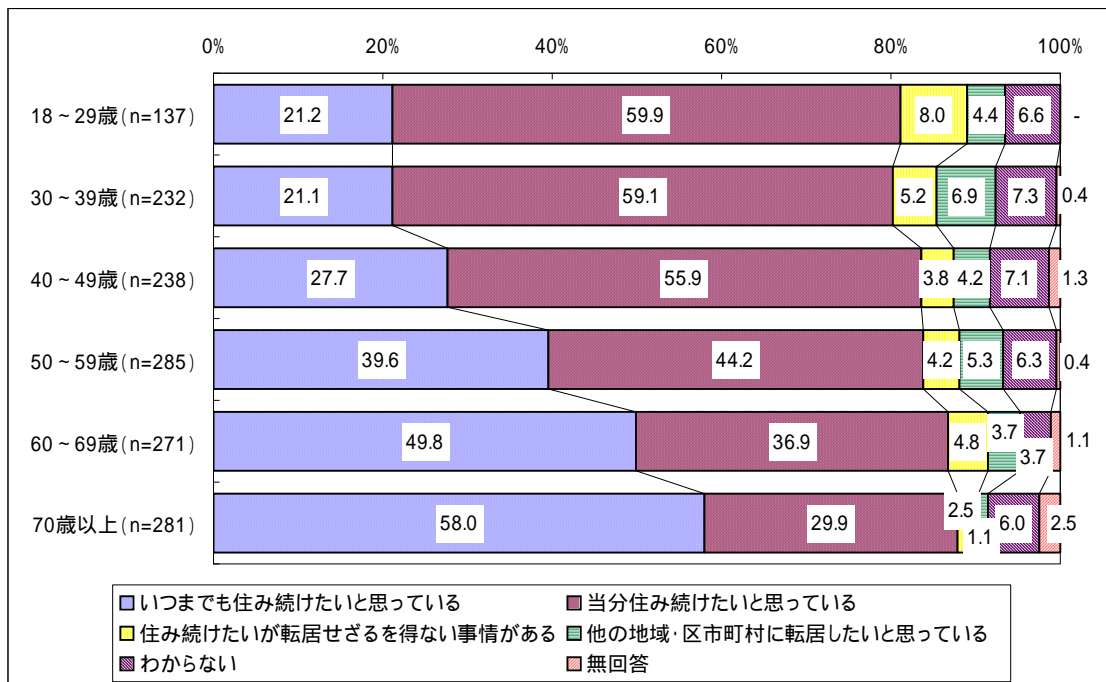
## 2 定住意向〔問2〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたい」(45.8%)が最も高く、「いつまでも住み続けたい」(38.3%)と合わせると8割強(84.1%)となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したい」(4.3%)はわずかである。
- 平成16年度調査と比較すると、「いつまでも住み続けたい」が11.3ポイント低くなっている一方で、「当分住み続けたい」が9.5ポイント高くなっており、両方合わせた割合は変化していない。



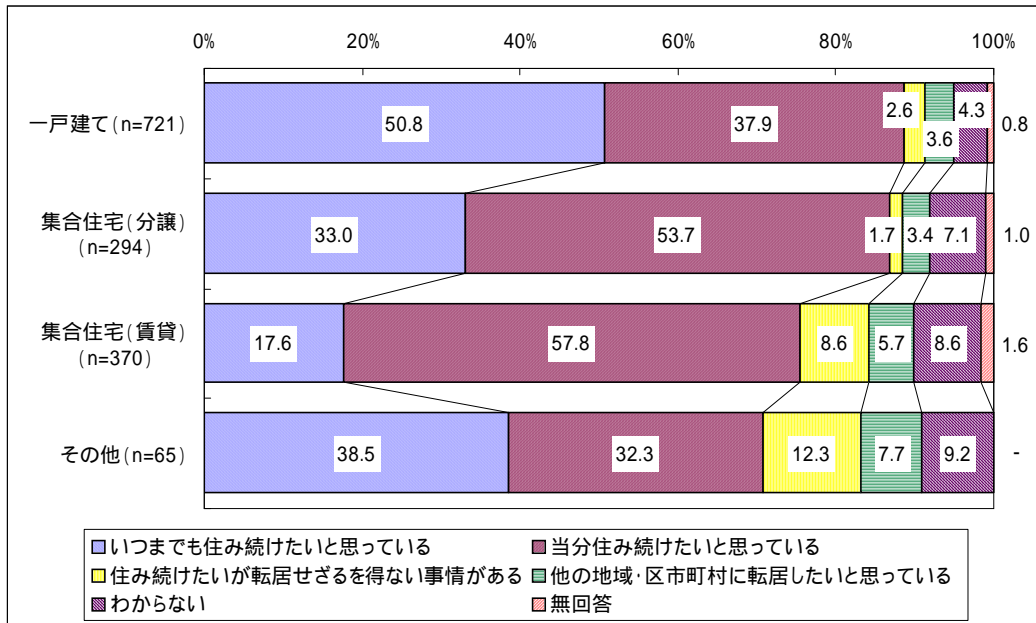
### 【年齢別】

- 「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」の合計は、全ての年齢で8割を超えている。
- 年齢が高くなるほど「いつまでも住み続けたい」が高くなり、年齢が低くなるほど「当分住み続けたい」が高くなっている。



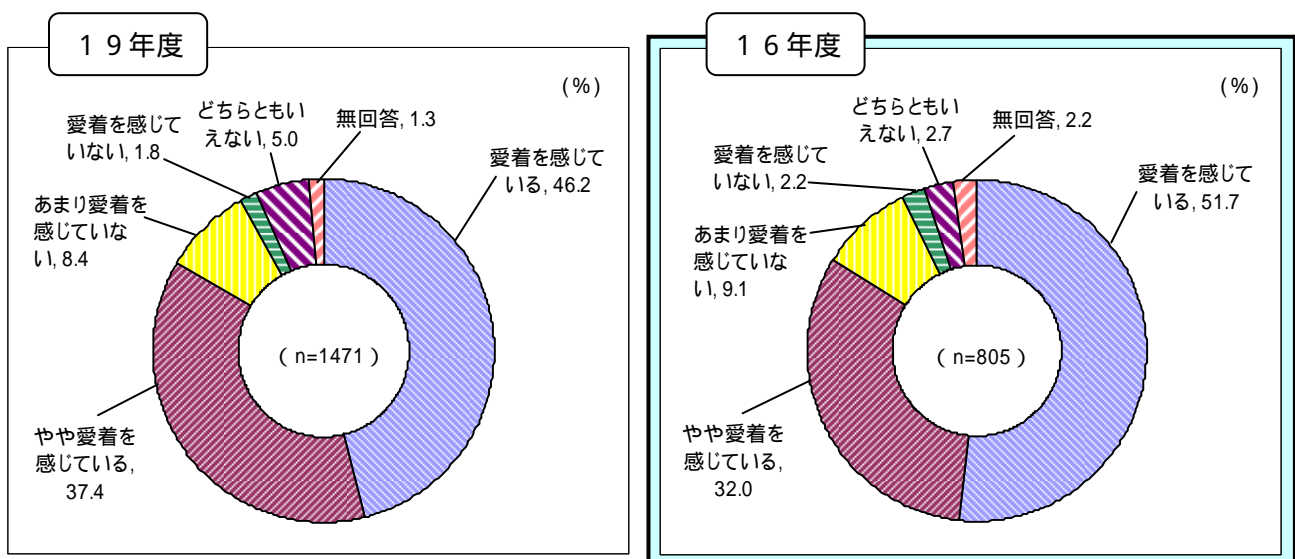
【住まい形態別】

- 「いつまでも住み続けたい」の割合をみると、一戸建てで 50.8%、集合住宅（分譲）で 33.0%になっており、持ち家の定住意向が高いことがうかがわれる。
- 一方、集合住宅（賃貸）では、「いつまでも住み続けたい」が 2 割に満たない。



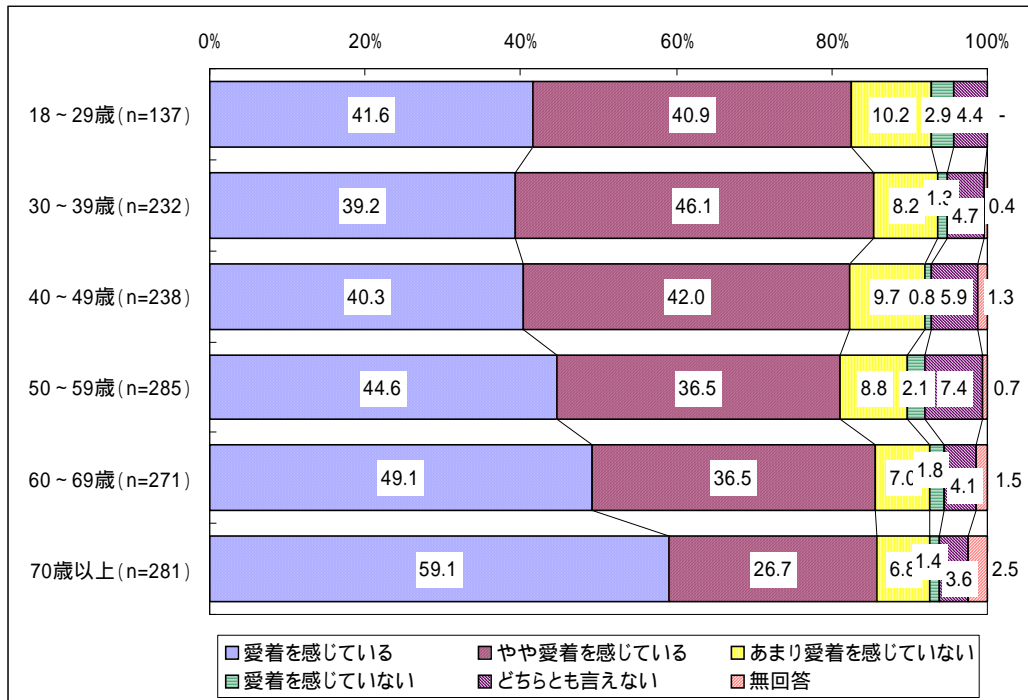
3 地域への愛着〔問3〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(46.2%) が最も高く、「やや愛着を感じている」(37.4%) と合わせると 8 割 (83.6%) を超える。
- 「愛着を感じていない」(1.8%) はわずかであり、「あまり愛着を感じていない」(8.4%) と合わせても 1 割 (10.2%) である。
- 平成 16 年度と比較すると、「愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計は変わらない。



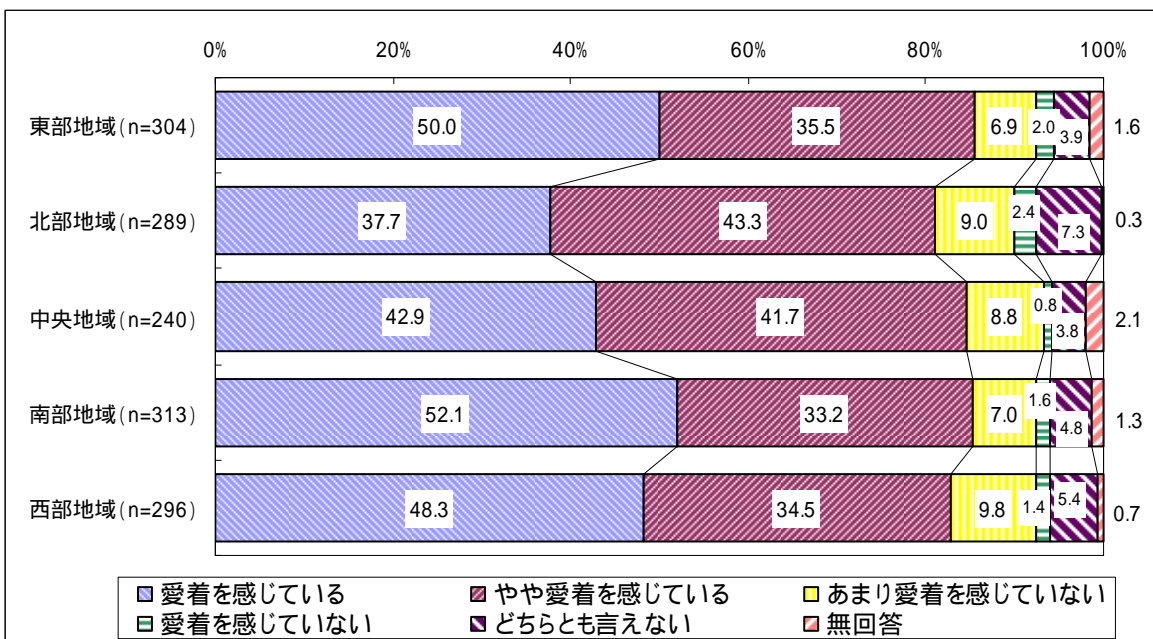
【年齢別】

- 全ての年齢層で、「愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計が 8 割を超えている。
- 70 歳以上では、「愛着を感じている」が約 6 割となっている。



【地域別】

- 全ての地域で、「愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計が、8 割を超えている。
- 東部地域、南部地域、西部地域では、「愛着を感じている」だけで、50%前後となっている。



地域の具体的区分は 4 ページの ( 6 ) 居住地域名を参照

# 第2章

## 地域の生活環境について





## 第2章 地域の生活環境について

### 〔設問設定の考え方〕

「豊島区基本計画」(平成18年3月策定)及び「豊島区未来戦略推進プラン」の政策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく12のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で75項目であり、12のグループごとに、各項目について、「最近の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

### 《調査にあたり設定した12のグループ》

福祉 健康 子育て 教育 コミュニティ 環境	都市再生 安心・安全 観光・産業 文化 その他 池袋副都心のまちづくり
---------------------------------------	--

(参考：平成16年度調査で設定したグループ)

保健・福祉・医療 子育て・教育 コミュニティ・協働 みどり・環境・リサイクル 都市整備	池袋副都心 観光・産業 安心・安全 文化・生涯学習 行政サービス
---	--

#### 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」

“どちらかというと思う”“どちらともいえない”“どちらかというと思わない”の3つから実感に近いものを選択。

“どちらかというと思う”から“どちらかというと思わない”の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

#### 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つまで選択。

なお、その他については「今後の優先度」の回答は設けていない。

《グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧》

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	2	高齢者一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる
	5	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している
	6	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
	7	公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている
健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	12	地域の医療機関やサービスが充実している
子育て	13	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	14	子どもが友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる
	15	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する機会や場がある
	16	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる
	17	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている
教育	18	子どもの基礎的な学力が高まっている
	19	子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている
	20	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている
	21	小中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	22	学校の周辺及び通学路が安全である
	23	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている
	24	学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている
コミュニティ	25	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている
	26	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている
	28	さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
環境	29	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある
	30	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	31	小鳥や昆虫、植物など、自然と四季を感じることができる
	32	みどりを大切に守り、育てようとする意識が高まっている
	33	騒音、大気汚染などに悩まされることがない
	34	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている
	35	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	36	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
都市再生	3 7	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	3 8	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる
	3 9	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	4 0	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている
	4 1	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	4 2	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	4 3	身近な生活道路が快適に通行できる
	4 4	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている
	4 5	鉄道・バス等の交通が便利である
安心・安全	4 6	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	4 7	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています
	4 8	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	4 9	治安がよく、安心して暮らせる
	5 0	青少年の健全な育成を阻害する社会環境が改善されている
	5 1	交通事故が少ない
	5 2	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
観光・産業	5 3	魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている
	5 4	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
	5 5	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	5 6	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	5 7	印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している
	5 8	身近な地域に、活力ある商店街がある
文化	5 9	演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている
	6 0	歴史的文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	6 1	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い
	6 2	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている
	6 3	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある
	6 4	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている
	6 5	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
その他	6 6	地域で外国人との交流がある
	6 7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	6 8	男女が共同で社会に参画できる

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
池袋副都心	1	駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩くことができる
	2	駅の東西を結ぶ機能が高まり、副都心の回遊性が向上している
	3	再開発の進展や新たな建物の建設等により、風格ある街並みがつくられている
	4	文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている
	5	ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である
	6	治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる
	7	新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる

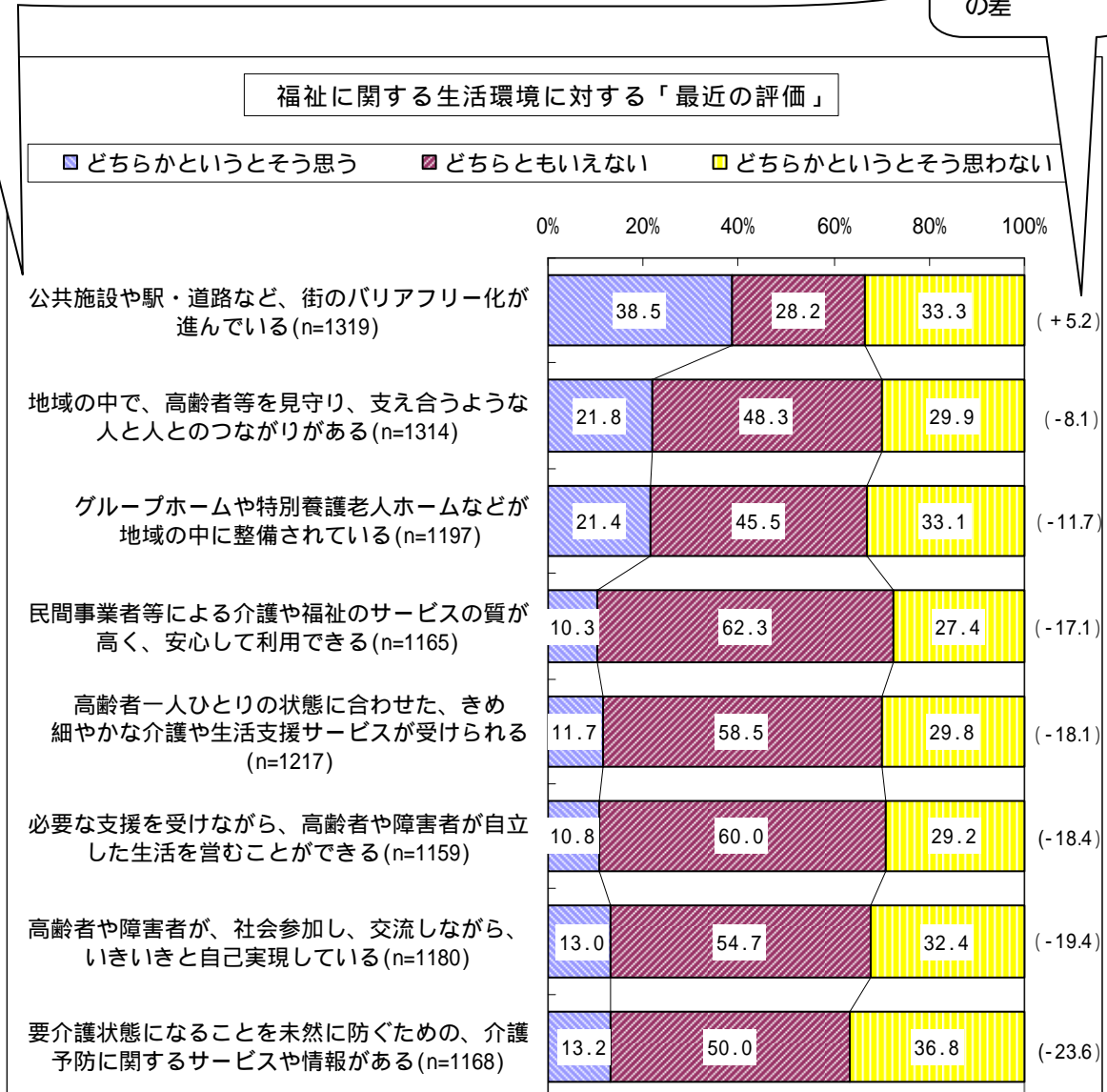
# 1 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕

## 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる」であり、「地域の中で、高齢者等を見守り、支えあうような人と人とのつながりがある」、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」である。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



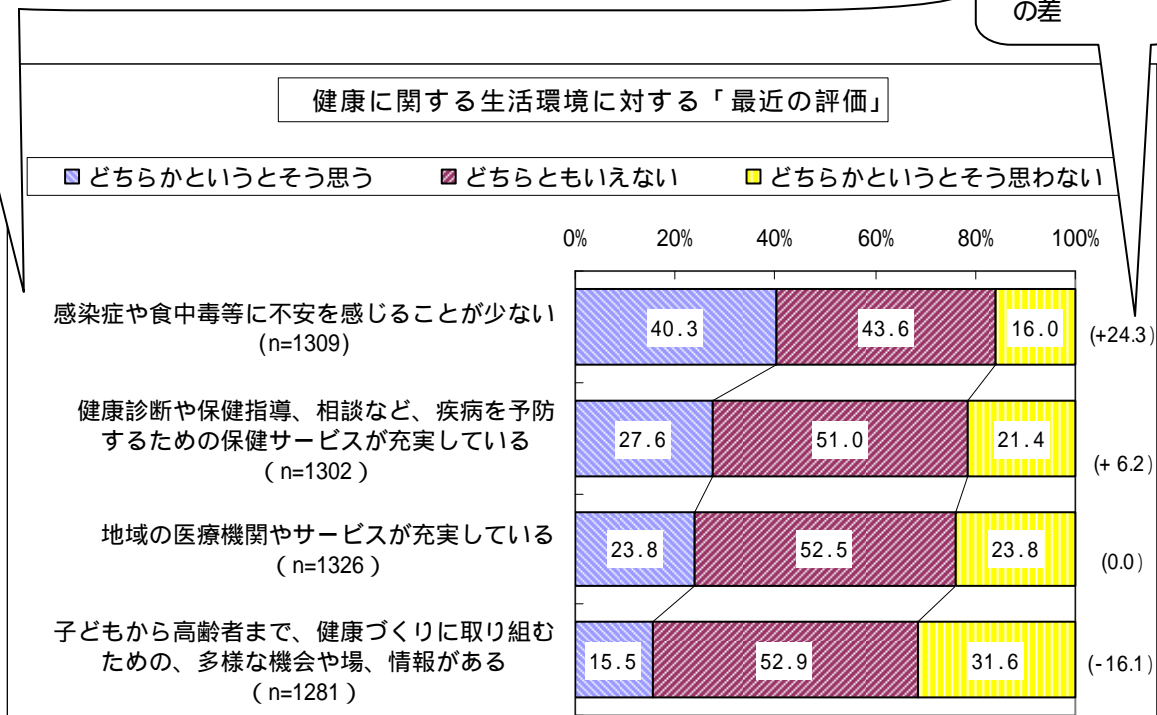
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 健康

- 健康に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」であり、「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」である。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



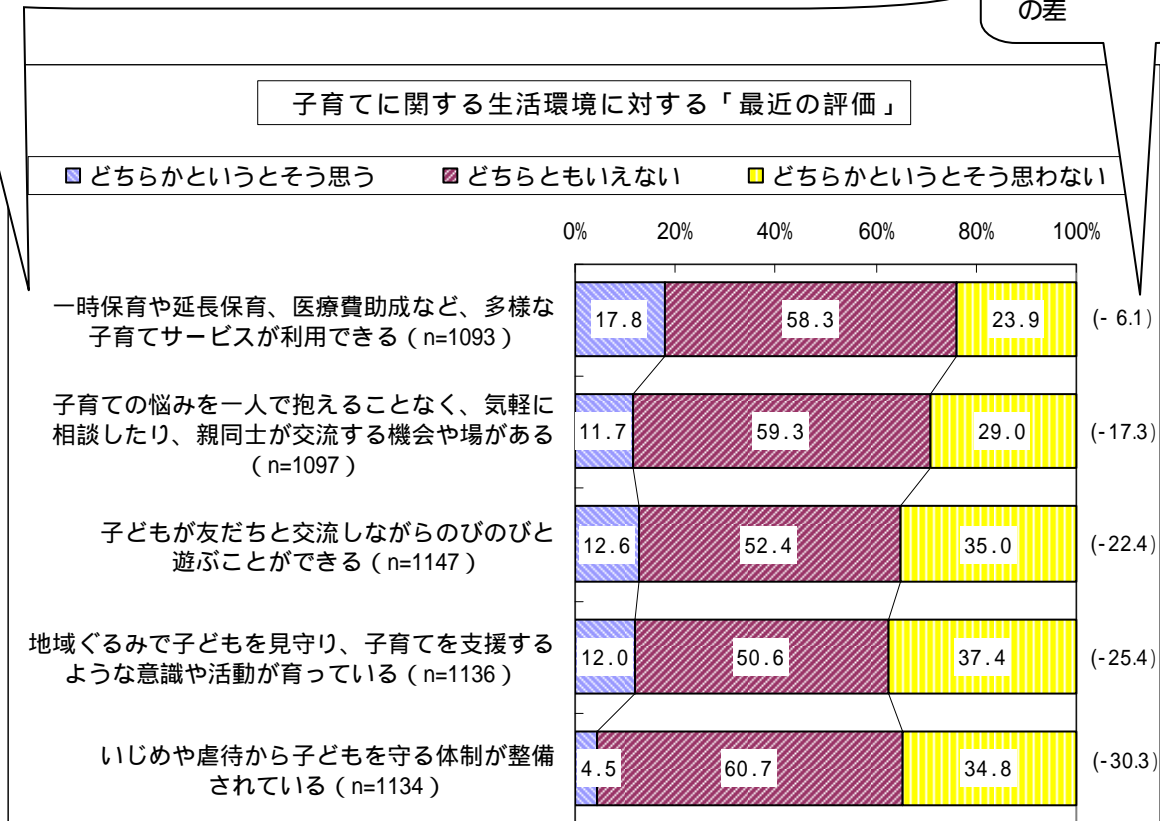
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 子育て

- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」であり、「子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する機会や場がある」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」であり、「地域ぐるみで、子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている」、「子どもが友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる」が続いている。
- 子育てに関する生活環境では、全ての設問で、満足度がマイナスになっている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



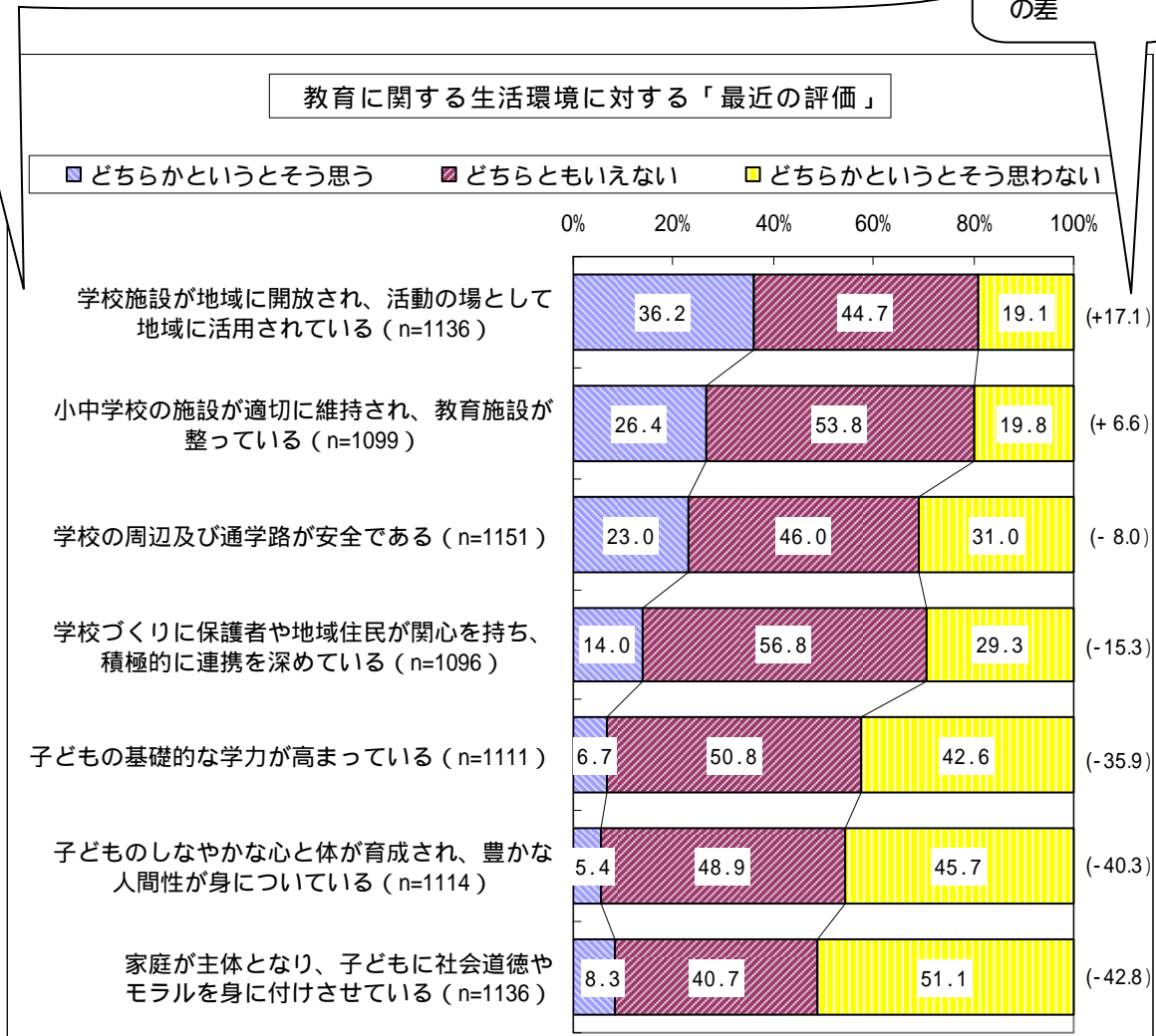
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 教育

- 教育に関する生活環境について下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている」であり、「中学校の施設が適切に維持され、教育施設が整っている」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」であり、「子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている」、「子どもの基礎的な学力が高まっている」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



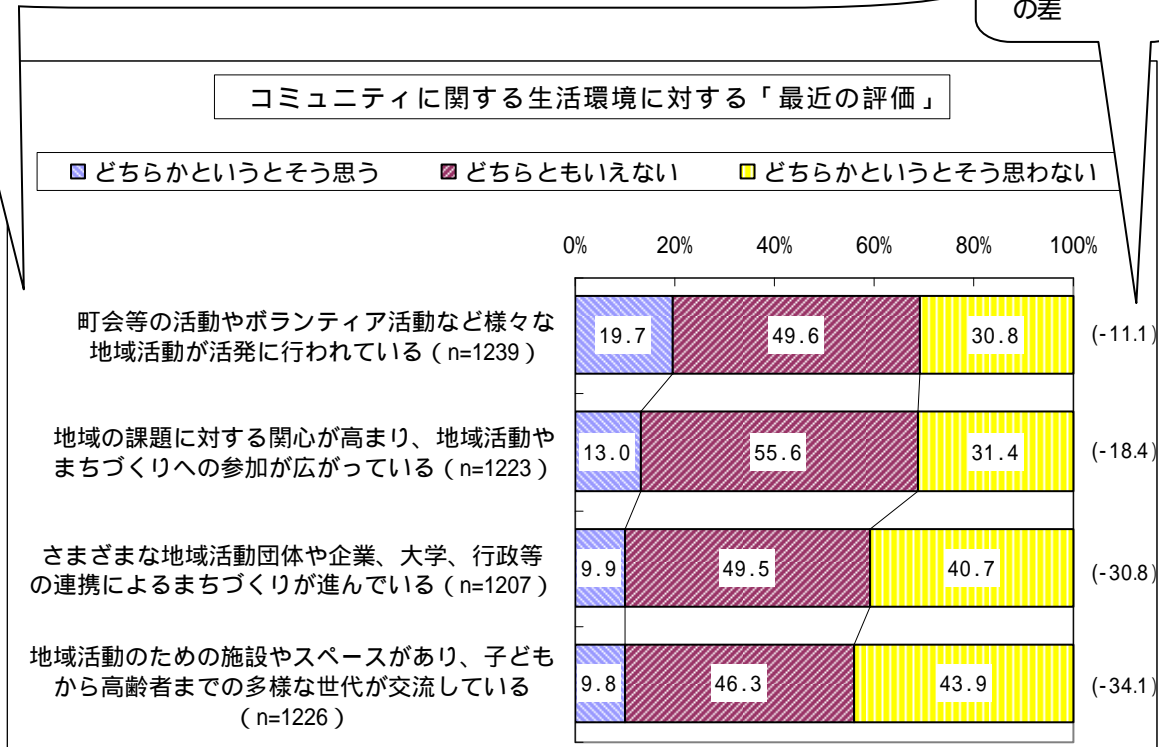
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## コミュニティ

- コミュニティに関する生活環境について下記の4つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」であり、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」であり、「さまざまな地域団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」が続いている。
- 子育てに関する生活環境では、全ての設問で、満足度がマイナスになっている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。



## 環境

- 環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い(満足度が高い)がものは、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」であり、「みどりを大切に守り、育てようとする意識が高まっている」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い(満足度が低い)ものは、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」であり、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」、「騒音、大気汚染などに悩まされることがない」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



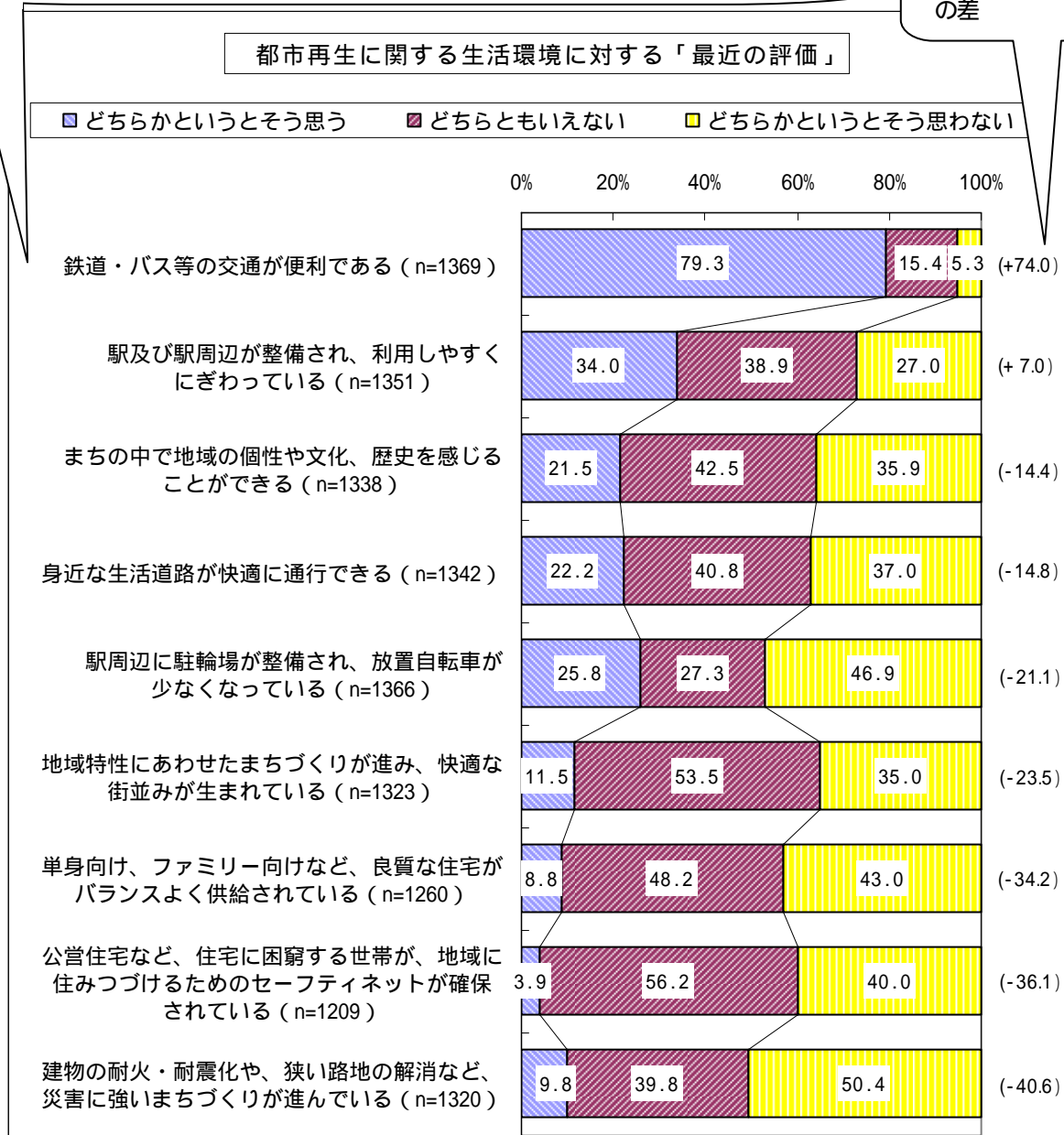
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 都市再生

- 都市再生に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い(満足度が高い)ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、「駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い(満足度が低い)ものは、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」であり、「公営住宅など、住宅の困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている」、「单身向け、ファミリー向けなど良質な住宅がバランスよく供給されている」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



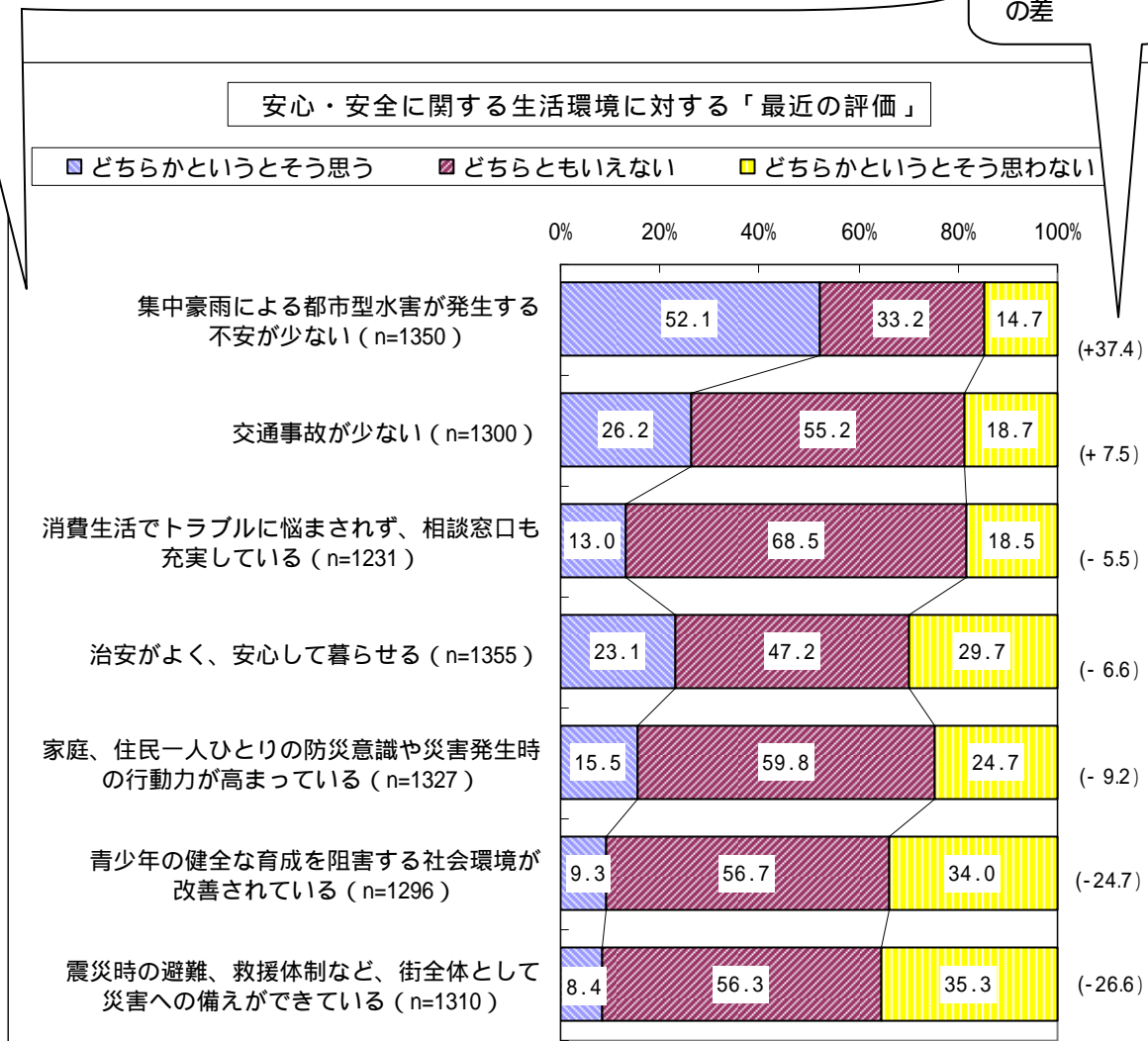
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 安心・安全

- 安心・安全に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、「交通事故が少ない」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています」であり、「青少年の健全な育成を阻害する社会環境が改善されている」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



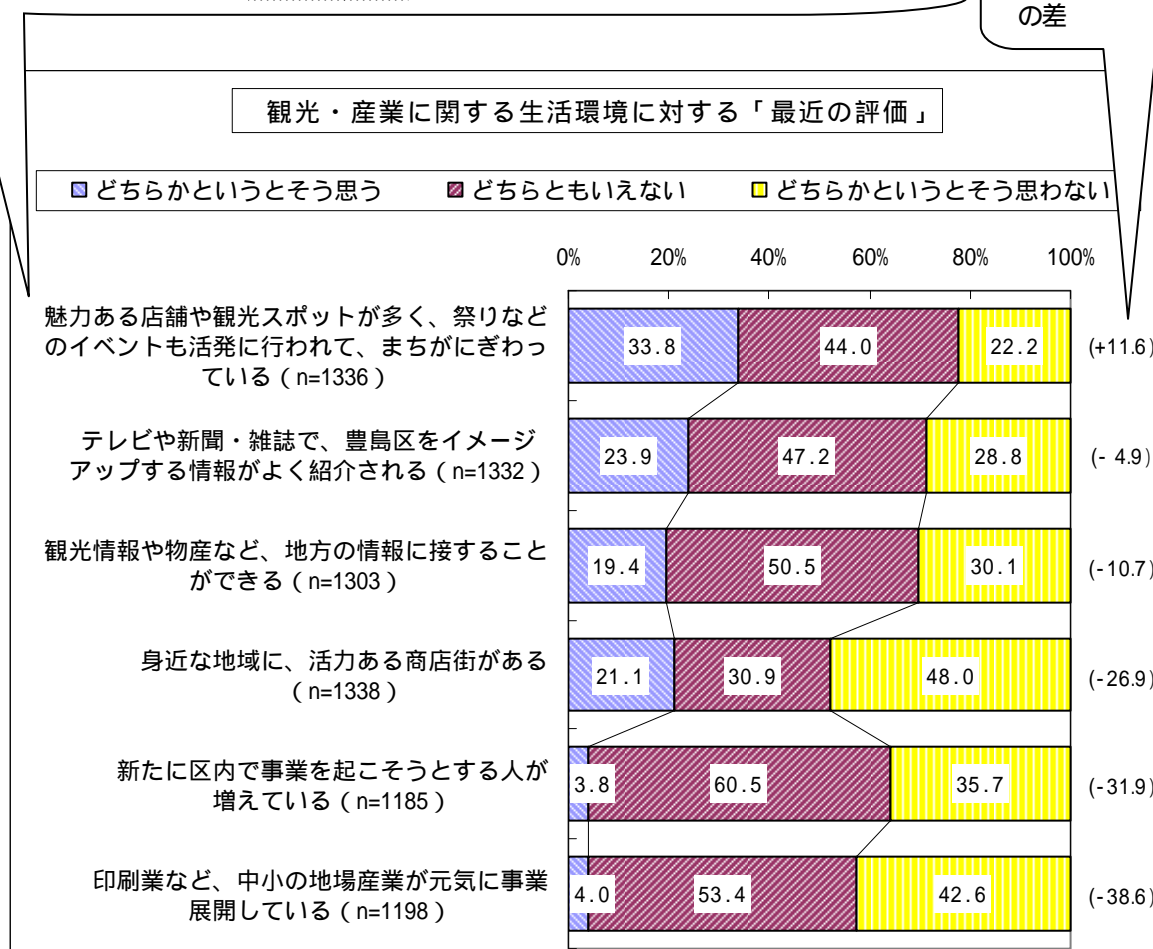
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 観光・産業

- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている」であり、「テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している」、「新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている」であり、「新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



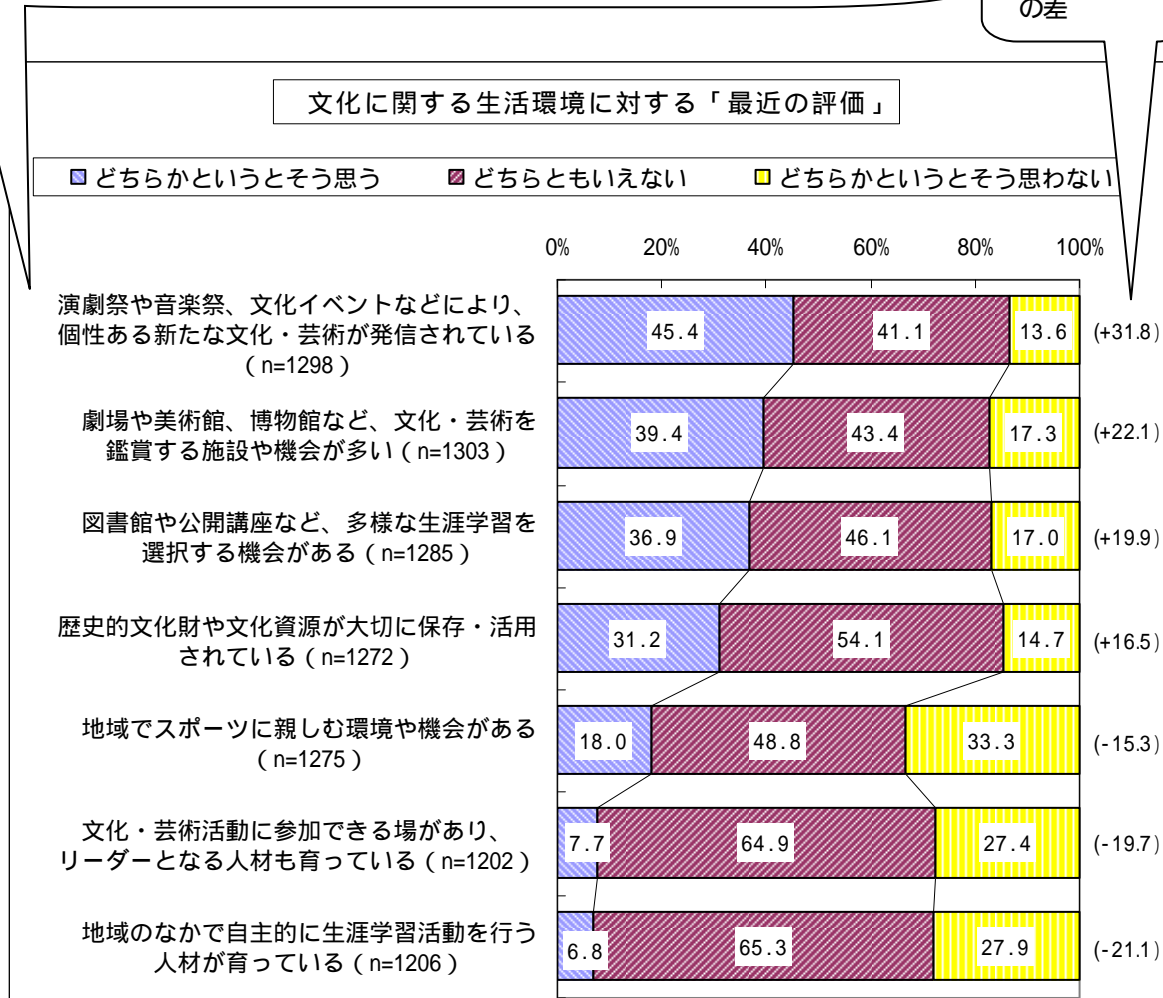
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている」であり、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」であり、「文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている」、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



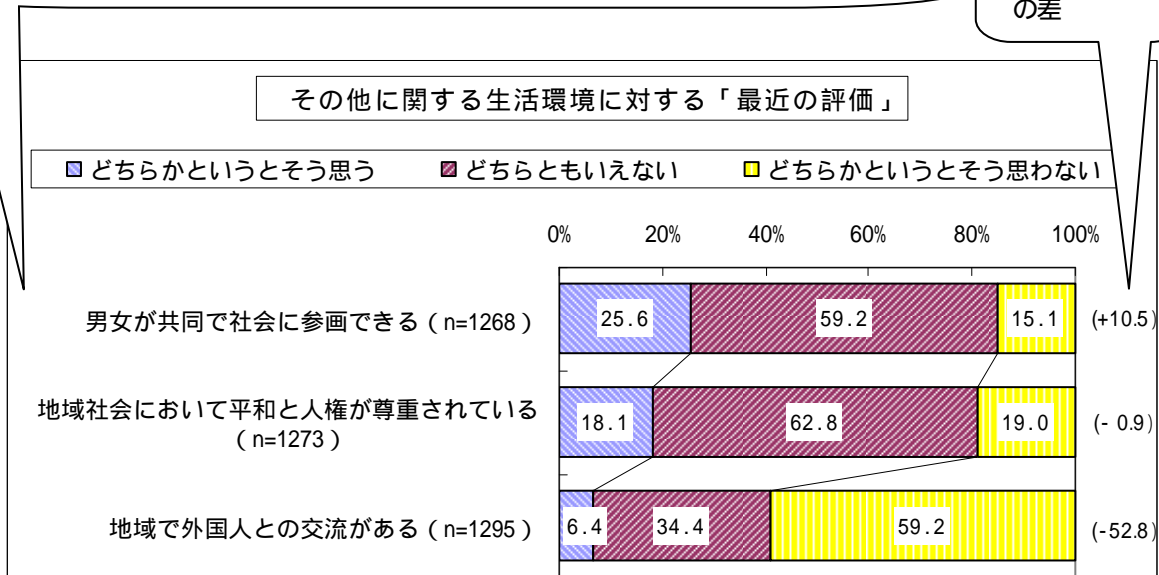
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## その他

- その他として、男女共同参画、平和と人権、外国人との共生について、下記の3つの項目を設定して、それぞれの最近の評価を聞いた。
- 「男女が共同で社会に参画できる」については、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が+10.5とプラス評価となっている。
- 「地域社会において平和と人権が尊重されている」については、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が-0.9であり、わずかであるがマイナス評価である。
- 「地域で外国人との交流がある」については、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が-52.8とかなり低い評価となっている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



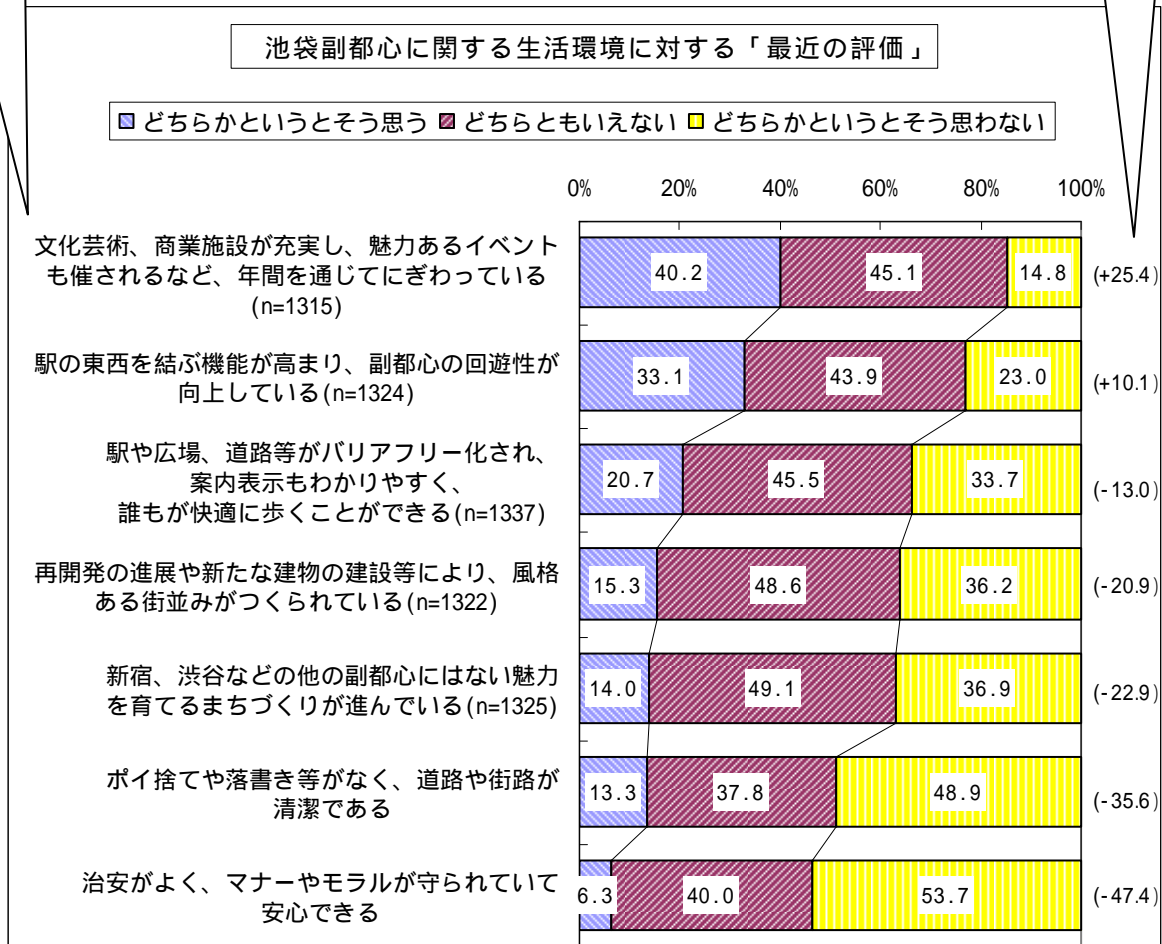
各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## 池袋副都心のまちづくり

- 池袋副都心のまちづくりに関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い(満足度が高い)ものは、「文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている」であり、「駅の東西を結ぶ機能が高まり、副都心の回遊性が向上している」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い(満足度が低い)ものは、「治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる」であり、「ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である」、「新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる」が続いている。

下のグラフは、生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。

「思う」と「思わない」の差



各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## グループ全体を通してみた「最近の評価」

### ア 「最近の評価（満足度）」が高い項目

生活環境について設定した全 75 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が大きい（満足度が高い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	都市再生	鉄道・バス等の交通が便利である	74.0
第2位	安心・安全	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	37.4
第3位	文化	演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている	31.8
第4位	池袋副都心	文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている	25.4
第5位	健康	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	24.3
第6位	文化	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	22.1
第7位	文化	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	19.9
第8位	教育	学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている	17.1
第9位	文化	歴史的文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	16.5
第10位	環境	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	13.7



## イ 「最近の評価（満足度）が低い項目

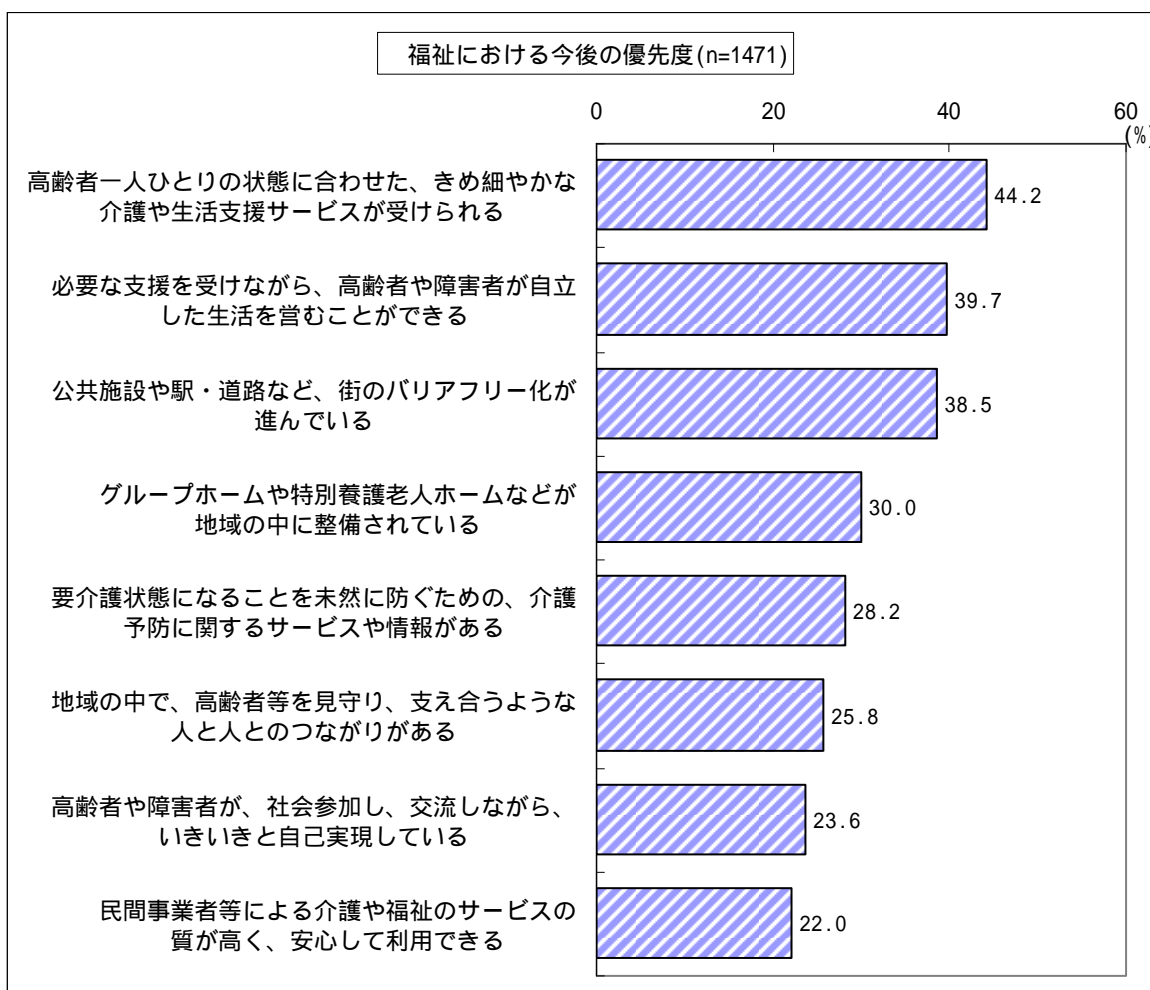
生活環境について設定した全75項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い（満足度が低い）項目は下表のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	環境	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	-54.7
第2位	その他	地域で外国人との交流がある	-52.8
第3位	池袋副都心	治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる	-47.4
第4位	教育	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	-42.8
第5位	都市再生	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-40.6
第6位	教育	子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身につけている	-40.3
第7位	環境	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	-39.4
第8位	観光・産業	印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している	-38.6
第9位	環境	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	-36.9
第10位	都市再生	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている	-36.1

## 2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕

### 福祉

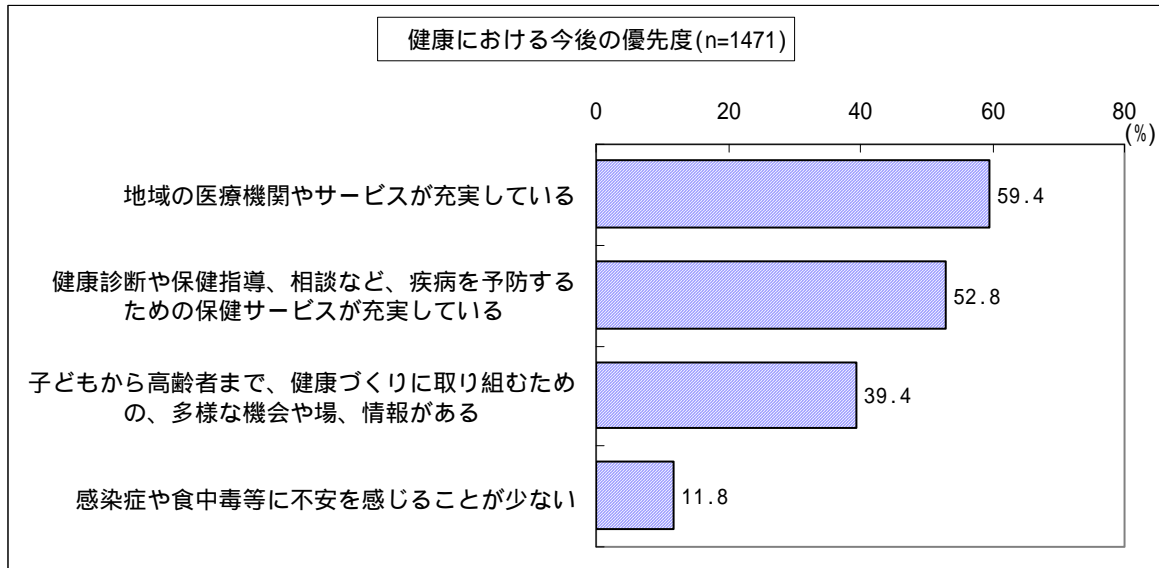
- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いものは、「高齢者一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」(44.2%)であり、これに「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」(39.7%)、「公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる」(38.5%)がほぼ同じ割合で続いている。



3つ選択

## 健康

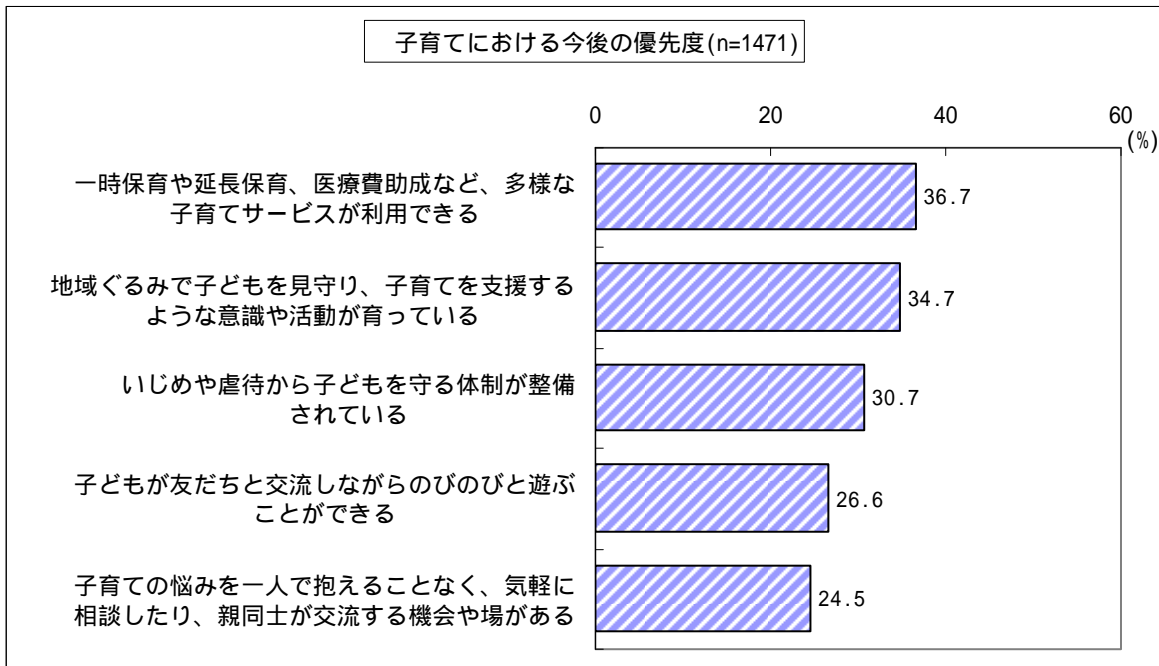
- 健康に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いのは、「地域の医療機関やサービスが充実している」(59.4%)であり、これに「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」(52.8%)が続いている。
- 一方、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」(11.8%)については、優先度が低かった。



2つ選択

## 子育て

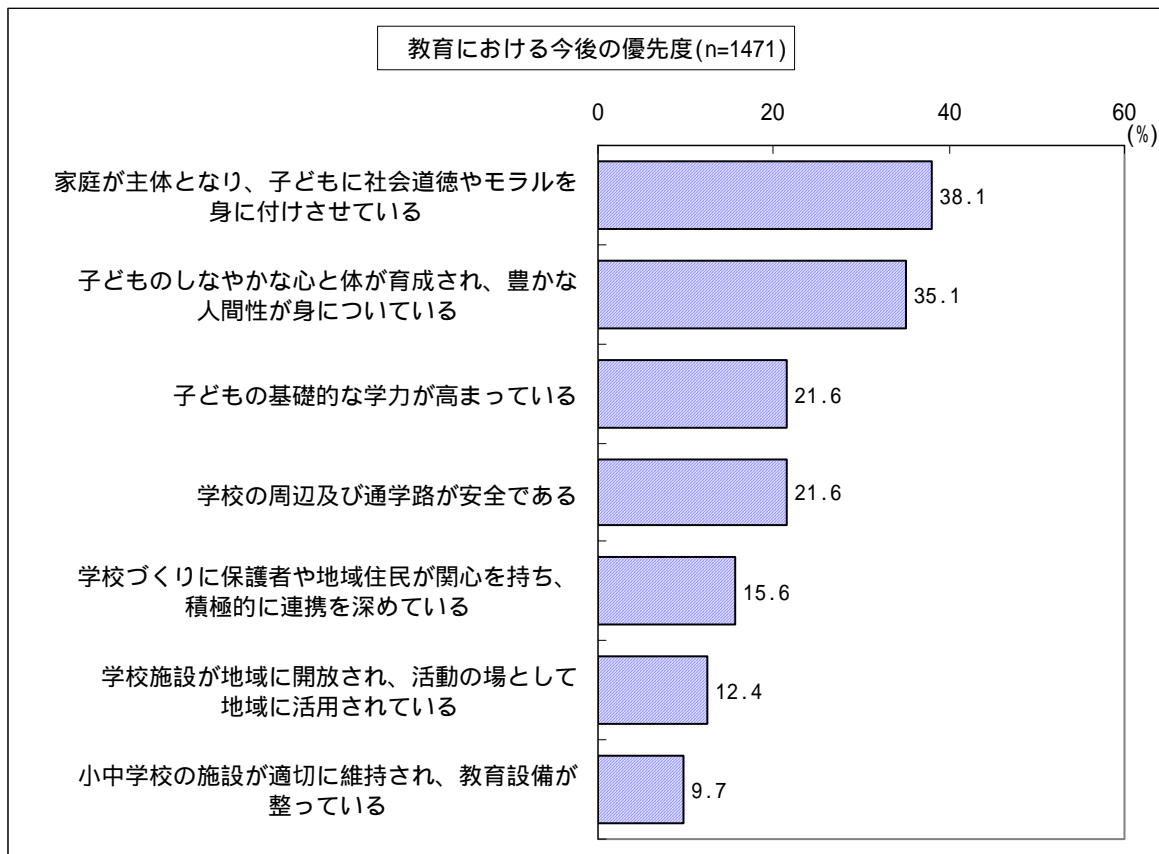
- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いのは、「一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」(36.7%)であり、これに「地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている」(34.7%)が続いている。



2つ選択

## 教育

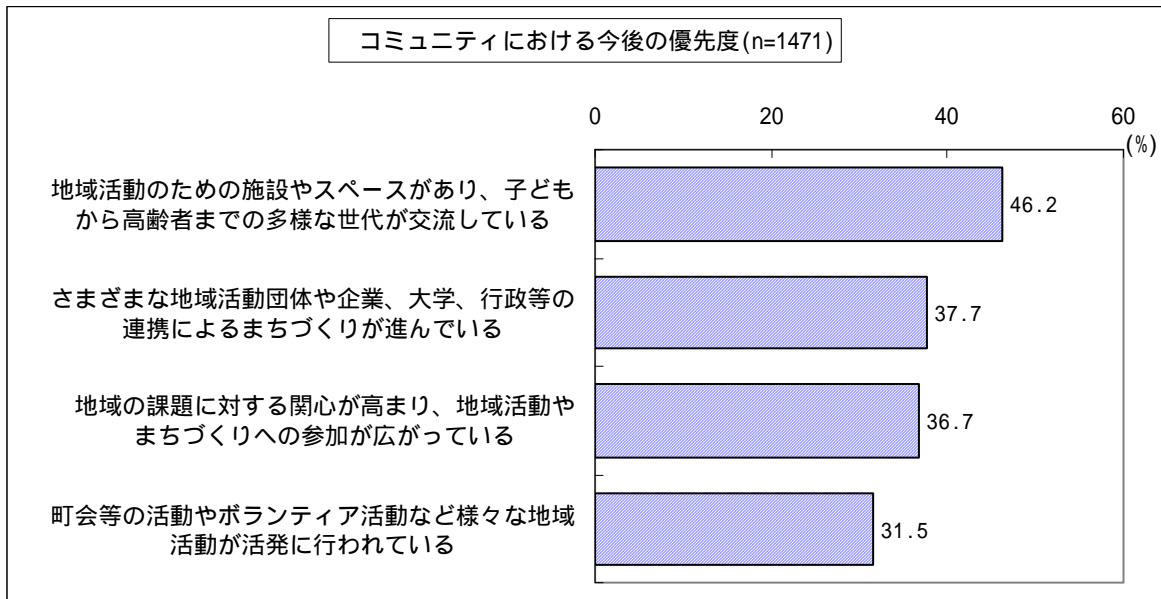
- 教育に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いものは、「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」(38.1%)であり、これに「子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている」(35.1%)が続いている。
- 一方、「学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている」(12.4%)、「小中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」(9.7%)については、優先度が低かった。



2つ選択

## コミュニティ

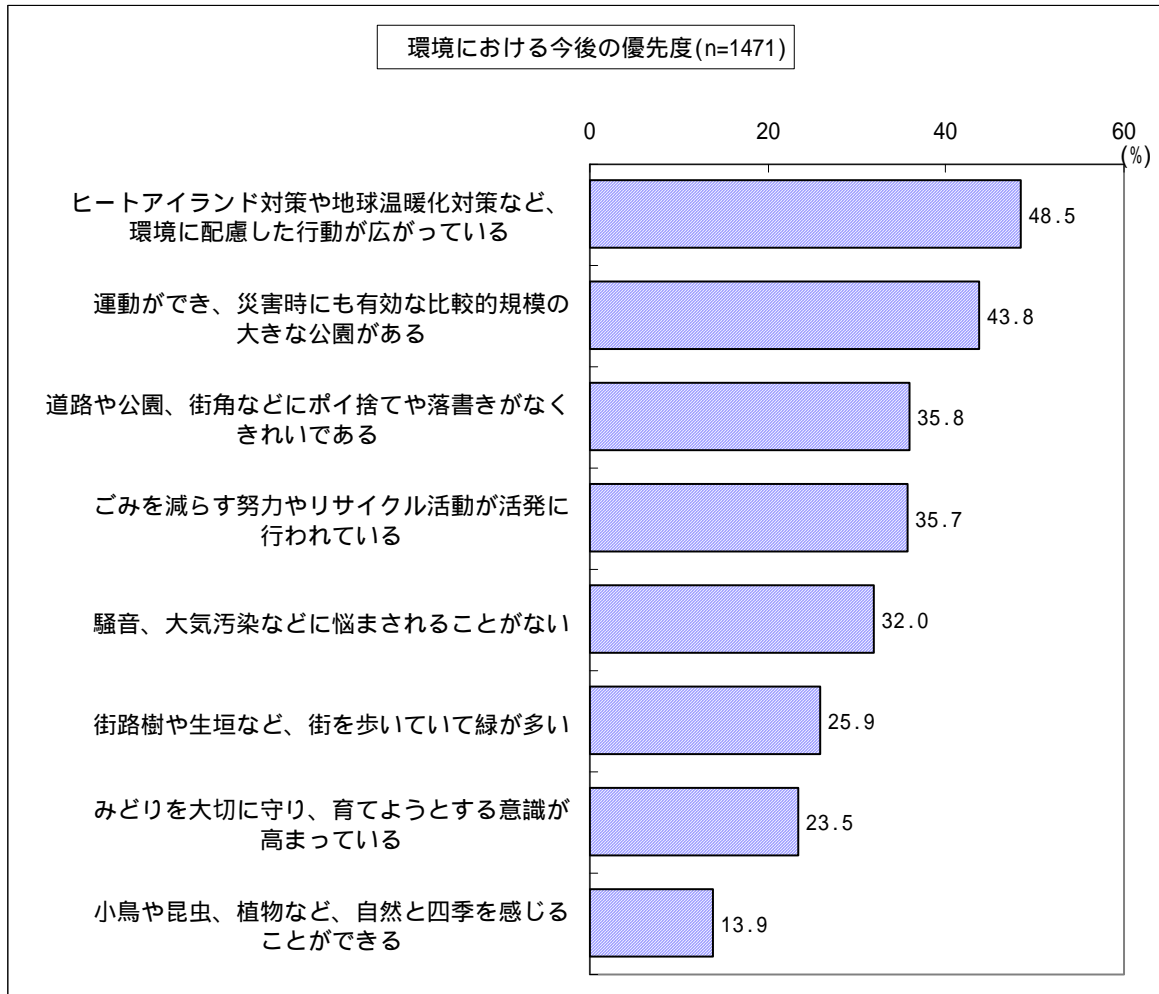
- コミュニティに関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いものは、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(46.2%)であり、これに「さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(37.7%)と「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている」(36.7%)がほぼ同率で続いている。



2つ選択

## 環境

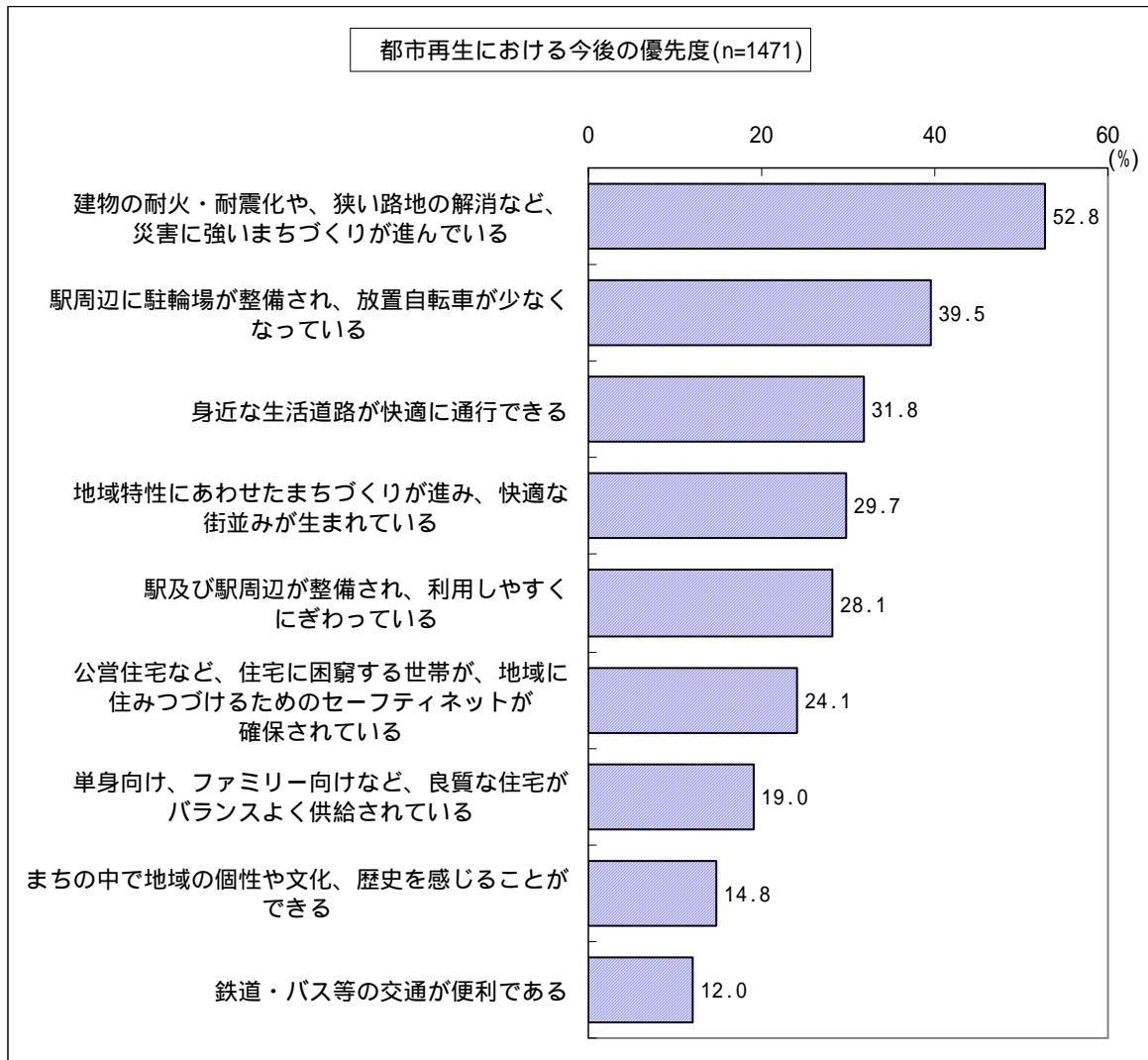
- 環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いのは、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」(48.5%)であり、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」(43.8%)が続いている。
- 一方、「小鳥や昆虫、植物など、自然と四季を感じることができる」(13.9%)については、優先度が低かった。



3つ選択

## 都市再生

- 都市再生に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いものは、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など災害に強いまちづくりが進んでいる」(52.8%)で5割を超えており、これに「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」(39.5%)が続いている。
- 一方、「まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる」(14.8%)、鉄道・バス等の交通が便利である」(12.0%)については、優先度が低かった。

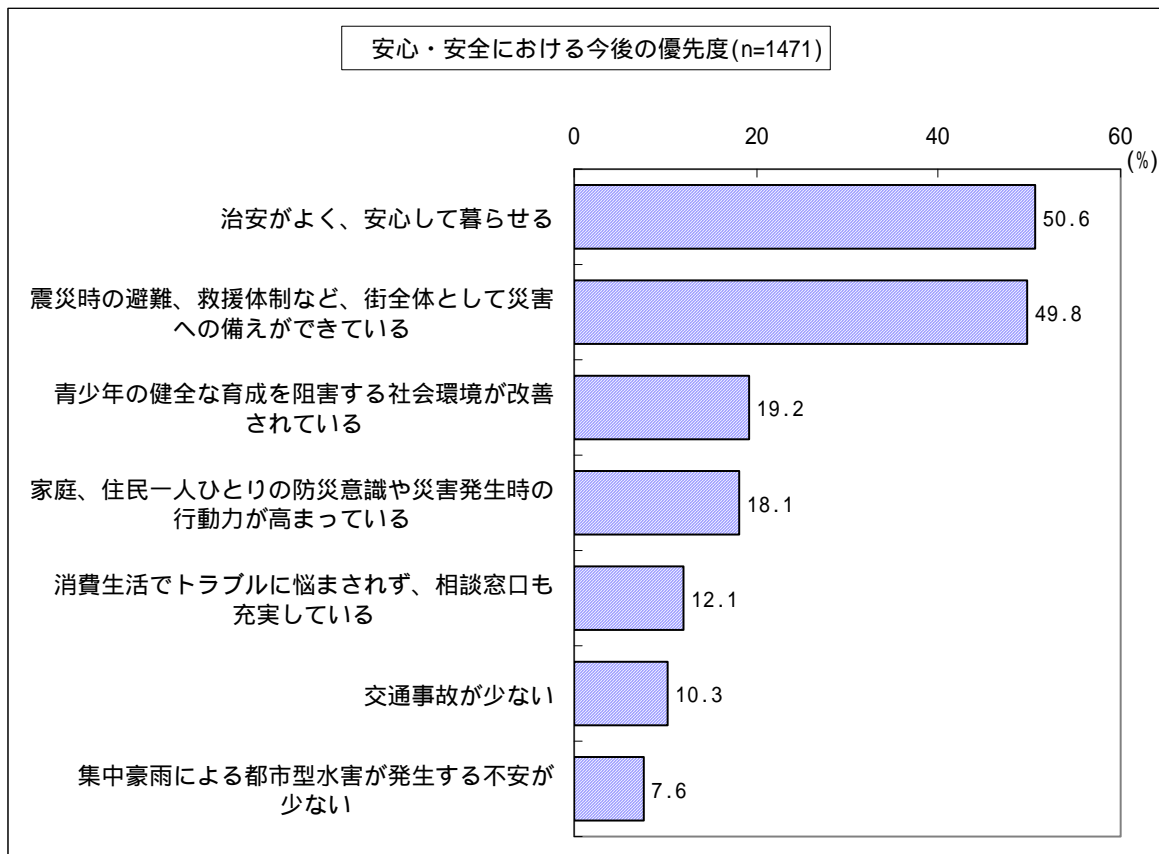


3つ選択



## 安心・安全

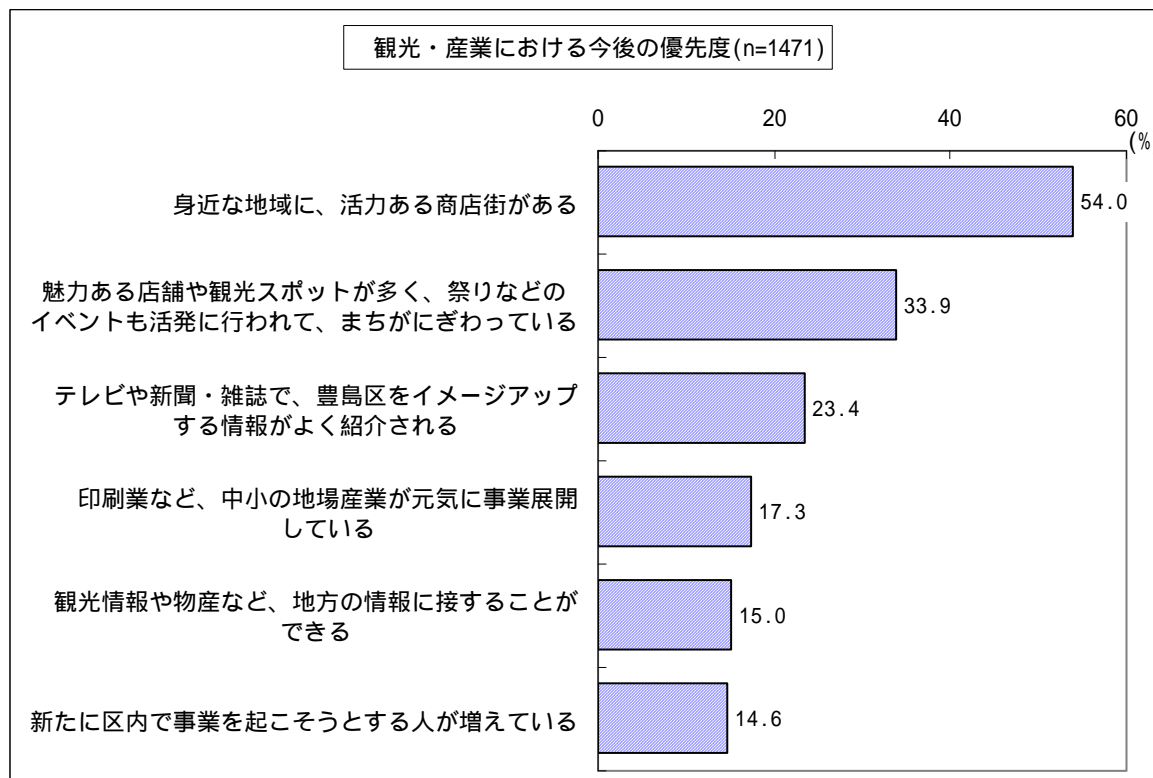
- 安心・安全に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(50.6%)と「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができている」(49.8%)が約5割となっており、他の項目より際立って高くなっている。
- 一方、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(12.1%)、「交通事故が少ない」(10.3%)、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」(7.6%)については、優先度が低くなっている。



2つ選択

## 観光・産業

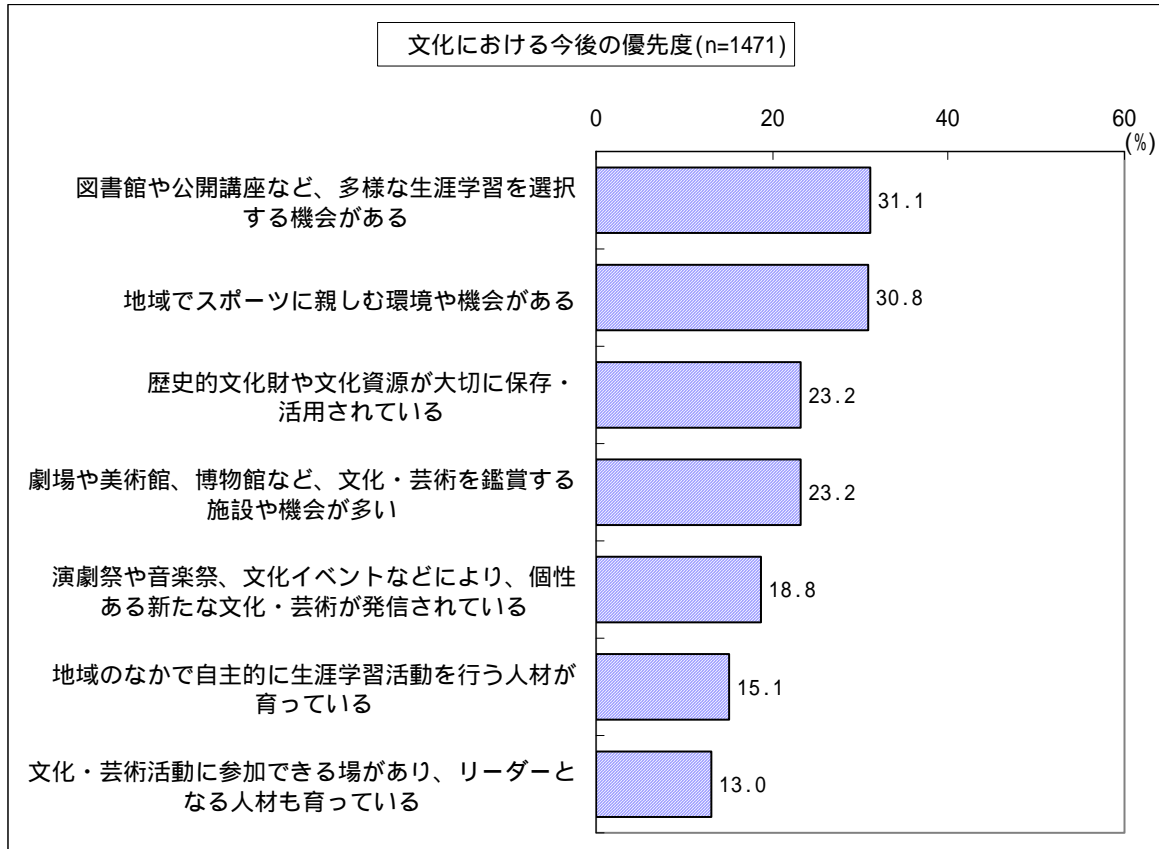
- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な地域に、活力ある商店街がある」(54.0%)が5割を超え、最も高かった。次いで「魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている」(33.9%)となっている。



2つ選択

## 文化

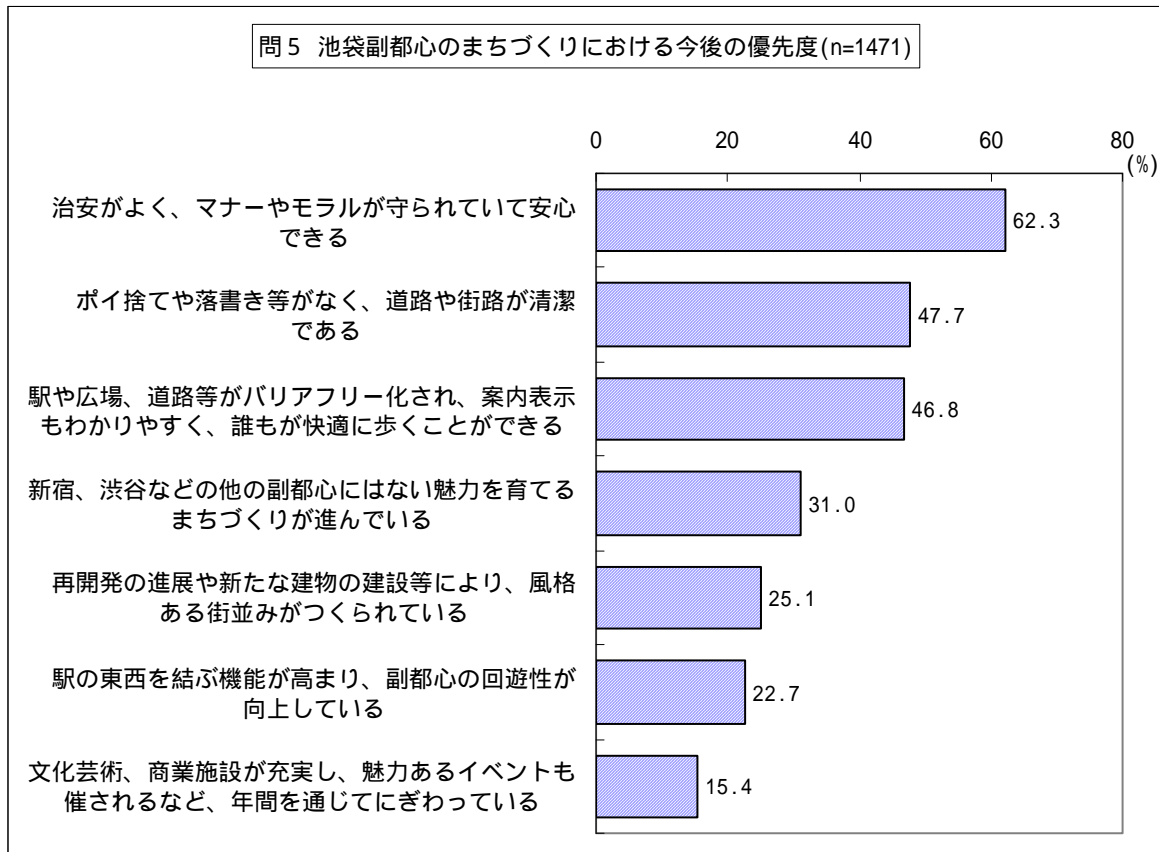
- 文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」(31.1%)と「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(30.8%)が3割を超えている。



2つ選択

## 池袋副都心のまちづくり

- 池袋副都心のまちづくりに関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、最も高いのは、「治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる」(62.3%、「最近の評価」で最も評価が低かった)で約6割となっており、「ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である」(47.7%)、「駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩くことができる」(46.8%)が続いており、優先度が高い。



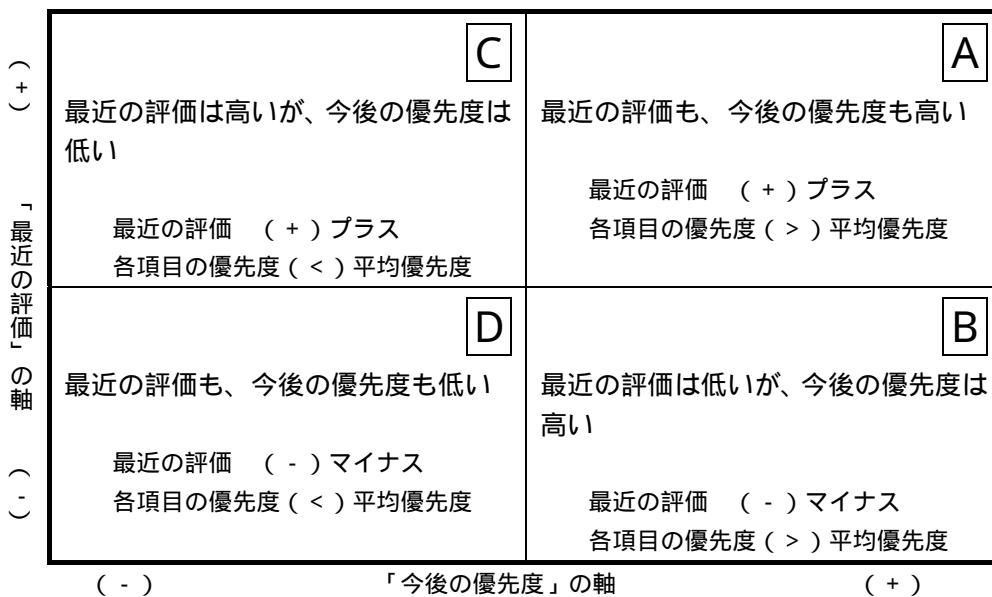
3つ選択

### 3 「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問4〕

12のグループごとに、「最近の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

**【数値化の方法】**  
 それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。  
 最近の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）  
 「どちらかというと思う」と回答した者の数  
 -（マイナス）「どちらかというと思わない」と回答した者の数  
 今後の優先度  
 各項目の回答割合（％）  
 基準軸の設定  
 最近の評価 = 0（ゼロ）を基準  
 今後の優先度 = グループごとの各項目の平均優先度を基準

「最近の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

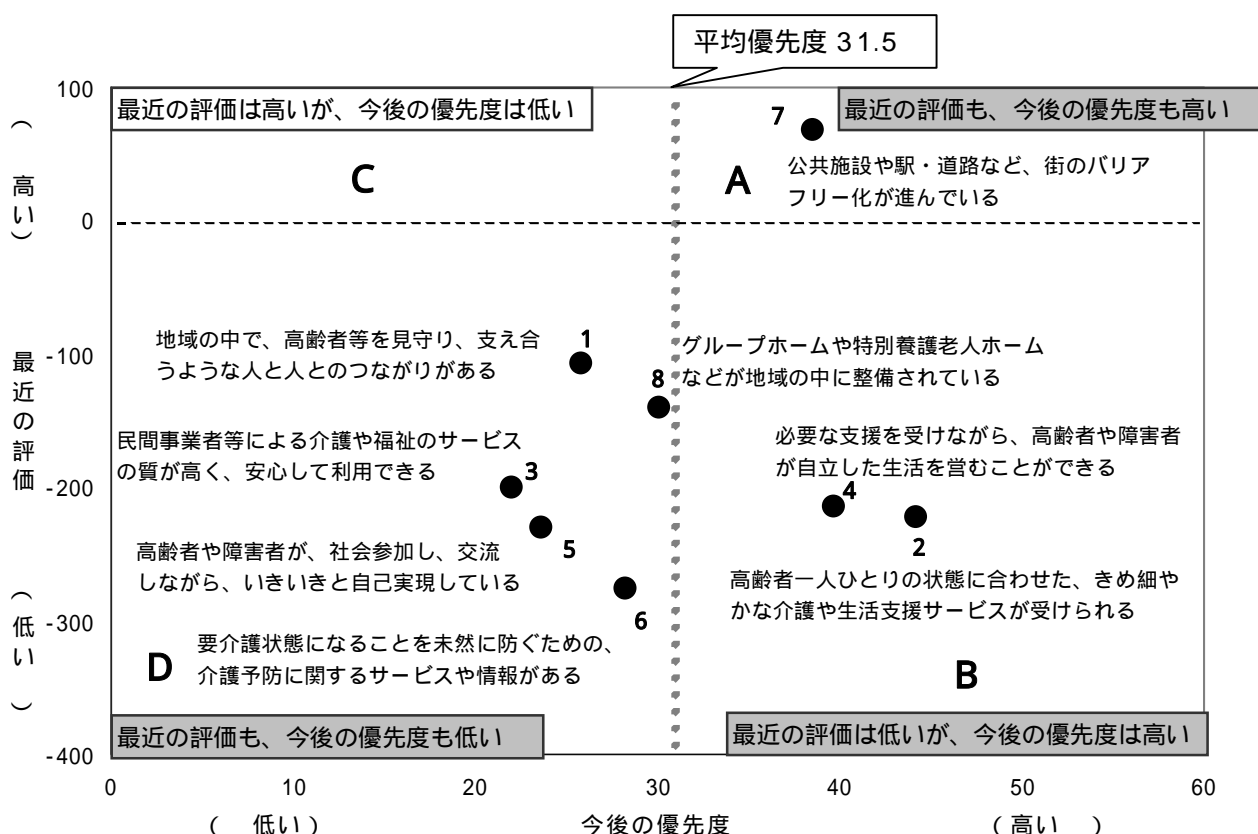


上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「最近の評価が低い」が、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

B	評価	低	かつ	優先度	高	行政として重点的に取り組む
A	評価	高	かつ	優先度	高	現状維持
D	評価	低	かつ	優先度	低	
C	評価	高	かつ	優先度	低	行政の役割は小さい

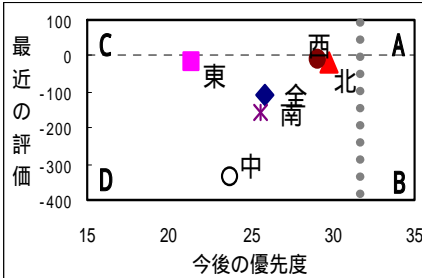
## 福祉

- 福祉に関する生活環境では、8項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。2項目が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、また、5項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」には、「2 高齢者一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」、「4 必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」が位置している。

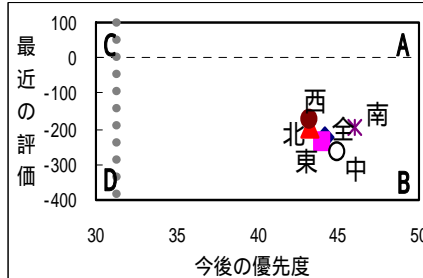


【地域別比較】

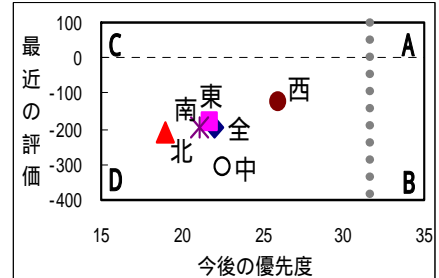
1 地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある



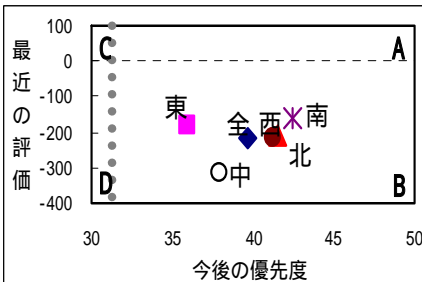
2 高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる



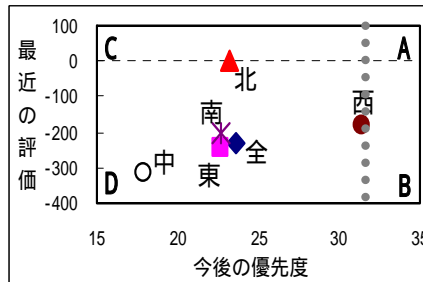
3 民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる



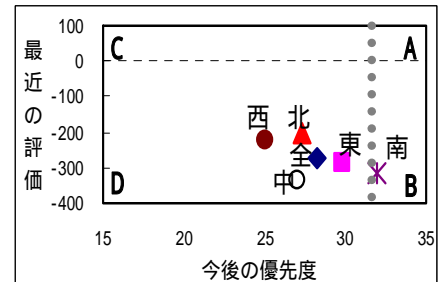
4 必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる



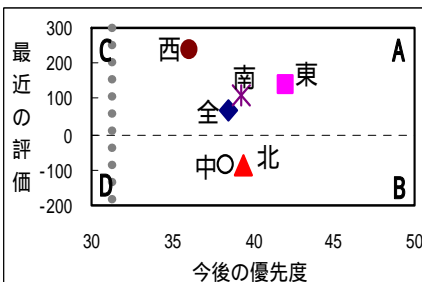
5 高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している



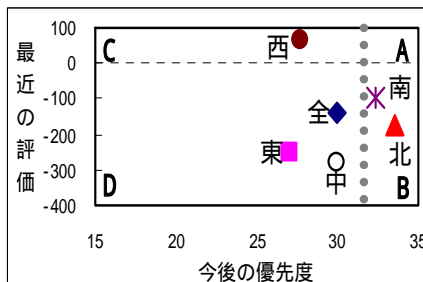
6 要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある



7 公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる



8 グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている



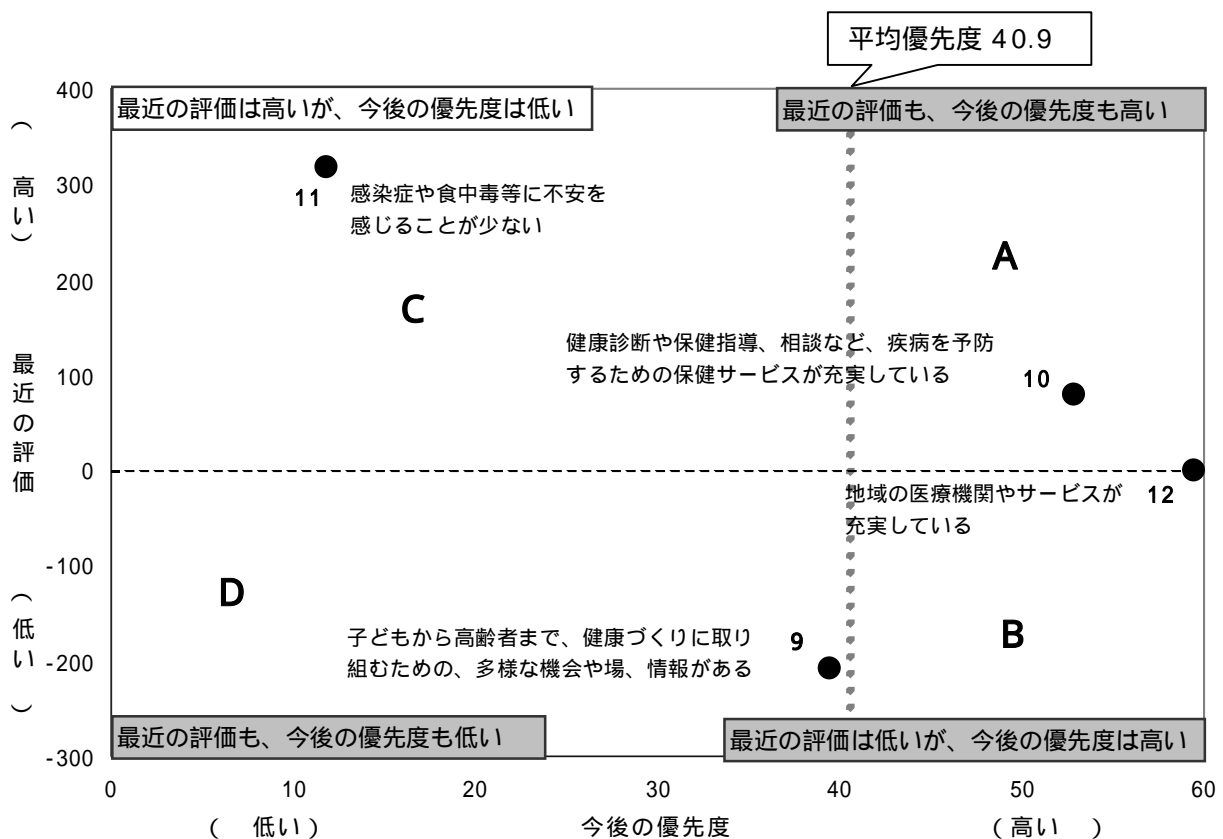
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

## 健康

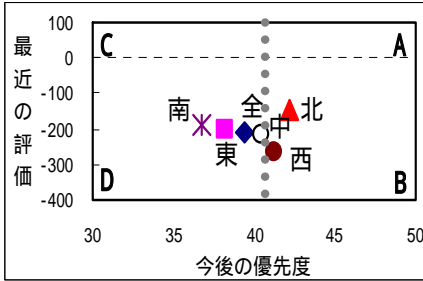
- 健康に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。
- 「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」と「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」には、それぞれ1項目が位置している。
- 「12 地域の医療機関やサービスが充実している」は「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」と「(A) 最近の評価は高く、今後の優先度も高い」の境界線上に位置している。



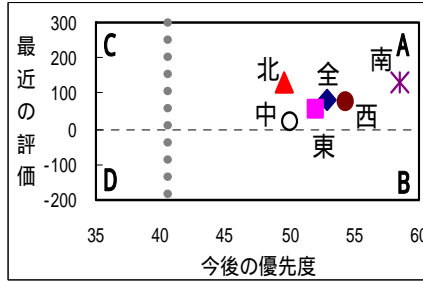


【地域別比較】

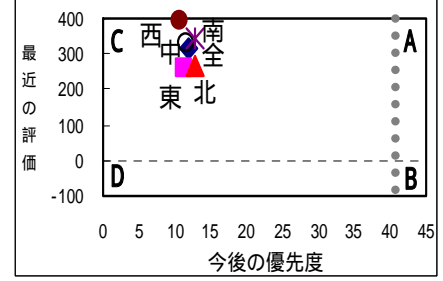
9 子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある



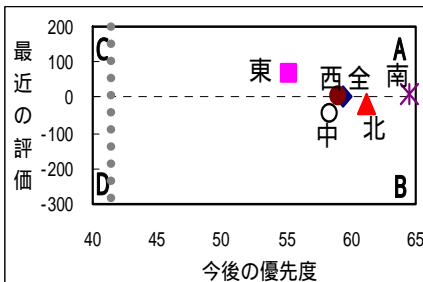
10 健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している



11 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない



12 地域の医療機関やサービスが充実している



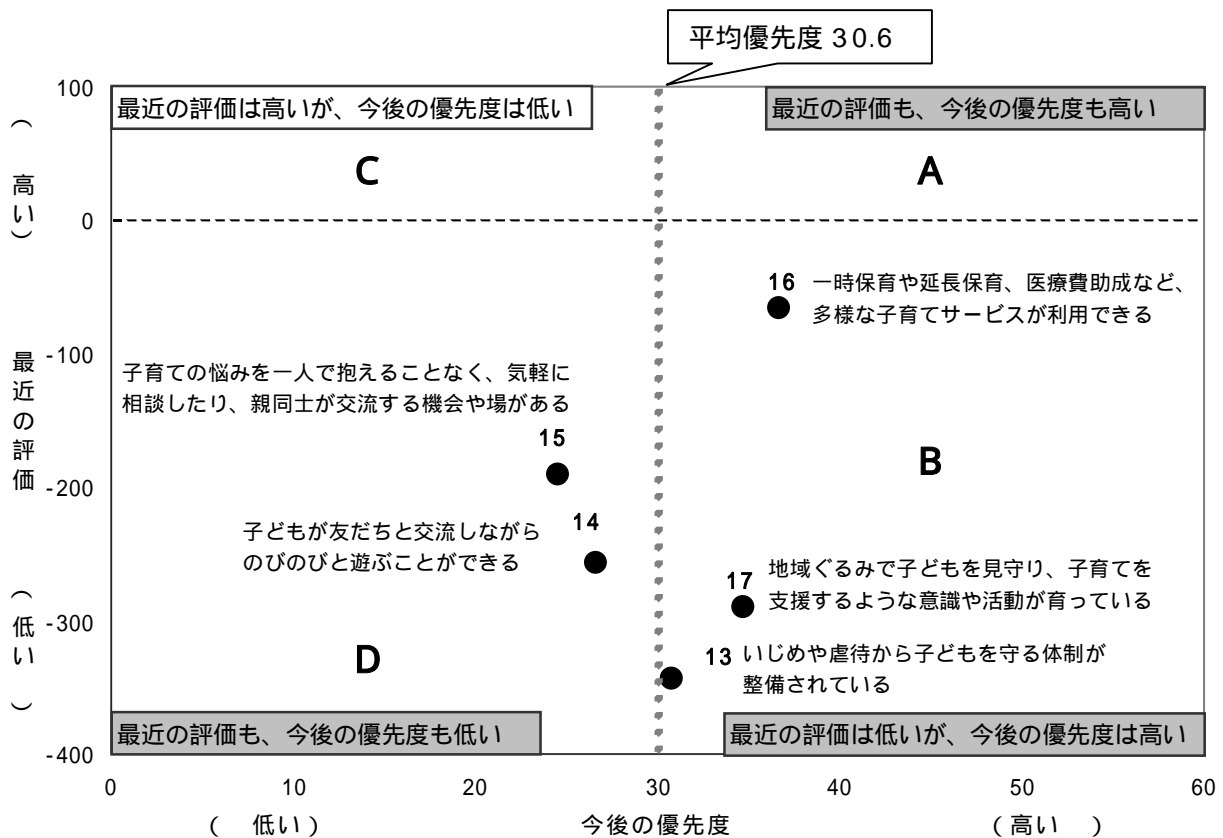
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

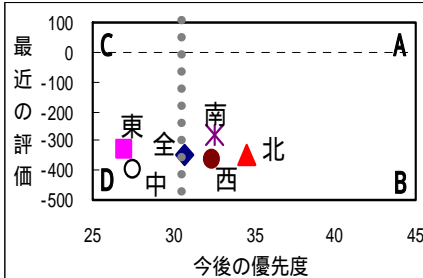
## 子育て

- 子育てに関する生活環境では、5項目のうち3項目が「(B)最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、「(D)最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A)最近の評価も、今後の優先度も高い」と「(C)最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はない。
- 「13 いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」、「17 地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている」、「16 一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」の3項目は、「(B)最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。

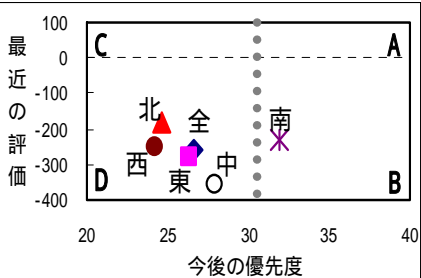


【地域別比較】

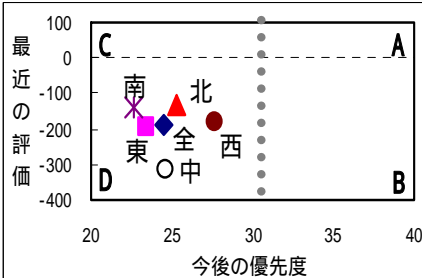
1 3 いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている



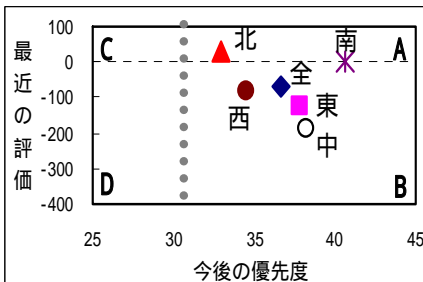
1 4 子どもが友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる



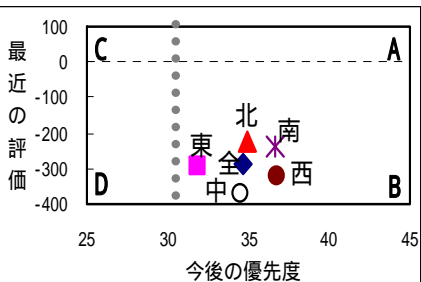
1 5 子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する機会や場がある



1 6 一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる



1 7 地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている



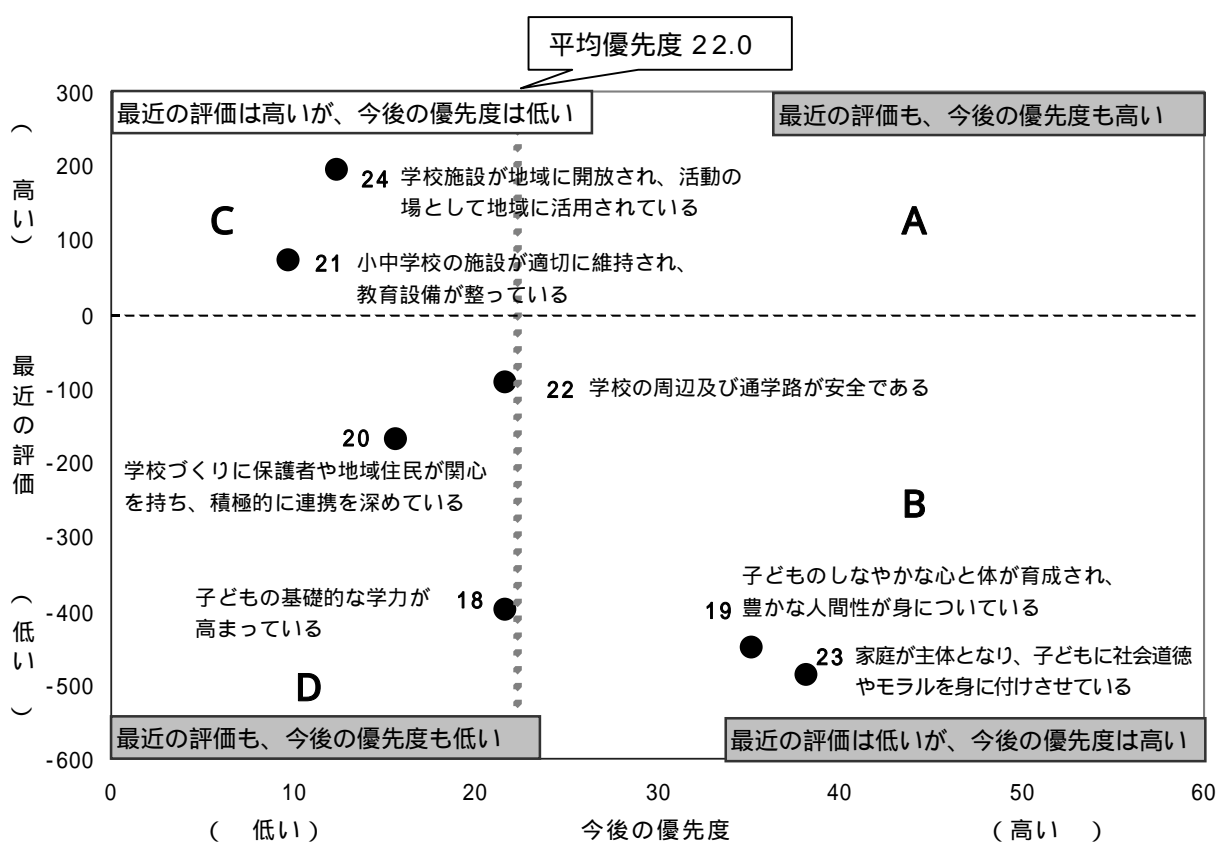
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

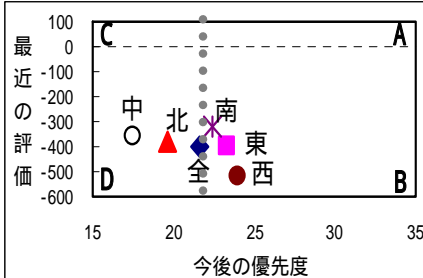
## 教育

- 教育に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(B)最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。2項目が「(C)最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D)最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A)最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 「23 家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」、「19 子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている」の2項目が「(B)最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。
- また、「18 子どもの基礎的な学力が高まっている」は「(D)最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置しているが、「(B)最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」の境界線上に近く、最近の評価のマイナス度が大きい。

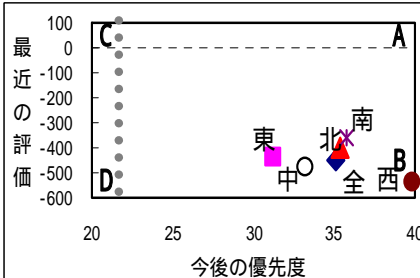


【地域別比較】

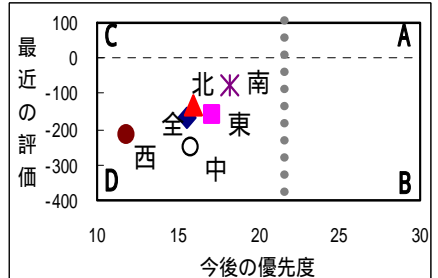
1 8 子どもの基礎的な学力が高まっている



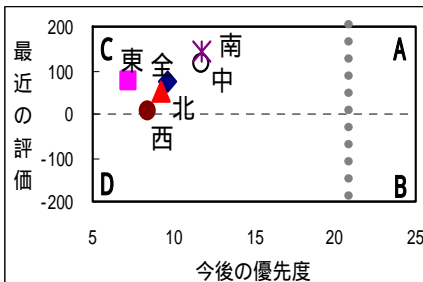
1 9 子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている



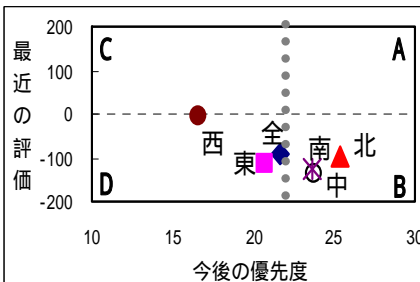
2 0 学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている



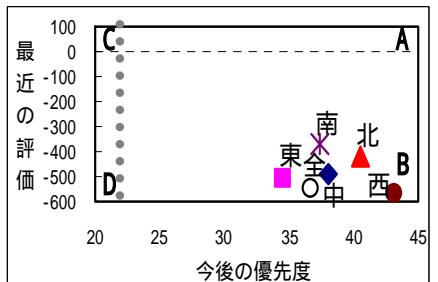
2 1 小中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている



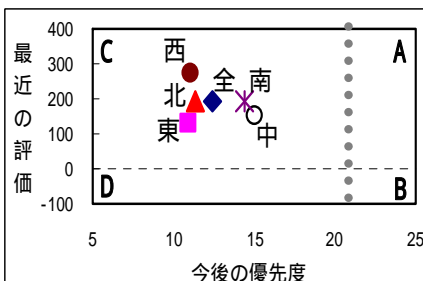
2 2 学校の周辺及び通学路が安全である



2 3 家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている



2 4 学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている



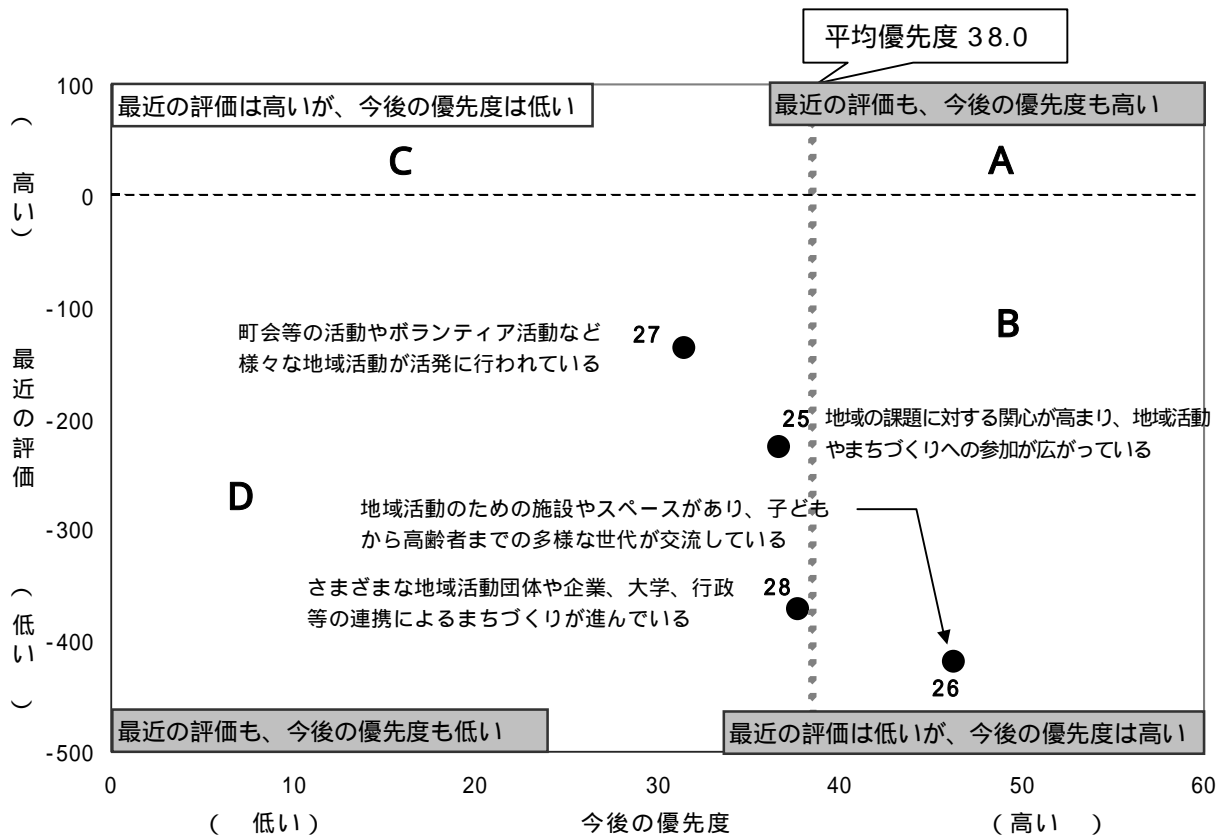
【凡例】

全 ( ) : 区全体      東 ( ) : 東部地域      西 ( ) : 西部地域      南 ( \* ) : 南部地域  
 北 ( ) : 北部地域      中 ( ) : 中央地域

地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

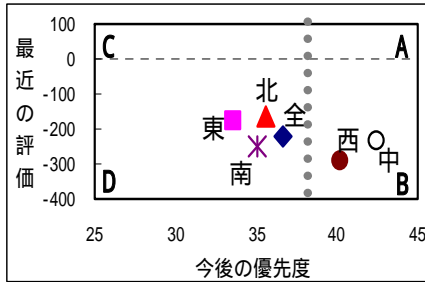
## コミュニティ

- コミュニティに関する生活環境では、各項目とも最近の評価がマイナスの値で低く、4項目のうち1項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」と「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はない。
- 「26 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」は、改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している、また、「28 さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」は、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置するが、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に近く、最近の評価のマイナス度が大きい。

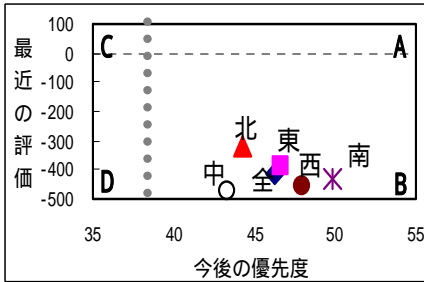


【地域別比較】

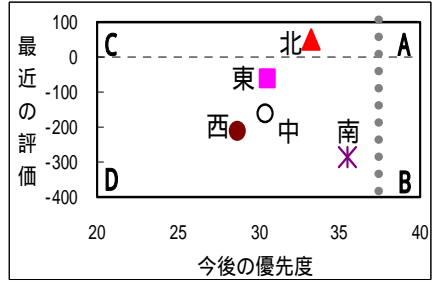
2 5 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている



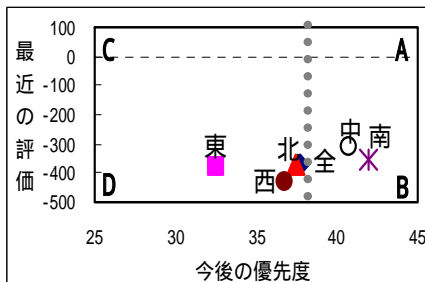
2 6 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している



2 7 町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている



2 8 さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる



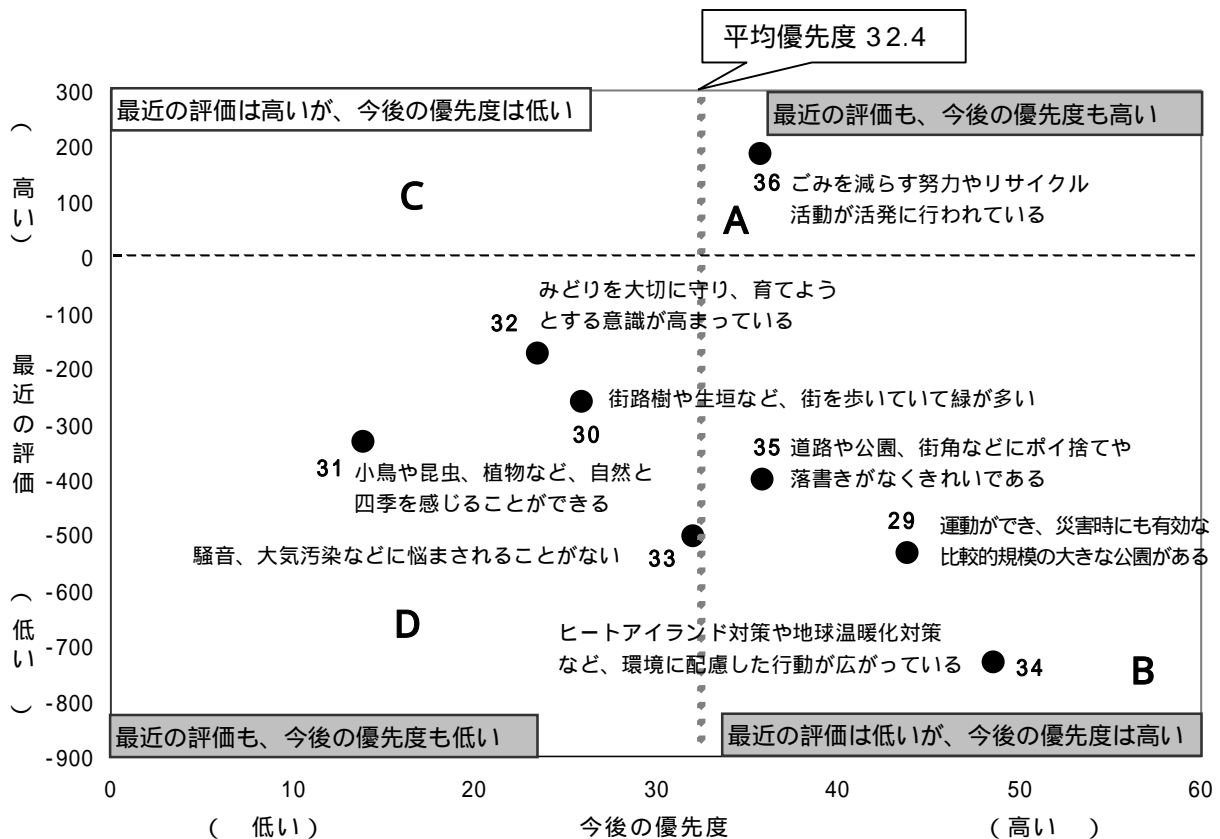
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

## 環境

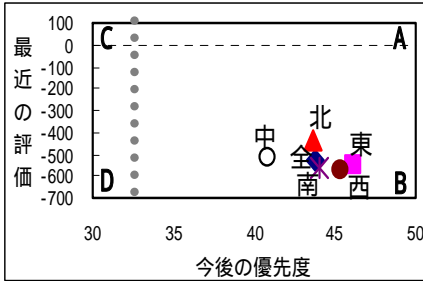
- 環境に関する生活環境では、8項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置し、3項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、4項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」には、「34 ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」、「29 運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」、「35 道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」の3項目が位置している。
- 「33 騒音、大気汚染などに悩まされることがない」は、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置するが、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」との境界に近く、最近の評価のマイナス度も大きい。



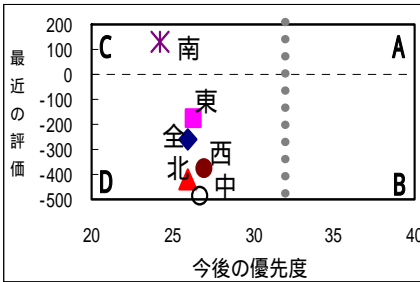


【地域別比較】

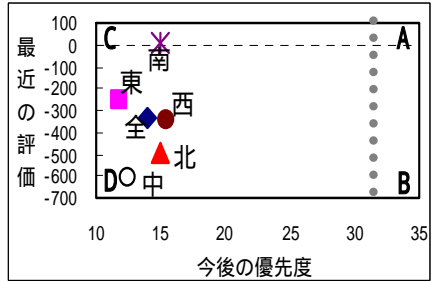
29 運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある



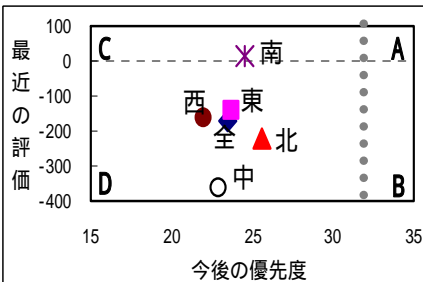
30 街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い



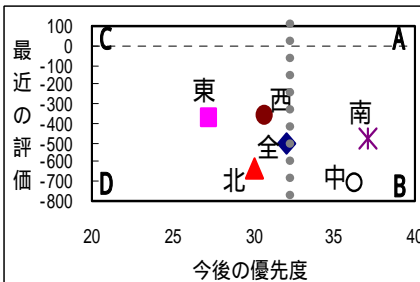
31 小鳥や昆虫、植物など、自然と四季を感じる事ができる



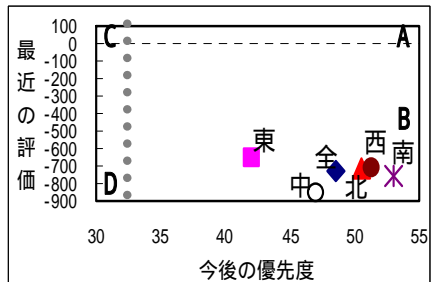
32 みどりを大切に守り、育てようとする意識が高まっている



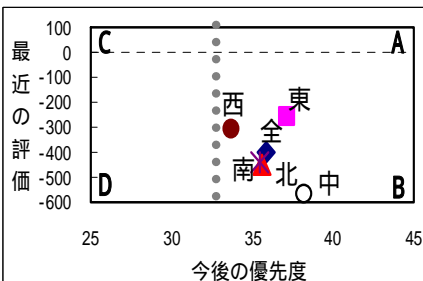
33 騒音、大気汚染などに悩まされることがない



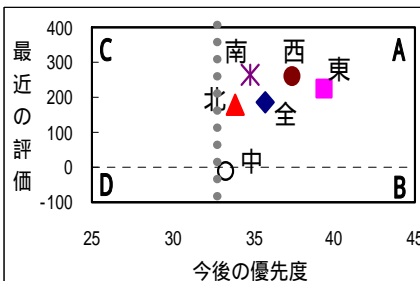
34 ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている



35 道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである



36 ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている



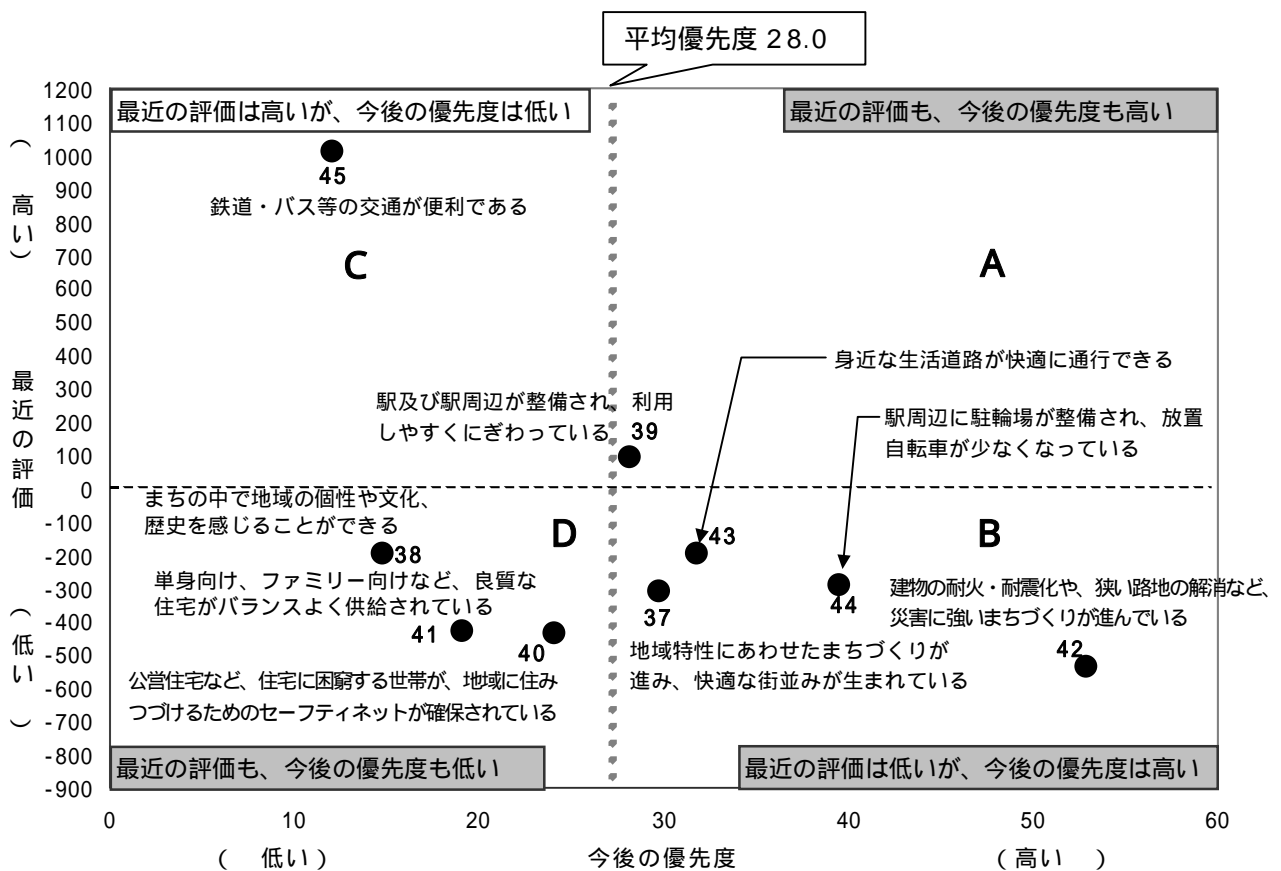
【凡例】

全 ( ) : 区全体      東 ( ) : 東部地域      西 ( ) : 西部地域      南 ( \* ) : 南部地域  
 北 ( ) : 北部地域      中 ( ) : 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

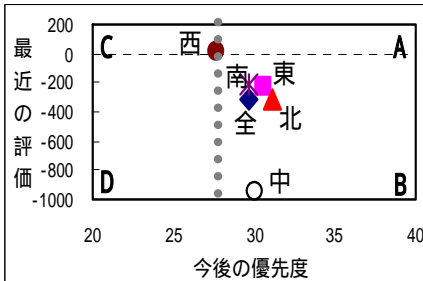
## 都市再生

- 都市再生に関する生活環境では、項目により最近の評価についてのバラつきが大きい。
- 9項目のうち1項目が「(A)最近の評価も、今後の優先度も高い」に、4項目が「(B)最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C)最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D)最近の評価も、今後の優先度も低い」にそれぞれ位置している。
- 「42 建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」をはじめ、「44 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」、「37 地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」、「43 身近な生活道路が快適に通行できる」の3項目が、改善に向けて取り組む必要のある「(B)最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。

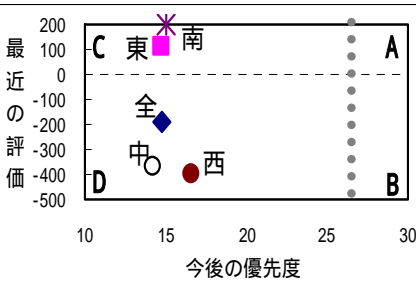


【地域別比較】

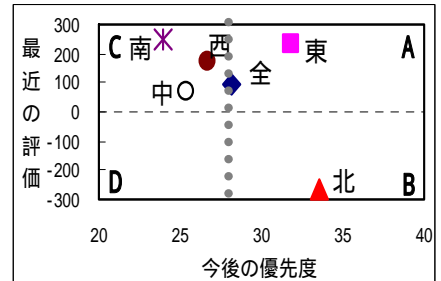
3 7 地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている



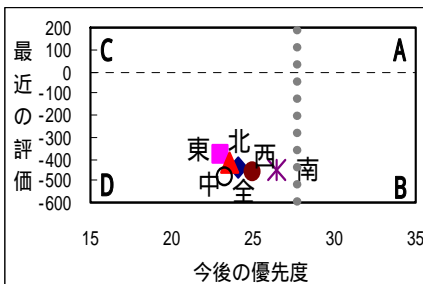
3 8 まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる



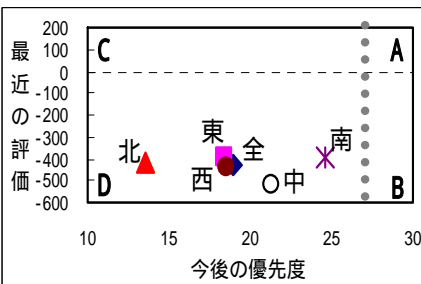
3 9 駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている



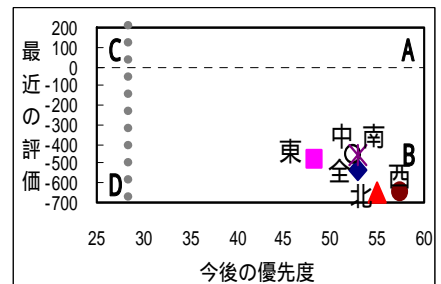
4 0 公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている



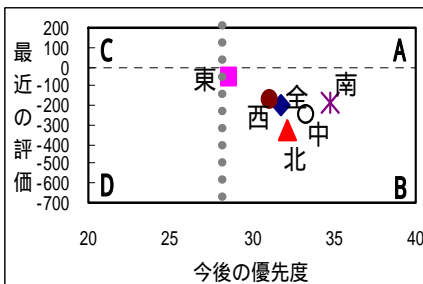
4 1 単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている



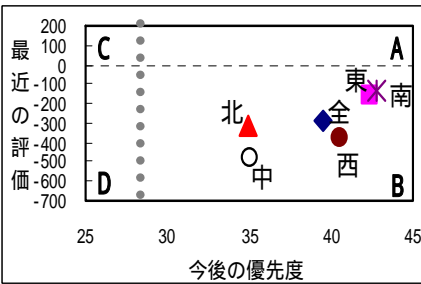
4 2 建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる



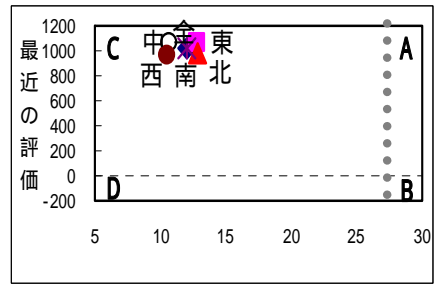
4 3 身近な生活道路が快適に通行できる



4 4 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている



4 5 鉄道・バス等の交通が便利である



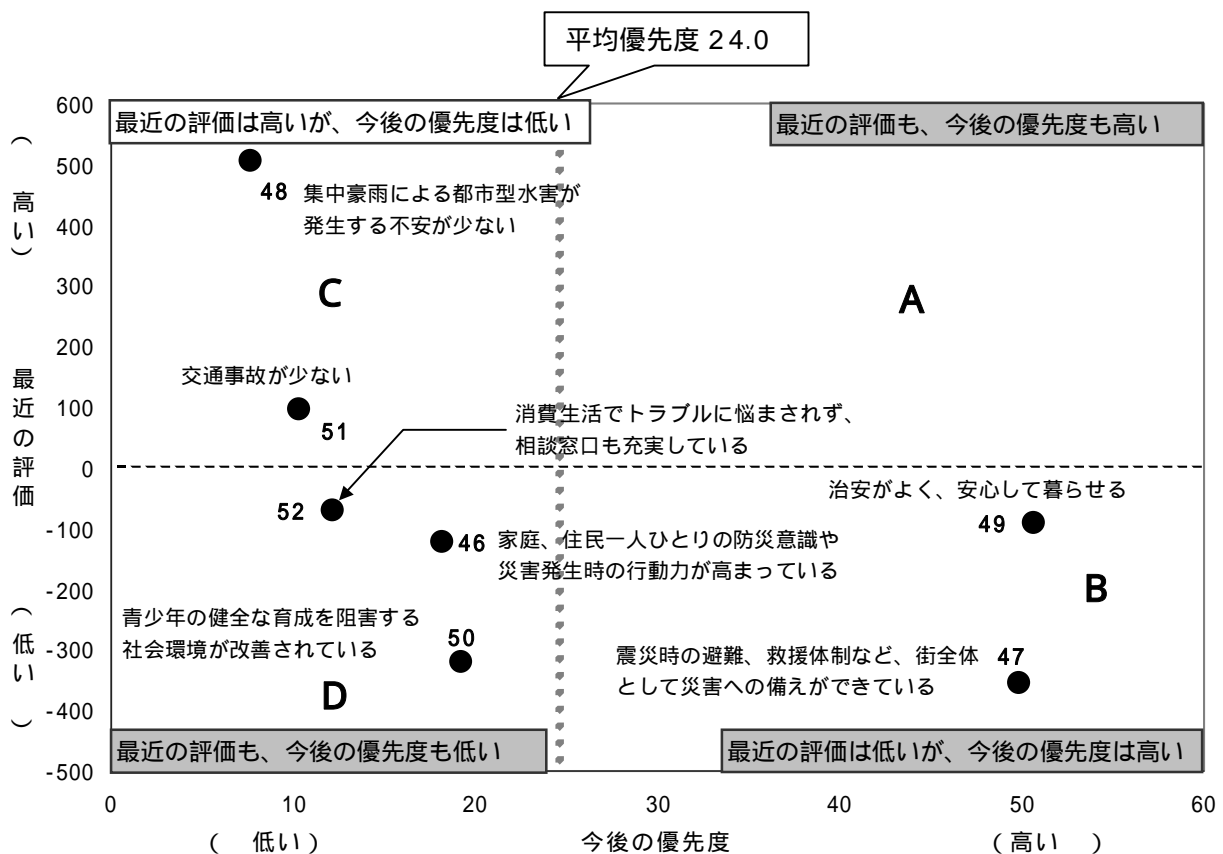
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

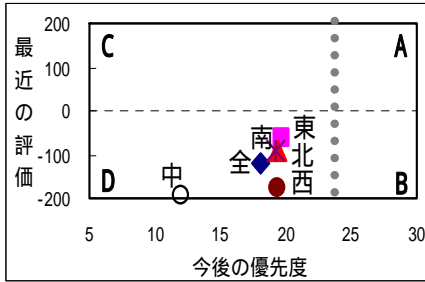
## 安心・安全

- 安心・安全に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(B)最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C)最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D)最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A)最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 「47 震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができていいる」、「49 治安がよく、安心して暮らせる」の2項目は、改善に向けて取り組む必要のある「(B)最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。

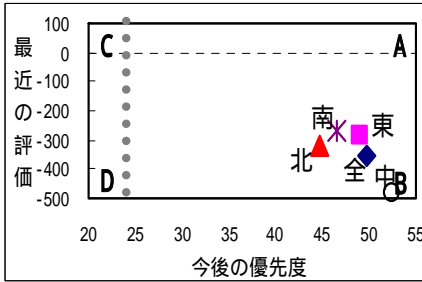


【地域別比較】

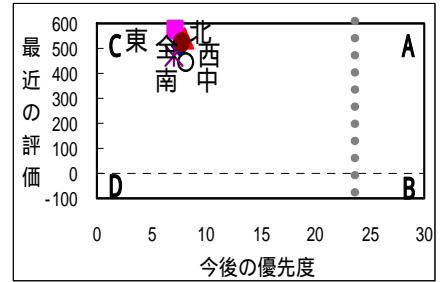
46 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている



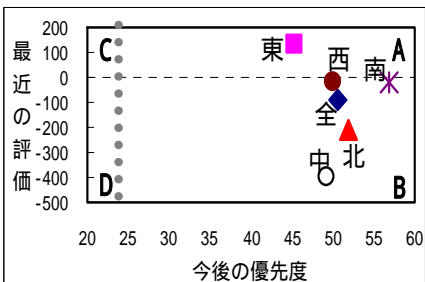
47 震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています



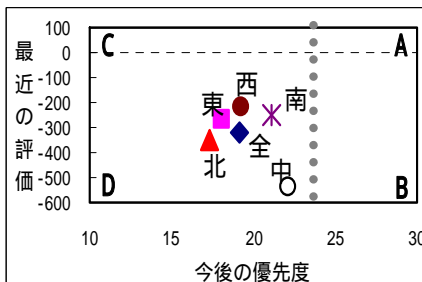
48 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない



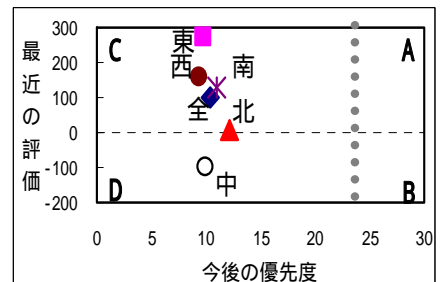
49 治安がよく、安心して暮らせる



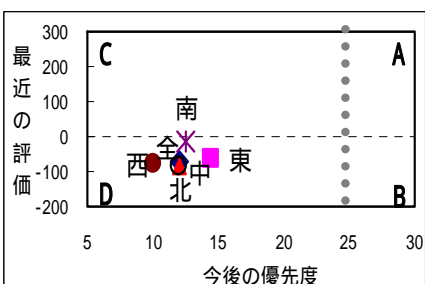
50 青少年の健全な育成を阻害する社会環境が改善されている



51 交通事故が少ない



52 消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している



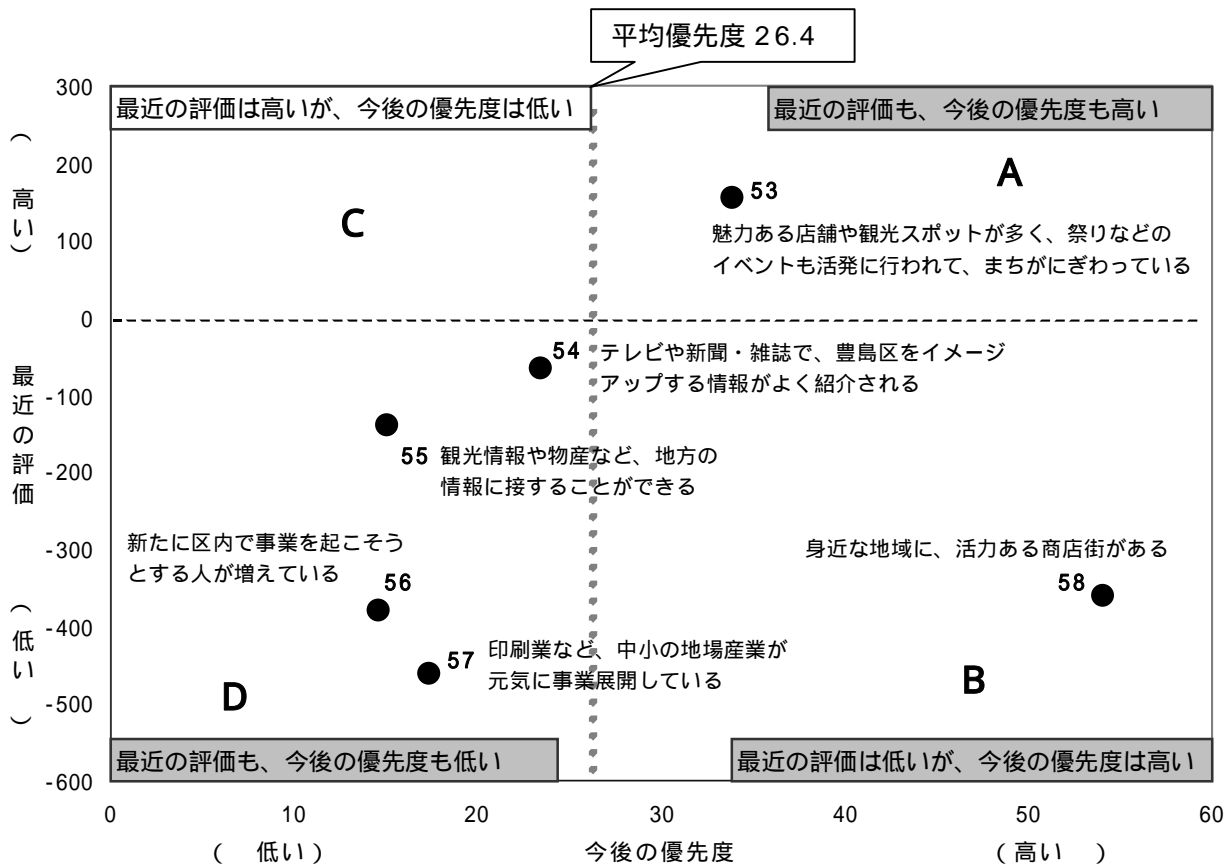
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

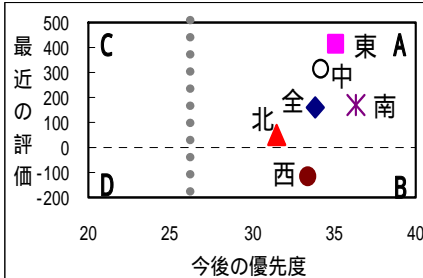
## 観光・産業

- 観光・産業に関する生活環境では、6項目のうち「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」と「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」にそれぞれ1項目が位置し、4項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」には、「58 身近な地域に、活力ある商店街がある」が位置している。

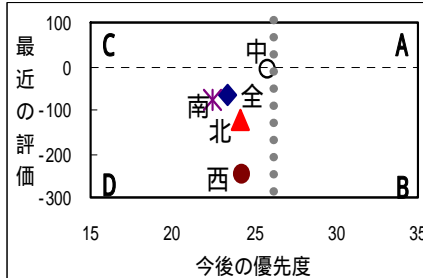


【地域別比較】

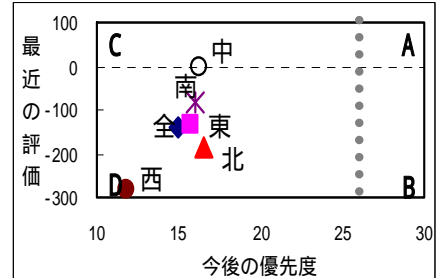
5 3 魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている



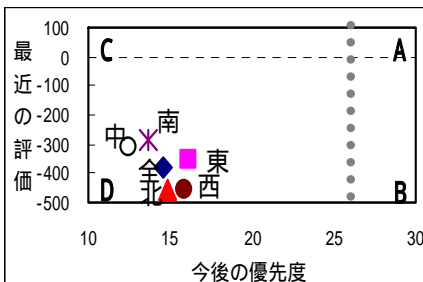
5 4 テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される



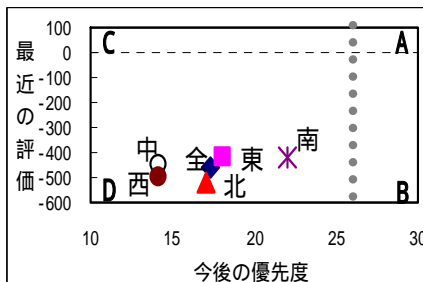
5 5 観光情報や物産など、地方の情報に接することができる



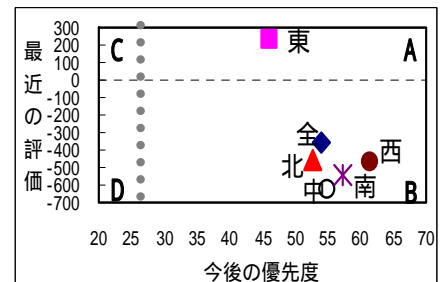
5 6 新たに区内で事業を起そうとする人が増えている



5 7 印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している



5 8 身近な地域に、活力ある商店街がある



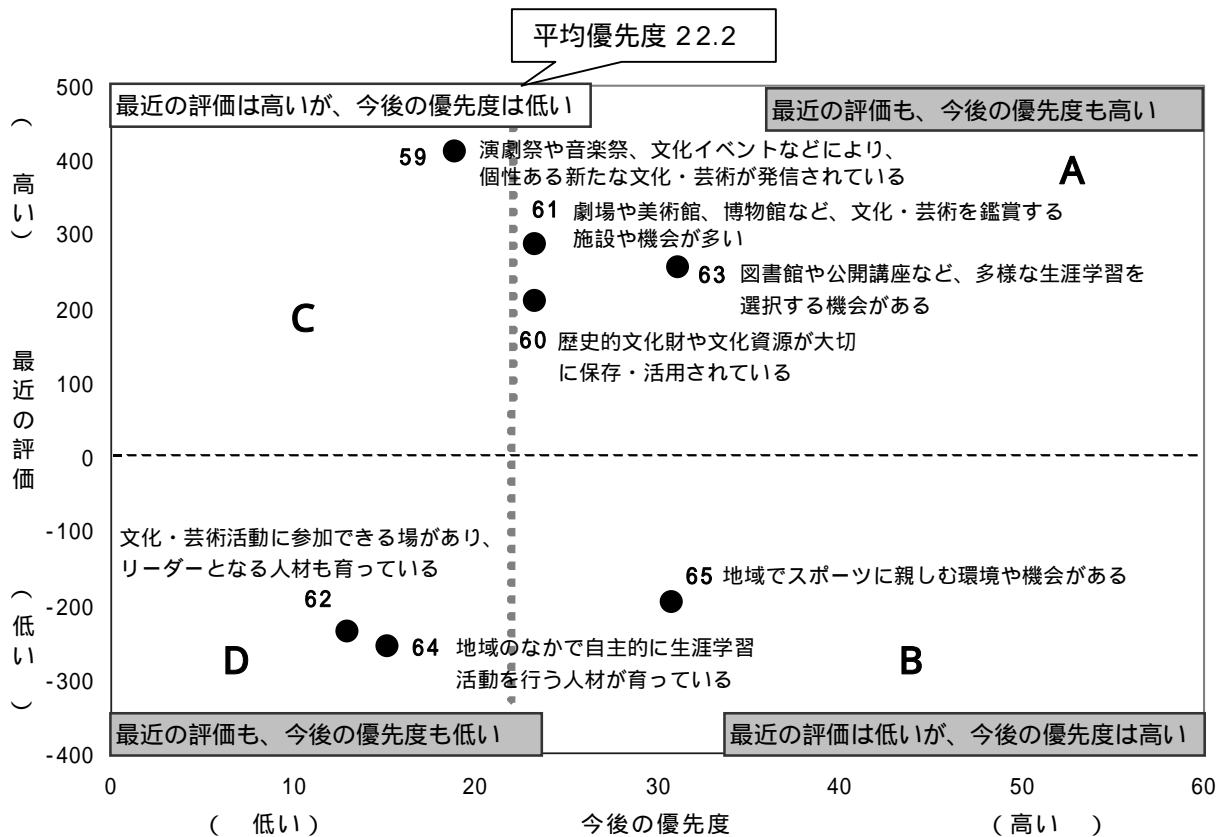
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

## 文化

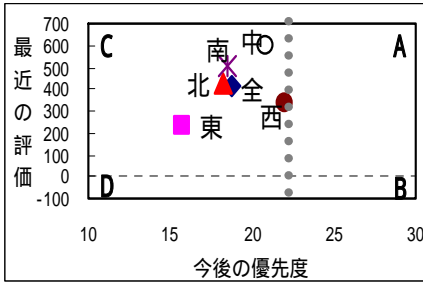
- 文化に関する生活環境では、7項目のうち3項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に集まり、「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」と「(C) 最近の評価は高い、今後の優先度は低い」にそれぞれ1項目が位置し、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 「65 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」は、改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。



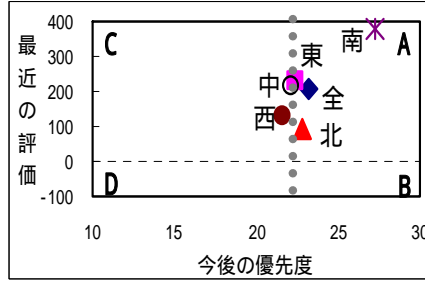


【地域別比較】

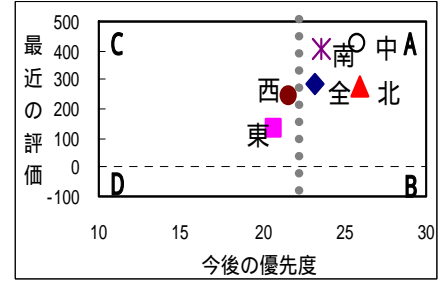
59 演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている



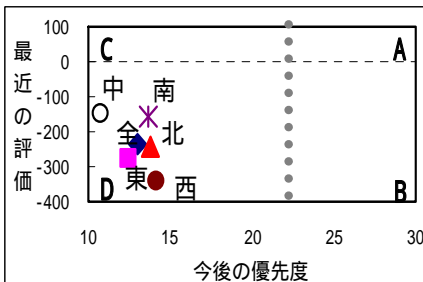
60 歴史的な文化財や文化資源が大切に保存・活用されている



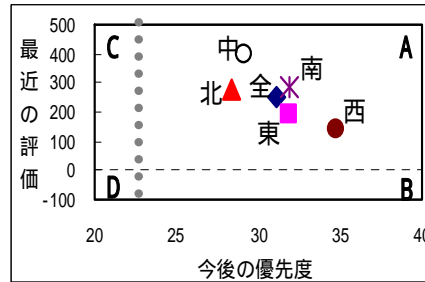
61 劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い



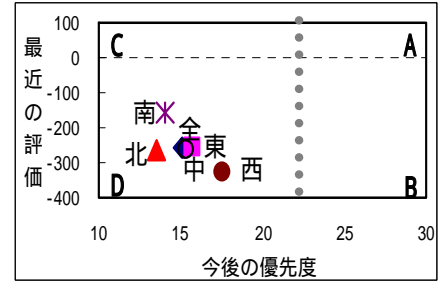
62 文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている



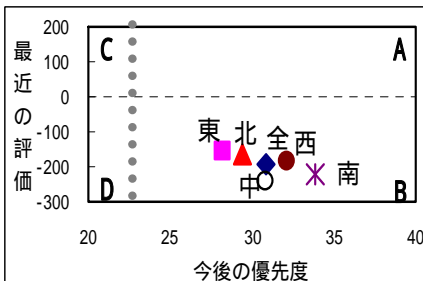
63 図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある



64 地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている



65 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある



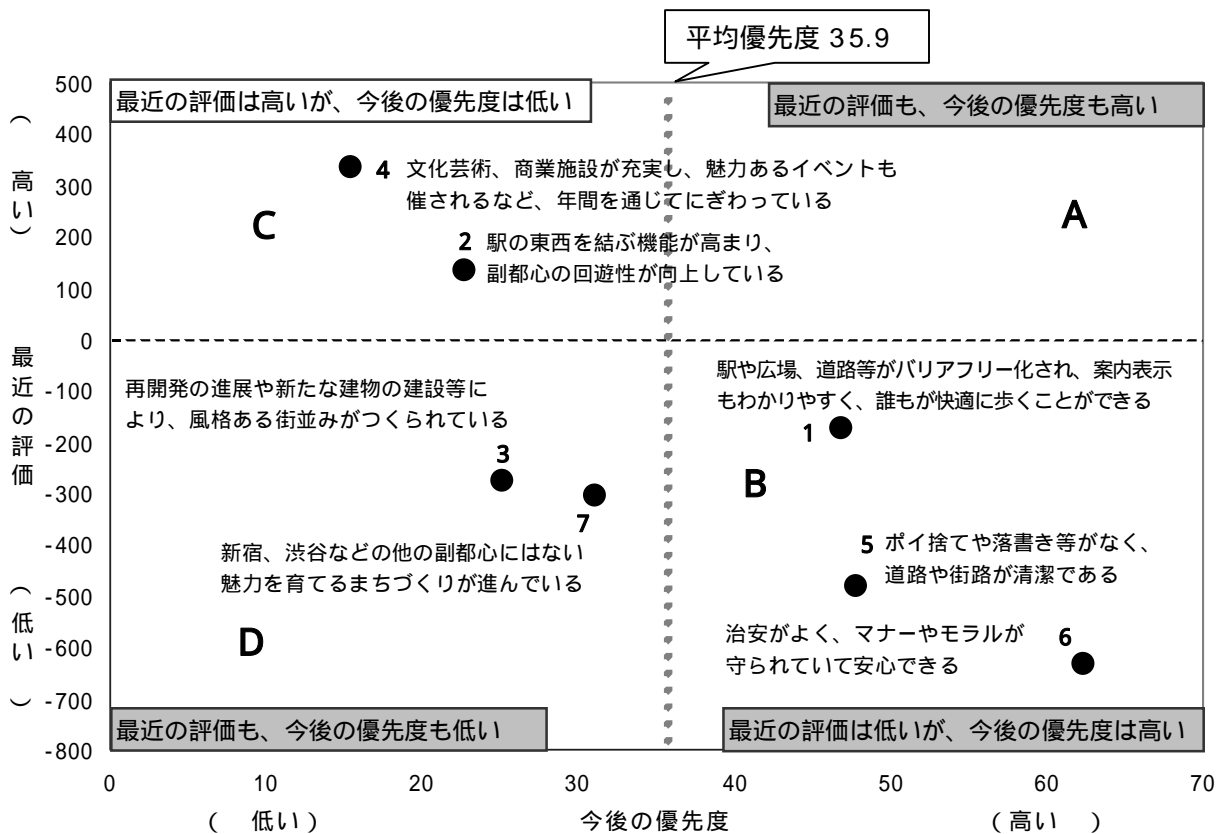
【凡例】

全 ( ): 区全体      東 ( ): 東部地域      西 ( ): 西部地域      南 ( \* ): 南部地域  
 北 ( ): 北部地域      中 ( ): 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

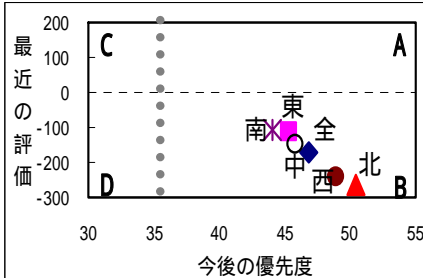
## 池袋副都心のまちづくり

- 池袋副都心のまちづくりでは、7項目のうち3項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置し、「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」と「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」にはそれぞれ2項目が位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」には、「6 治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる」、「5 ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である」、「1 駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩けることができる」の3項目が位置している。

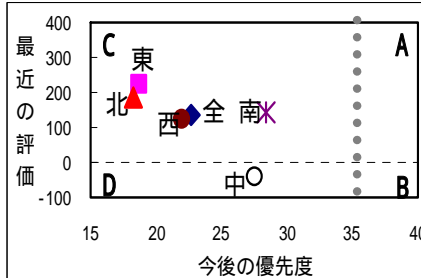


【地域別比較】

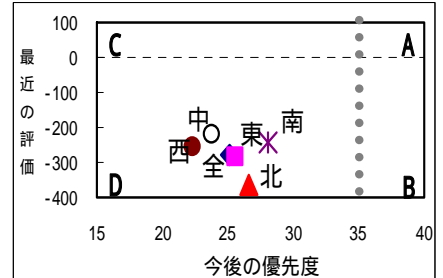
1 駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩くことができる



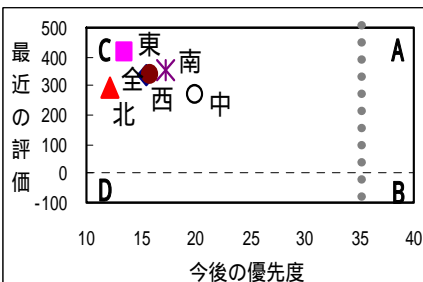
2 駅の東西を結ぶ機能が高まり、副都心の回遊性が向上している



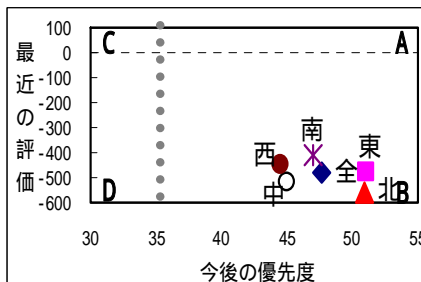
3 再開発の進展や新たな建物の建設等により、風格ある街並みがつくられている



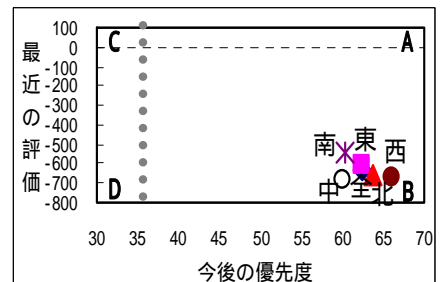
4 文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている



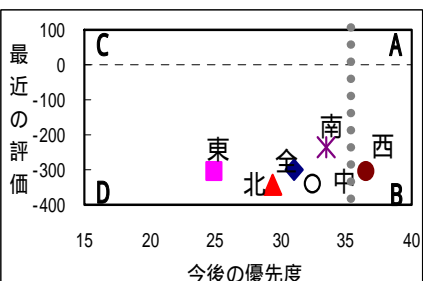
5 ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である



6 治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる



7 新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる



【凡例】

全 ( ) : 区全体      東 ( ) : 東部地域      西 ( ) : 西部地域      南 ( \* ) : 南部地域  
 北 ( ) : 北部地域      中 ( ) : 中央地域

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照



# 第3章

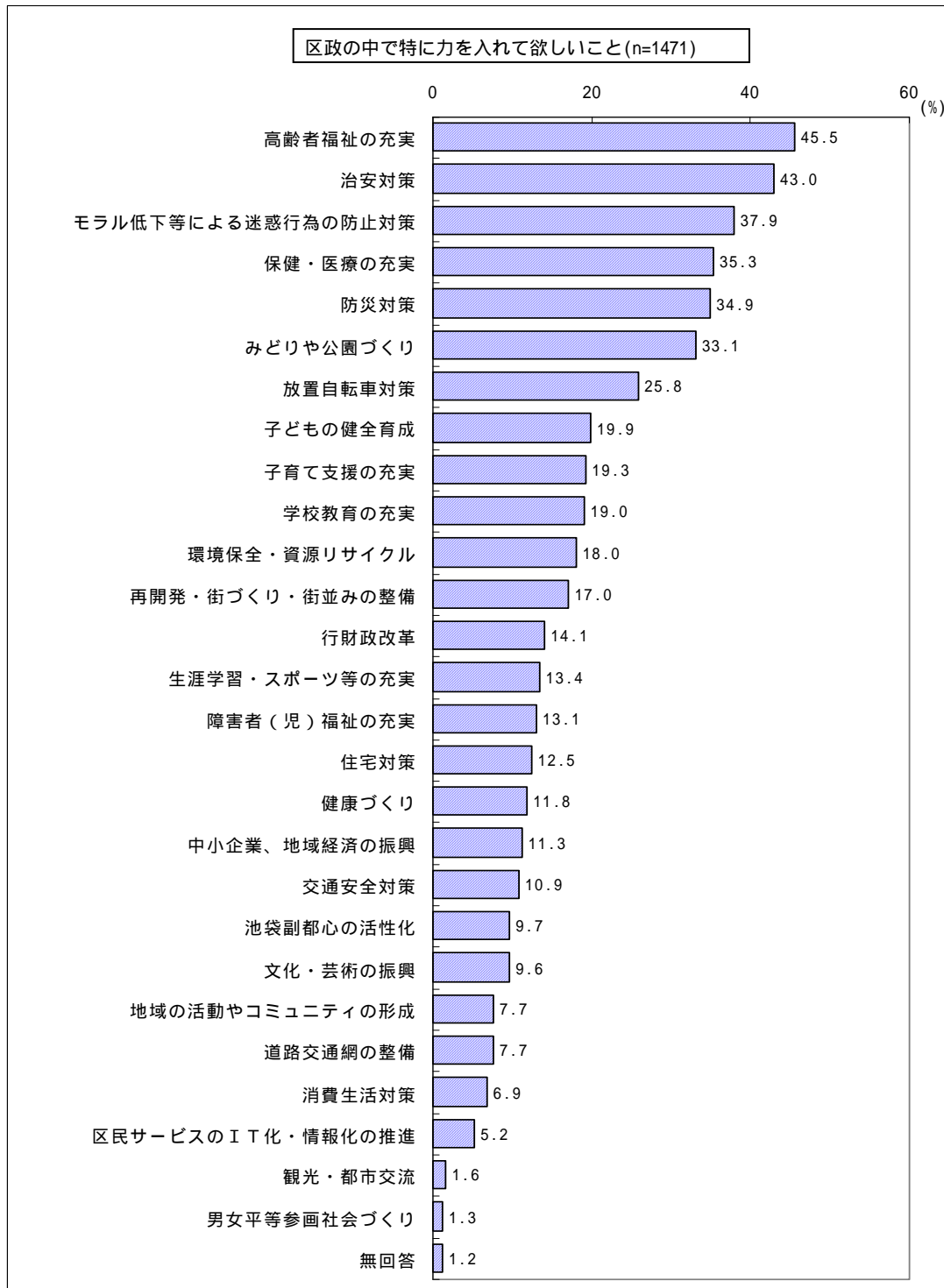
## 区の政策について



## 第3章 区の政策について

### 1 区政全般への要望〔問6〕

- 区政全体の中で、特に力を入れてほしいことについて聞いたところ、「高齢者福祉の充実」(45.5%)と「治安対策」(43.0%)が4割台で1位と2位、次いで「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」(37.9%)「保健・医療の充実」(35.3%)「防災対策」(34.9%)「みどりや公園づくり」(33.1%)が3割台で続いている。
- なお、第3位の「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は、平成16年度調査には設定していなかった選択肢である。



5つ選択

【平成 16 年度調査結果】



5 つ選択



【年齢別】

- 年齢別に上位 10 位までを比較した。
- 「治安対策」、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は、順位にばらつきはあるものの、全ての年齢で回答割合が高くなっている。
- 「高齢者福祉の充実」は、「60～69 歳」(59.4%)、「70 歳以上」(58.7%) で高いが、「30～39 歳」(26.7%) の回答割合は、「60～69 歳」の半分以下になっている。
- 「子育て支援の充実」は、「30～39 歳」(38.4%) で最も高く、「60～69 歳」(16.2%) で 10 位、「50～59 歳」、「70 歳以上」では上位 10 位までに入っていない。
- 「みどりや公園づくり」は「30～39 歳」(40.9%) で特に高くなっているが、「70 歳以上」(23.1%) は低い回答割合となっている。
- 「30～39 歳」、「50～59 歳」では、「環境保全・資源リサイクル」が、それぞれ、9 位、10 位となっている。

	区全体		18～29歳		30～39歳		40～49歳	
	第1位	高齢者福祉の充実	45.5	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	44.5	治安対策	44.0	治安対策
第2位	治安対策	43.0	治安対策	43.8	みどりや公園づくり	40.9	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	43.7
第3位	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.9	みどりや公園づくり	34.3	子育て支援の充実	38.4	防災対策	42.4
第4位	保健・医療の充実	35.3	高齢者福祉の充実	33.6	保健・医療の充実	37.5	高齢者福祉の充実	36.1
第5位	防災対策	34.9	防災対策	33.6	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	33.6	保健・医療の充実	35.3
第6位	みどりや公園づくり	33.1	保健・医療の充実	31.4	防災対策	31.9	みどりや公園づくり	32.4
第7位	放置自転車対策	25.8	放置自転車対策	27.7	高齢者福祉の充実	26.7	子どもの健全育成	23.1
第8位	子どもの健全育成	19.9	子育て支援の充実	25.5	子どもの健全育成	26.3	学校教育の充実	23.1
第9位	子育て支援の充実	19.3	学校教育の充実	21.2	環境保全・資源リサイクル	24.1	放置自転車対策	21.4
第10位	学校教育の充実	19.0	子どもの健全育成	19.0	学校教育の充実	21.1	子育て支援の充実	21.4

	50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	第1位	高齢者福祉の充実	48.1	高齢者福祉の充実	59.4	高齢者福祉の充実
第2位	治安対策	44.9	治安対策	41.0	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.4
第3位	防災対策	38.2	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	35.8	保健・医療の充実	37.0
第4位	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.2	保健・医療の充実	35.4	治安対策	35.6
第5位	みどりや公園づくり	36.5	みどりや公園づくり	33.6	防災対策	35.6
第6位	保健・医療の充実	33.0	防災対策	28.8	放置自転車対策	34.2
第7位	放置自転車対策	24.9	放置自転車対策	28.4	みどりや公園づくり	23.1
第8位	環境保全・資源リサイクル	19.6	行財政改革	17.7	学校教育の充実	22.4
第9位	再開発・街づくり・街並みの整備	18.9	学校教育の充実	17.3	子どもの健全育成	20.3
第10位	子どもの健全育成	16.8	子育て支援の充実	16.2	交通安全対策	18.9

【地域別】

- 年齢別に上位 10 位までを比較した。
- 「高齢者福祉の充実」、「治安対策」、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は、全ての地域で上位になっている。
- 「治安対策」は、「中央地域」(47.5%)と「南部地域」(48.8%)が高くなっており、「東部地域」(36.8%)が最も低い。
- 「保健・医療の充実」の回答割合は、「北部地域」(40.8%)、「西部地域」(39.0%)が高い。最も低い地域は、「中央地域」(27.5%)である。
- 「放置自転車対策」は、「東部地域」(30.6%)、「中央地域」(28.8%)が高く、「南部地域」(21.4%)が最も低い。

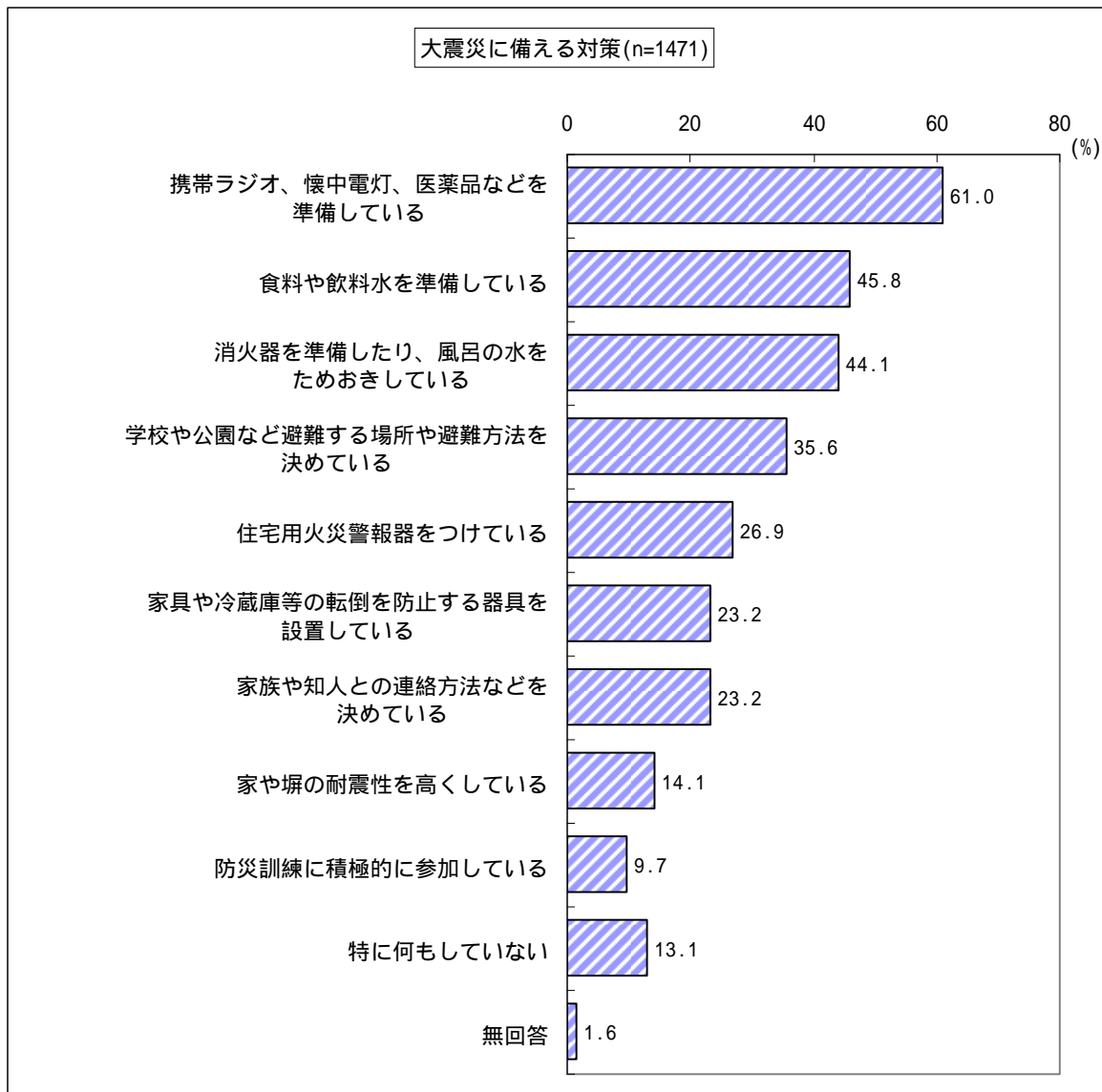
	区全体		東部地域		北部地域		中央地域	
第1位	高齢者福祉の充実	45.5	高齢者福祉の充実	49.7	高齢者福祉の充実	46.0	治安対策	47.5
第2位	治安対策	43.0	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.5	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	42.6	高齢者福祉の充実	43.8
第3位	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.9	治安対策	36.8	治安対策	42.2	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	37.5
第4位	保健・医療の充実	35.3	保健・医療の充実	35.5	保健・医療の充実	40.8	防災対策	36.7
第5位	防災対策	34.9	みどりや公園づくり	32.9	防災対策	37.0	みどりや公園づくり	35.8
第6位	みどりや公園づくり	33.1	防災対策	32.6	みどりや公園づくり	32.2	放置自転車対策	28.8
第7位	放置自転車対策	25.8	放置自転車対策	30.6	放置自転車対策	20.8	保健・医療の充実	27.5
第8位	子どもの健全育成	19.9	子育て支援の充実	19.4	子どもの健全育成	20.8	再開発・街づくり・街並みの整備	22.5
第9位	子育て支援の充実	19.3	学校教育の充実	19.1	環境保全・資源リサイクル	19.7	子育て支援の充実	19.2
第10位	学校教育の充実	19.0	行財政改革	18.8	子育て支援の充実	18.3	環境保全・資源リサイクル	17.5

	南部地域		西部地域	
第1位	治安対策	48.9	治安対策	41.6
第2位	高齢者福祉の充実	46.3	高齢者福祉の充実	41.2
第3位	保健・医療の充実	39.0	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	38.9
第4位	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	34.8	防災対策	38.5
第5位	みどりや公園づくり	34.2	保健・医療の充実	31.4
第6位	防災対策	31.6	みどりや公園づくり	31.1
第7位	子どもの健全育成	21.7	放置自転車対策	27.7
第8位	放置自転車対策	21.4	学校教育の充実	24.0
第9位	子育て支援の充実	20.4	子どもの健全育成	23.3
第10位	環境保全・資源リサイクル	19.8	子育て支援の充実	19.6

地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

## 2 震災等への備えについて〔問7〕

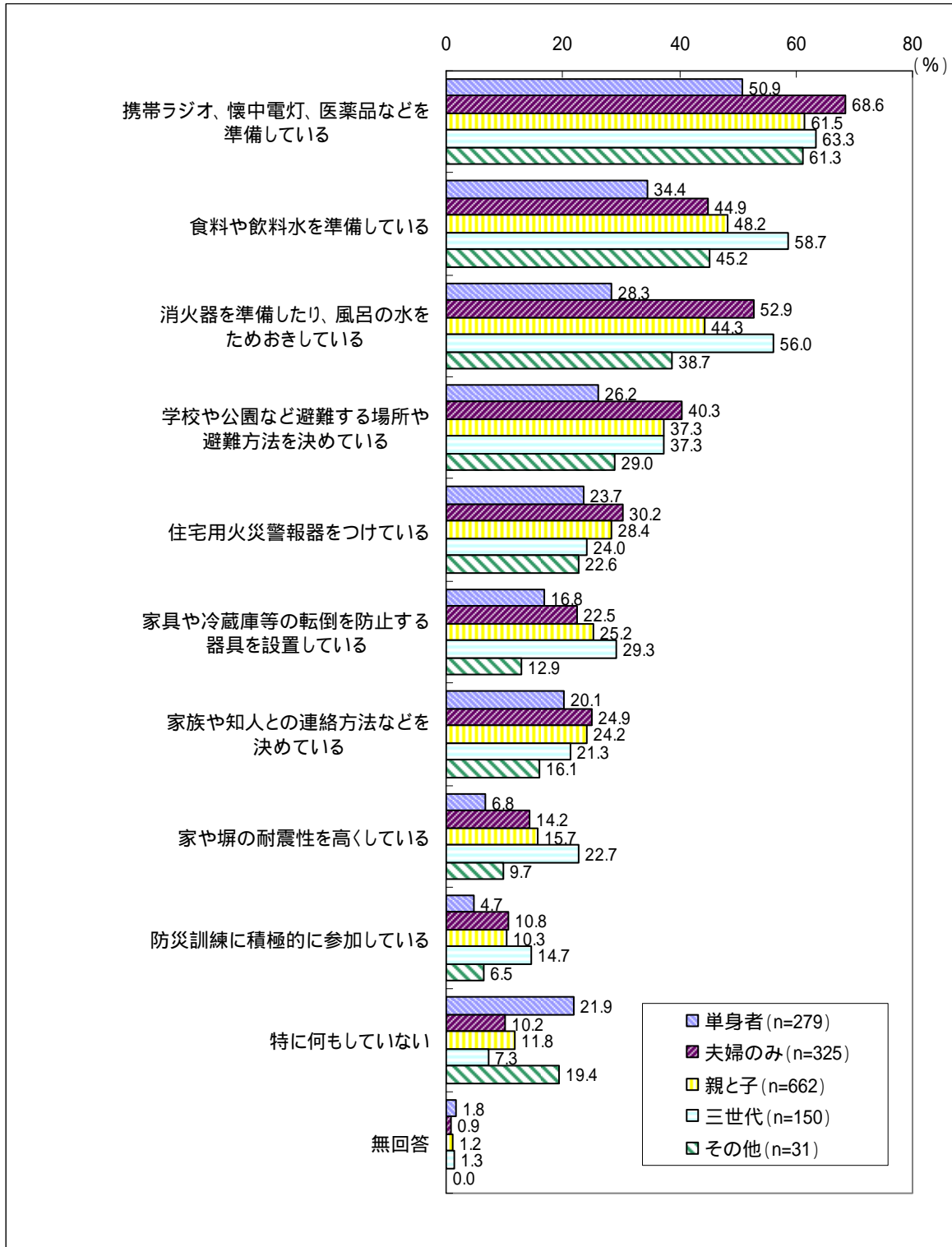
- 大地震が起こった場合に備えてどのような対策をとっているか聞いたところ、最も高いものは「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」(61.0%)であり、「食料や飲料水を準備している」(45.8%)、「消火器を準備したり、風呂の水をためおきしている」(44.1%)、「学校や公園など避難する場所や避難方法を決めている」(35.6%)が続いている。
- 「家や塀の耐震性を高くしている」(14.1%)や「防災訓練に積極的に参加している」(9.7%)は、あまり実施されておらず、「特に何もしていない」(13.1%)は1割以上となっている。



あてはまるものすべて選択

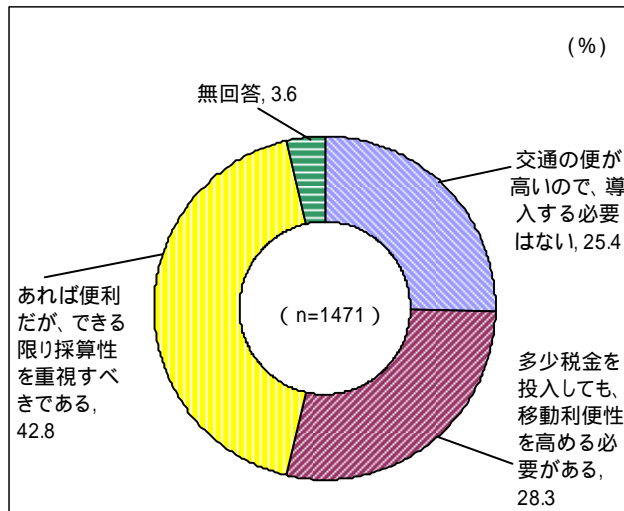
【世帯別】

- 「単身者」は、全体的に数値が低く、災害時の対策をとっていない傾向にある。特に、「特に何もしていない」は2割となっている
- 「食料や飲料水を準備している」(58.7%)や「消火器を準備したり、風呂の水をためおきしている」(56.0%)は「三世代」世帯が高くなっている。



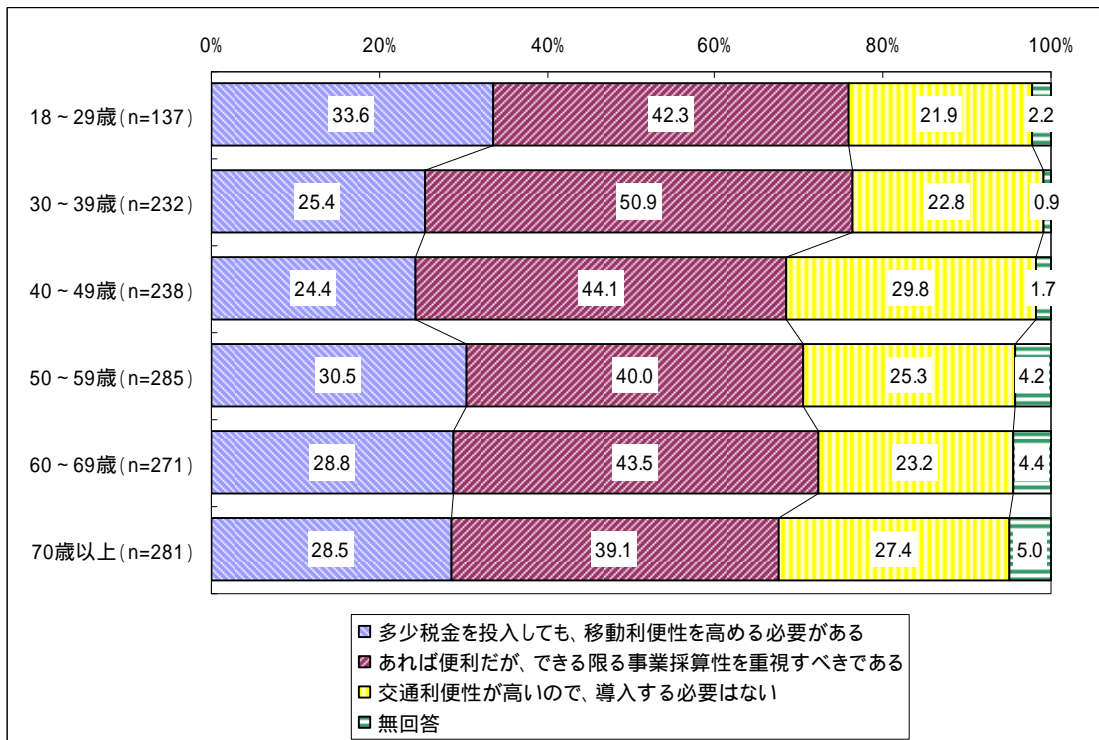
### 3 - コミュニティバス導入について〔問8 - 1〕

- コミュニティバスの導入について聞いたところ、「あれば便利だが、できる限り事業採算性を重視すべきである」(42.8%) が最も高く、「今後の高齢社会では、多少税金を投入しても、移動利便性を高める必要がある」(28.3%) が続いている。



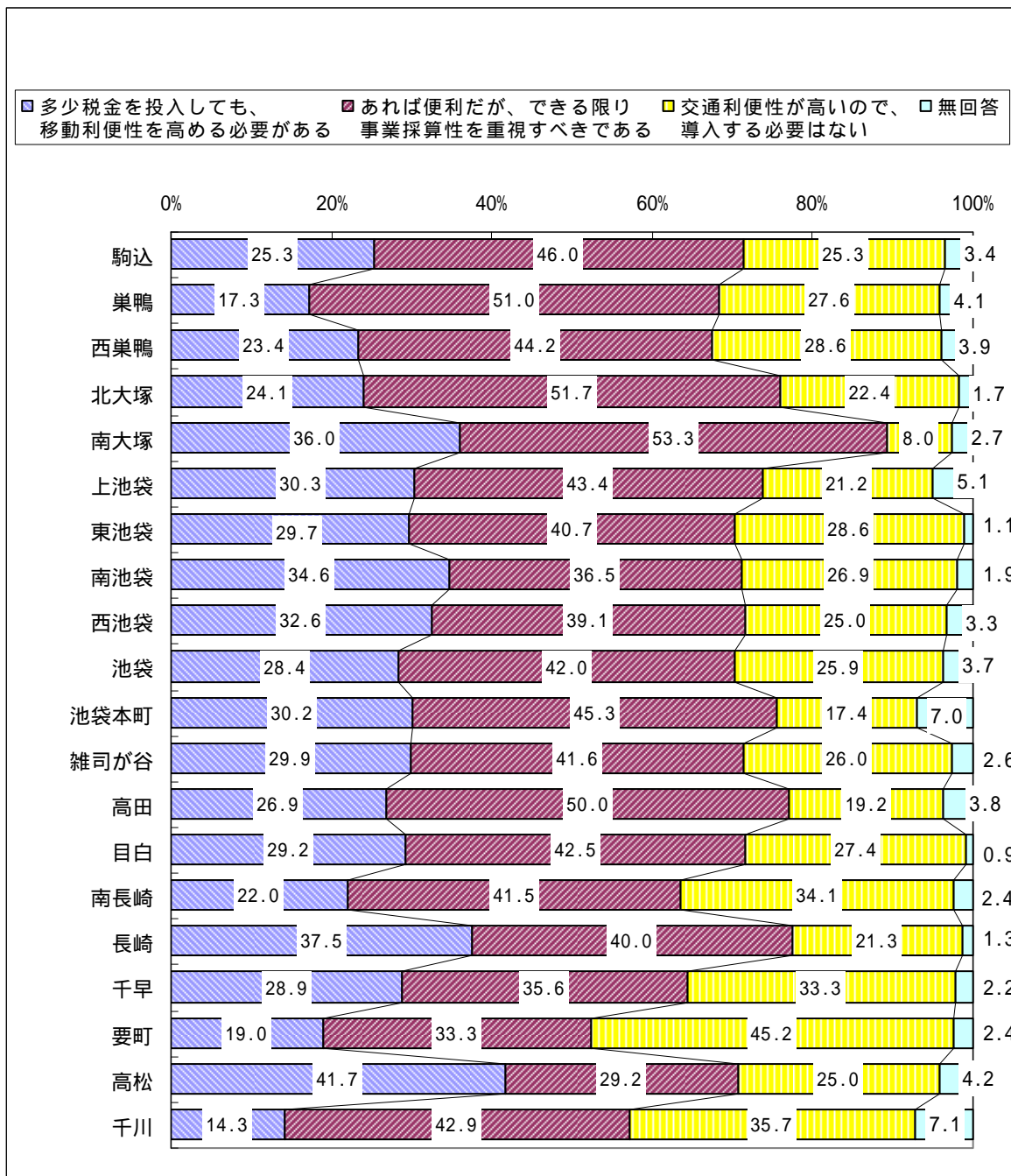
#### 【年齢別】

- 全ての年齢層で、「あれば便利だが、できる限り事業採算性を重視すべきである」が最も高くなっている。



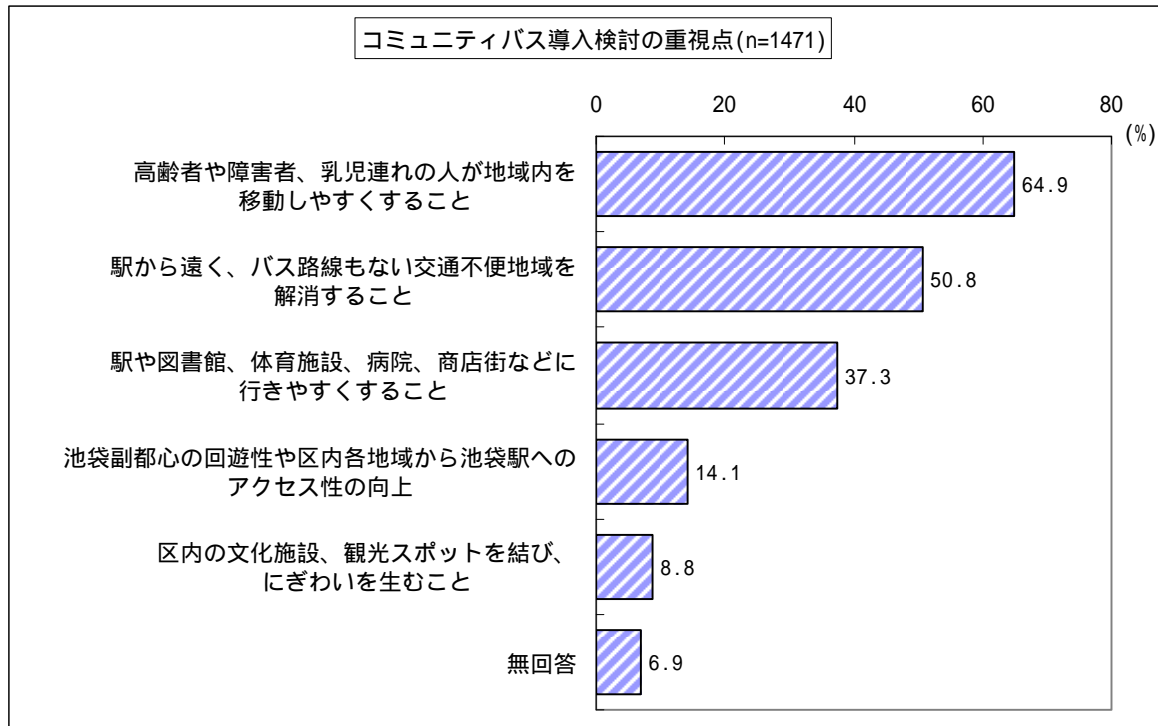
【町名別】

- 「多少税金を投入しても、移動利便性を高める必要がある」が高いのは、高松（41.7%）、長崎（37.5%）、南大塚（36.0%）、南池袋（34.6%）、西池袋（32.6%）などである。
- 一方、「交通利便性が高いので、導入する必要はない」が高いのは、要町（45.2%）、千川（35.7%）、南長崎（34.1%）、千早（33.3%）などである。



### 3 - コミュニティバス導入検討の際に重視すること〔問8-2〕

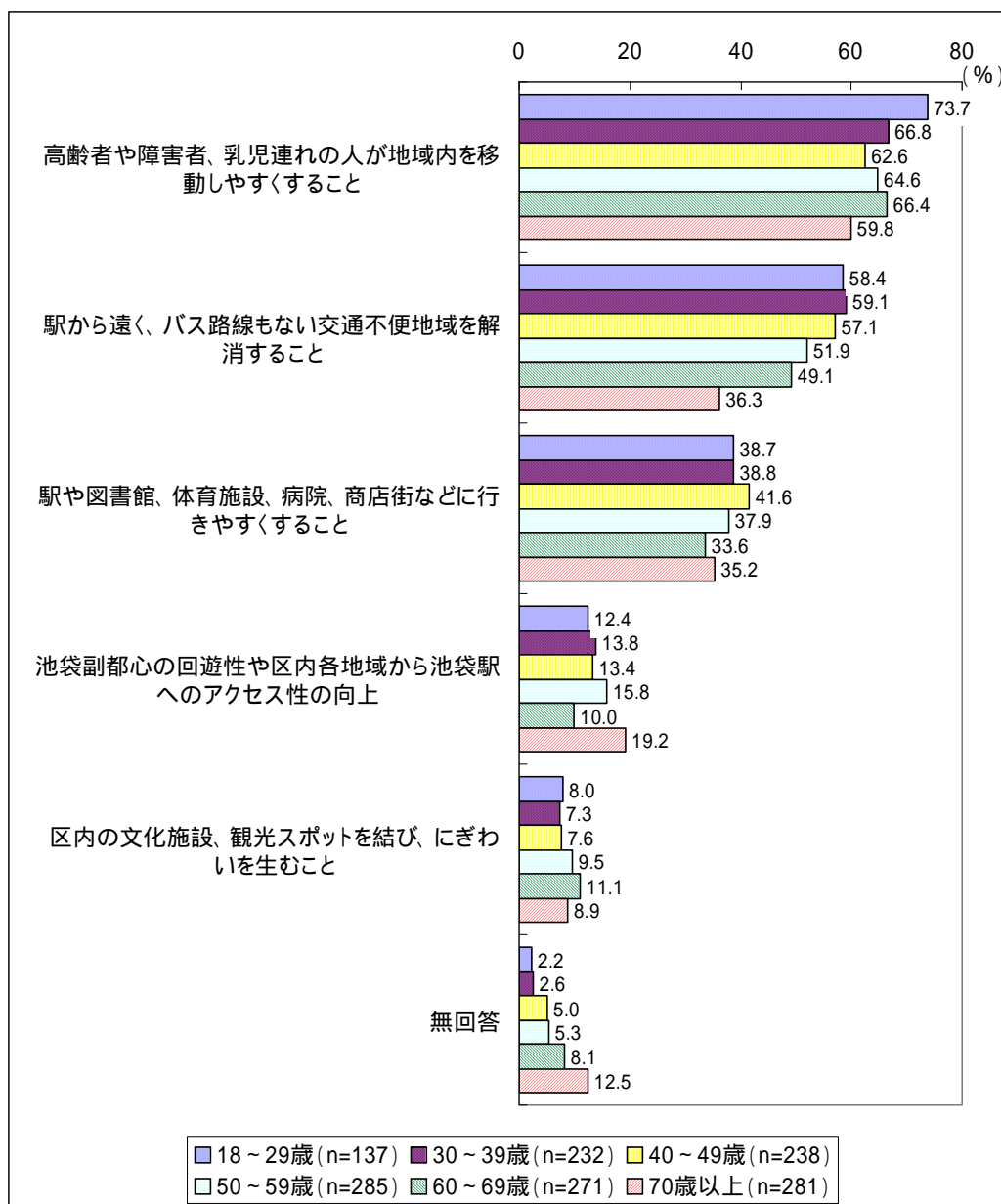
- コミュニティバス導入の検討の際に重視することについて聞いたところ、最も高いものは、「高齢者や障害者、乳児連れの人が地域内を移動しやすくすること」(64.9%)であり、「駅から遠く、バス路線もない交通不便地域を解消すること」(50.8%)、「駅や図書館、体育施設、病院、商店街などに行きやすくすること」(37.3%)が続いている。
- 一方、最も低いものは、「区内の文化施設、観光スポットを結び、にぎわいを生むこと」(8.8%)であり、「池袋副都心の回遊性や区内各地域から池袋駅へのアクセス性を向上させること」(14.1%)が続いている。



2つ選択

【年齢別】

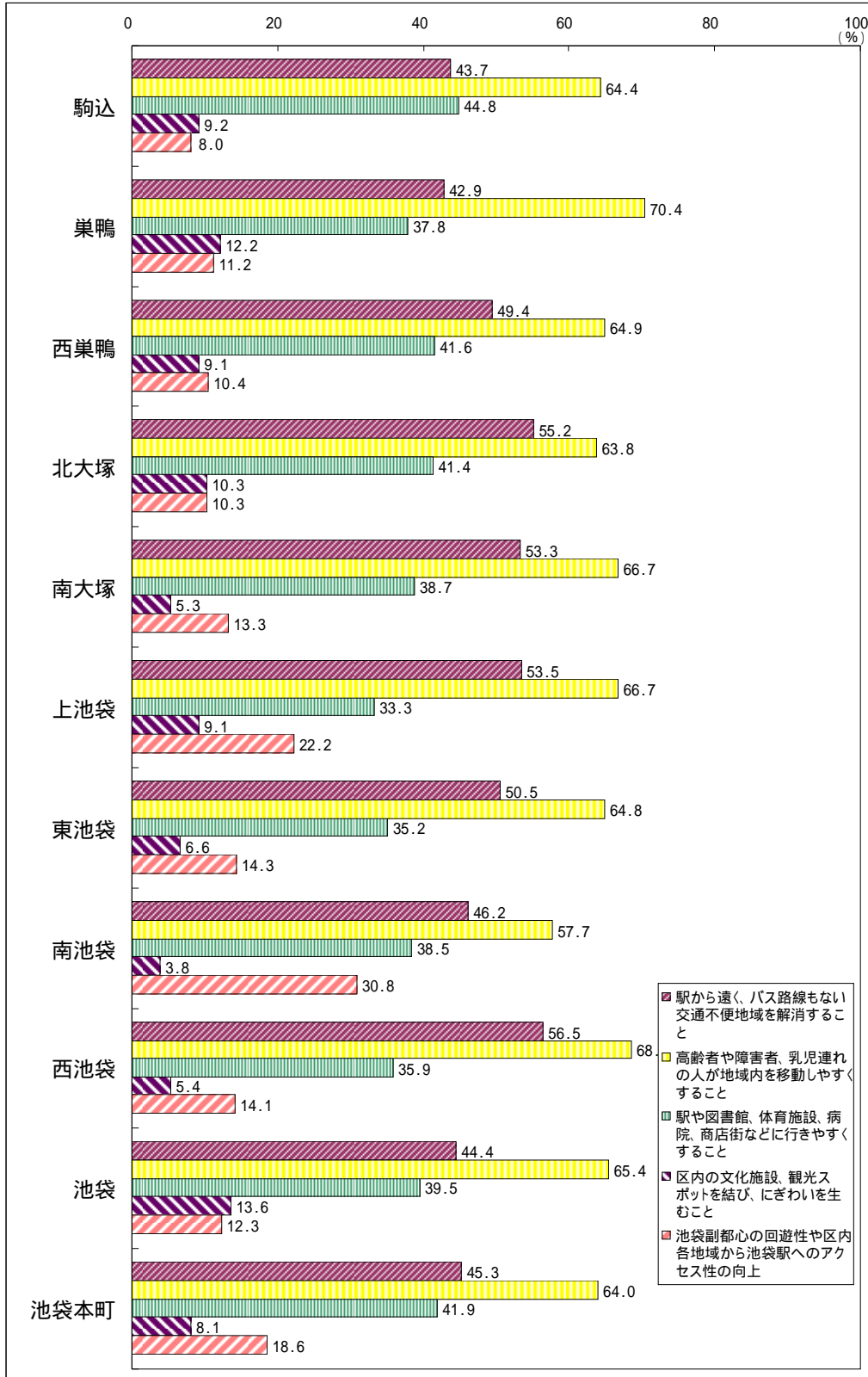
- 「高齢者や障害者、乳児連れの人が地域内と移動しやすくすること」は、全ての年齢層で高くなっている。

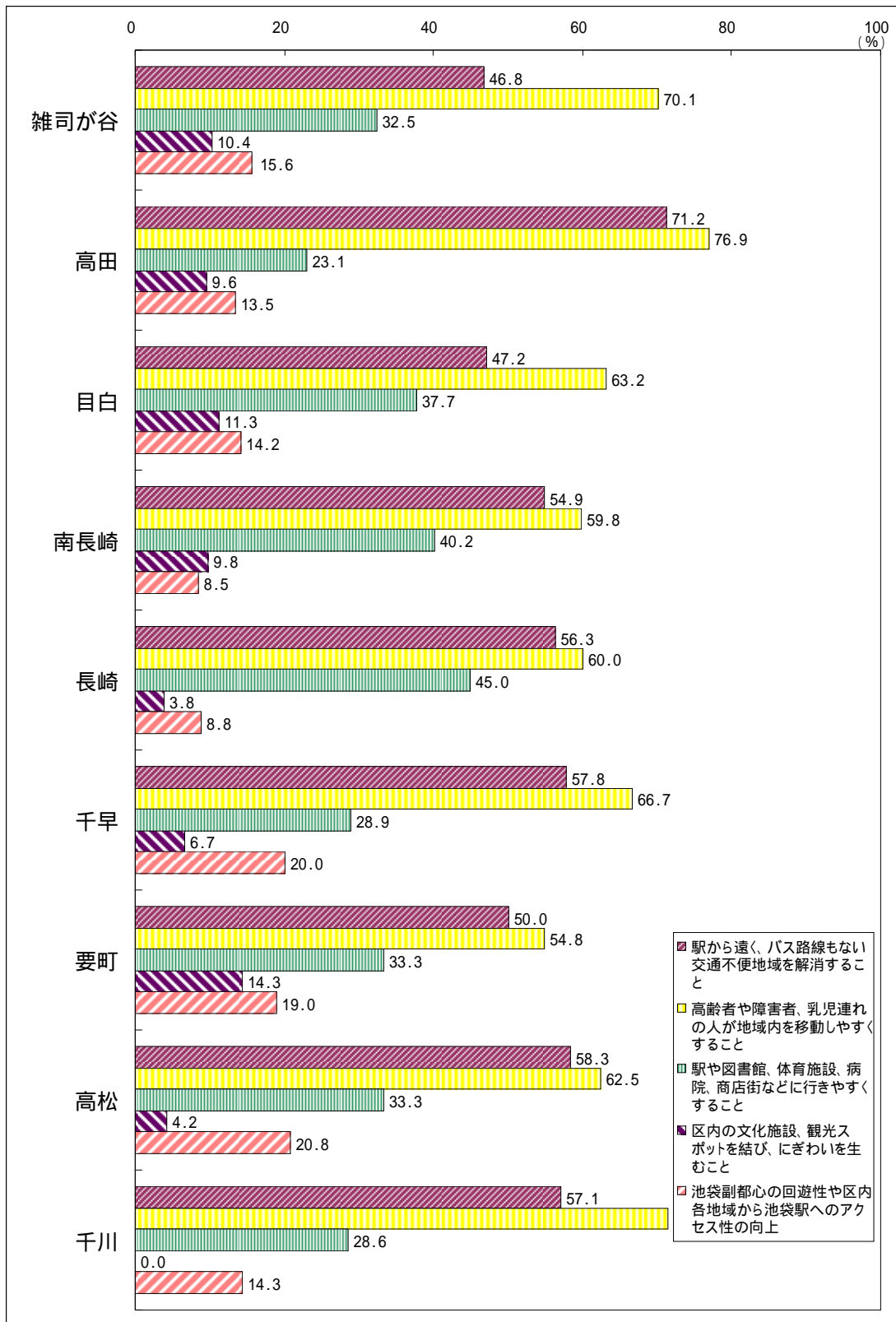




【町名別】

- 全ての地域で「高齢者や障害者、乳児連れの人が地域内と移動しやすくすること」が最も高くなっている。
- 「駅から遠く、バス路線もない交通不便地域を解消すること」については、高田(71.2%)、長崎(56.3%)、千早(57.8%)、高松(58.3%)、千川(57.1%)が、他の地域と比較して、高くなっている。





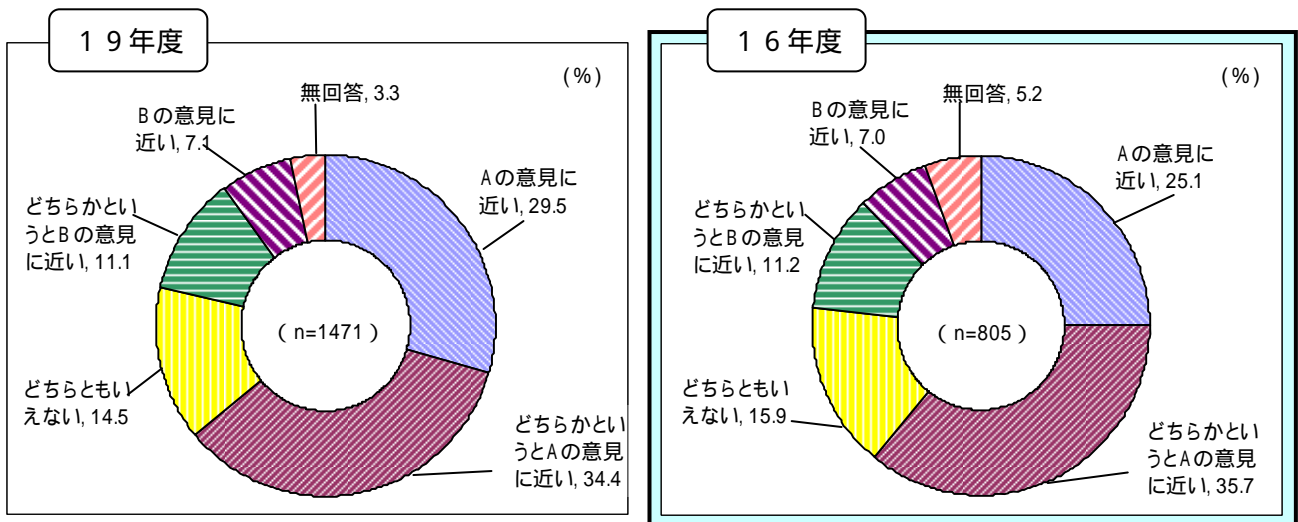
## 4 これからの行政のありかた〔問9〕

### 行政と民間の役割分担

これからの行政と民間の役割分担について、次のAとBのどちらかの意見に近いかを聞いた。

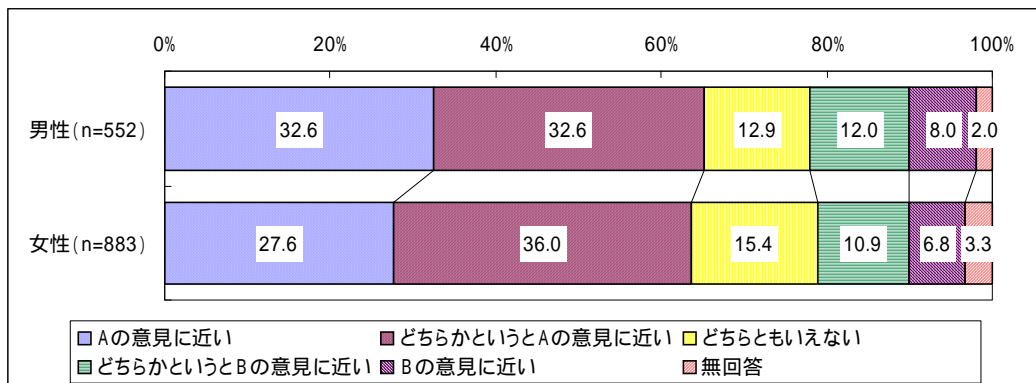
A	B
民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければできないことに集中すべきだ	民間にサービスの提供を任せることには不安があるので、これまでどおり行政が担っていくべきだ

- 「どちらかというともAの意見に近い」(34.4%)、「Aの意見に近い」(29.5%)と合わせると6割を超えている(63.9%)
- これに対して「どちらかというともBの意見に近い」(11.1%)と「Bの意見に近い」(7.1%)を合わせると約2割をとっている(18.2%)
- 平成16年度調査と比較すると、全体の傾向は変わっていない。



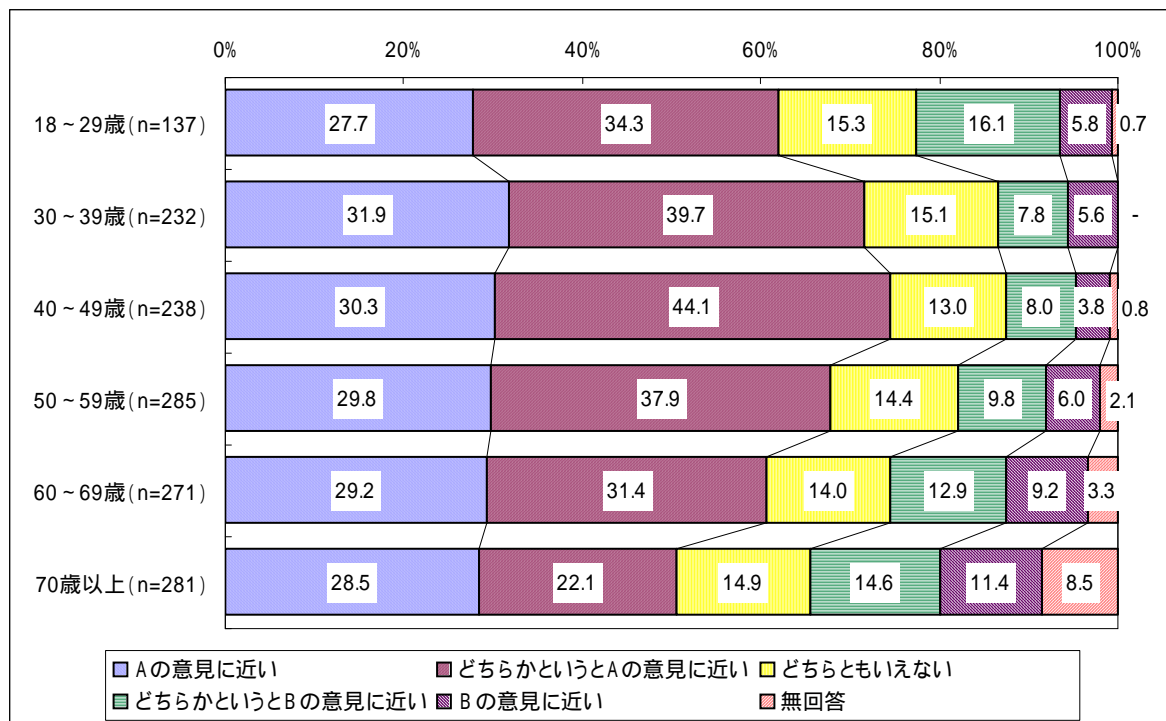
### 【性別】

- 「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」を併せると、男性の方が、「(A)民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければできないことに集中すべきだ」と回答した割合が高くなっている。



【年齢別】

- 「30歳代」と「40歳代」で「(A)民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければできないことに集中すべきだ」が高い。
- 「(B)民間にサービスを任せることは不安があるので、これまでどおり行政が担っていくべきだ」は、高齢者ほど高くなる傾向にある。

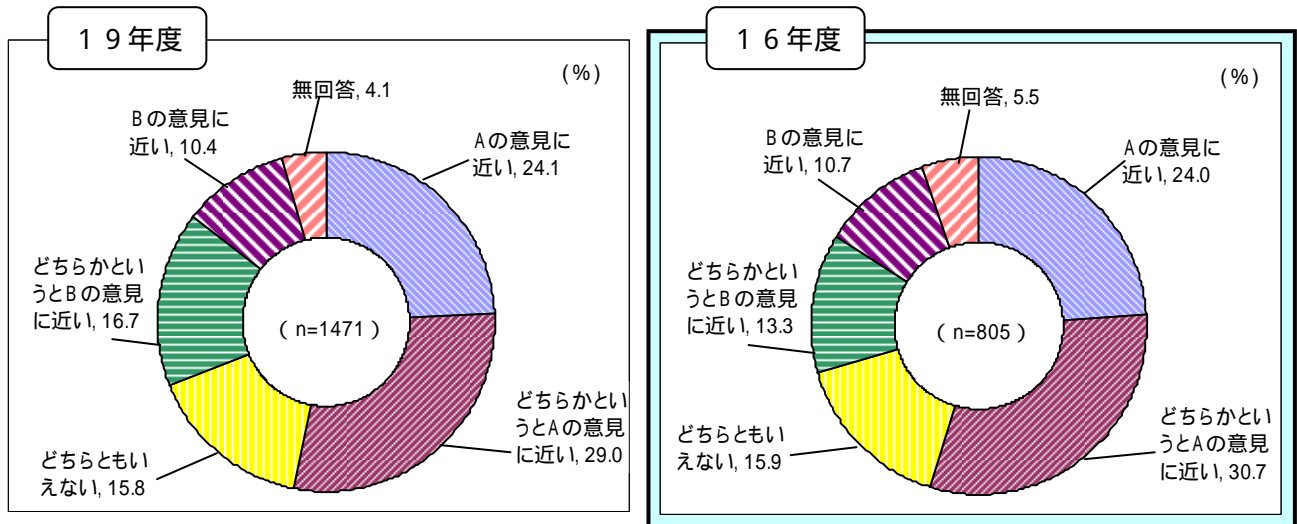


## 行政サービスのあり方

これからの行政サービスのあり方について、次のAとBのどちらかの意見に近いかを聞いた。

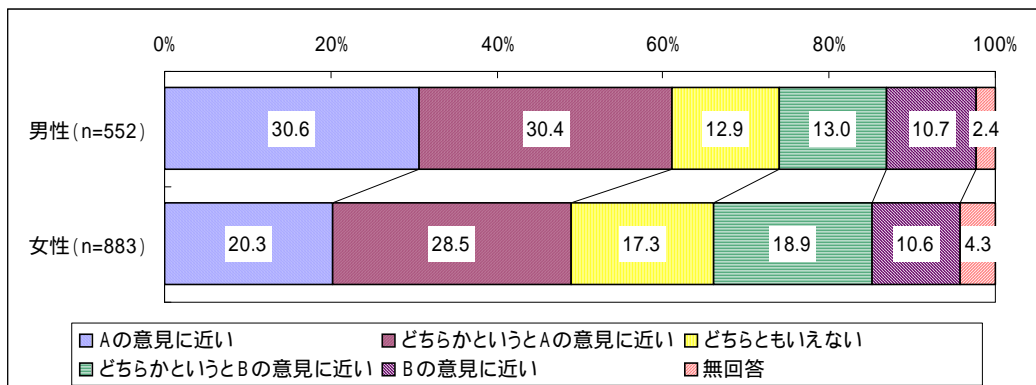
A	B
財源が限られる中では、行政はあれもこれもではなく、重点を定め、メリハリをつけてサービスを行うべきだ	行政は、区民のニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ

- 「どちらかというともAの意見に近い」(29.0%)、「Aの意見に近い」(24.1%)と合わせると過半数となっている(53.1%)
- これに対して「どちらかというともBの意見に近い」(16.7%)と「Bの意見に近い」(10.4%)を合わせると約3割となっている(27.1%)
- 平成16年度調査と比較すると、全体の傾向は変わっていない。



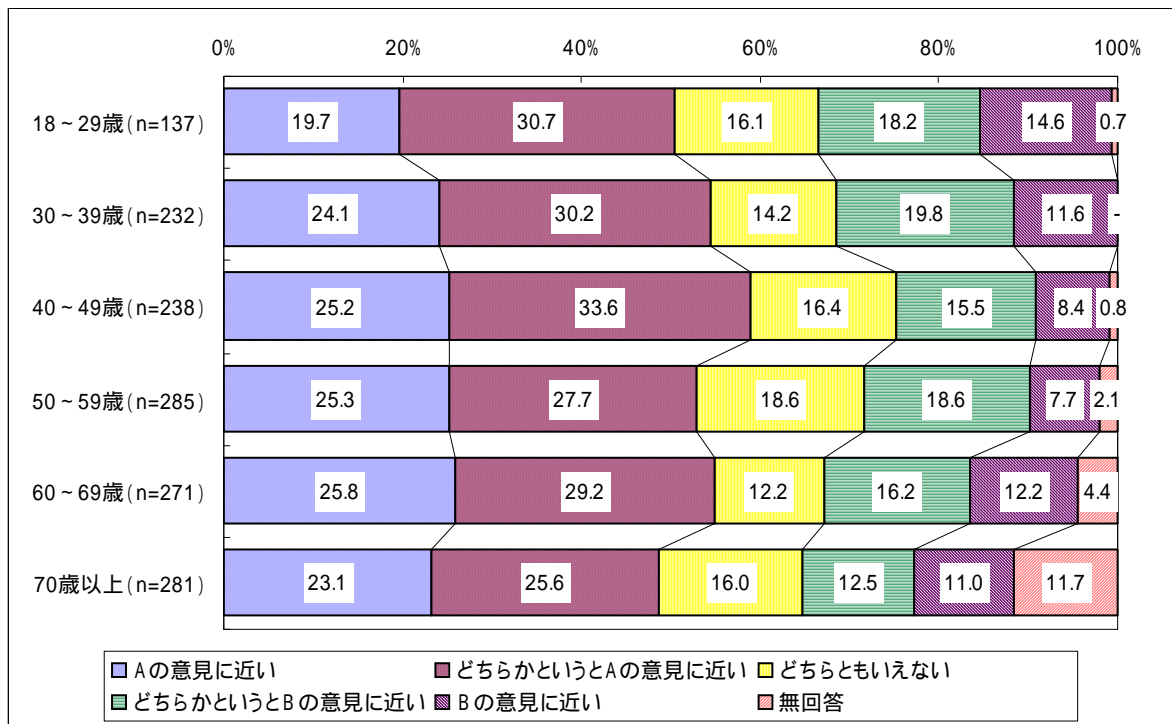
### 【性別】

- 男性の方が、「Aの意見に近い」、「どちらかというともAの意見に近い」ともに高くなっており、「(A)重点を定め、メリハリをつけてサービスを行うべきだ」の考えが強い。
- 女性は、「Bの意見に近い」、「どちらかというともBの意見に近い」を併せた割合が男性より高くなっており、「(B)広く網羅的にサービスを行うべきだ」の回答が高くなっている。



【年齢別】

- 「( A ) 重点を定め、メリハリをつけてサービスを行うべきだ」は、「40 歳代」で高い。
- 「( B ) 広く網羅的にサービスを行うべきだ」は、「20 歳代まで」と「30 歳代」でやや高い。

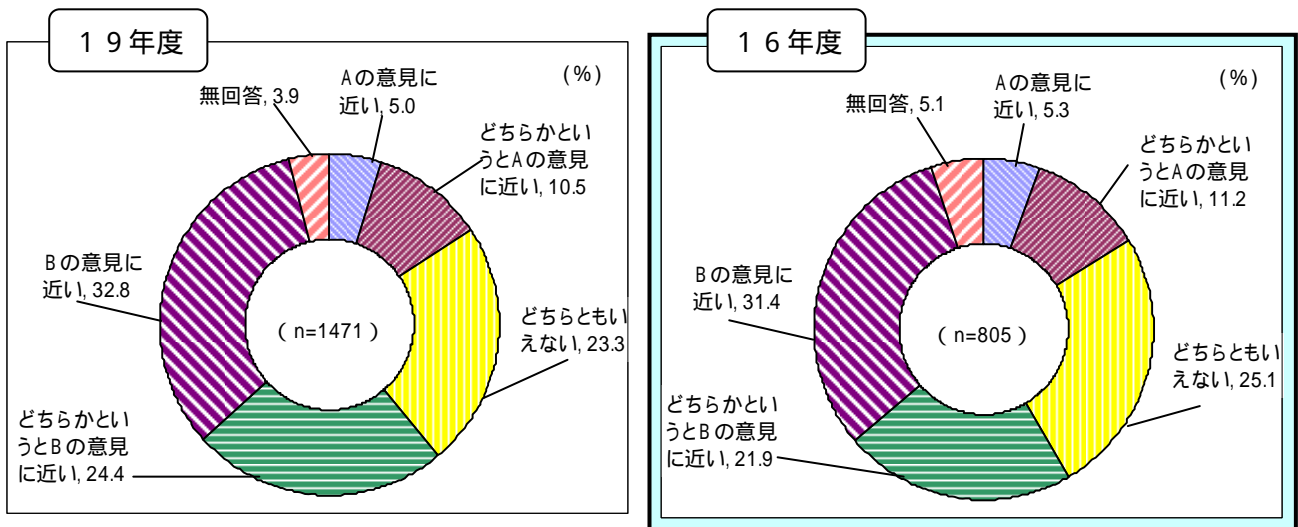


## 行政サービスと負担の関係

これからの行政サービスと負担の関係について、次のAとBのどちらかの意見に近いかを聞いた。

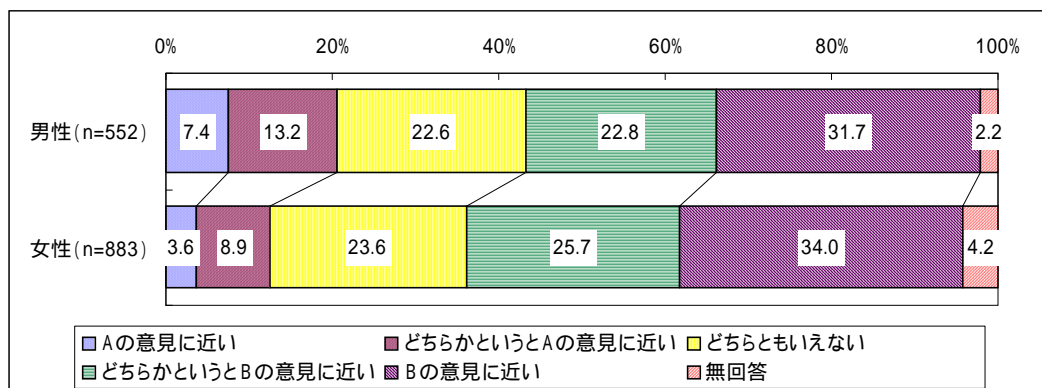
A	B
行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたがない	行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ

- 最も高いのは「Bの意見に近い」(32.8%)で、「どちらかというともBの意見に近い」(24.4%)と合わせると6割近くとなる(57.2%)
- これに対して「Aの意見に近い」(5.0%)と「どちらかというともAの意見に近い」(10.5%)を合わせても1割強である(15.5%)
- なお、「どちらともいえない」(23.3%)も高い傾向がみえる。
- 平成16年度調査と比較すると、全体の傾向は変わっていない。



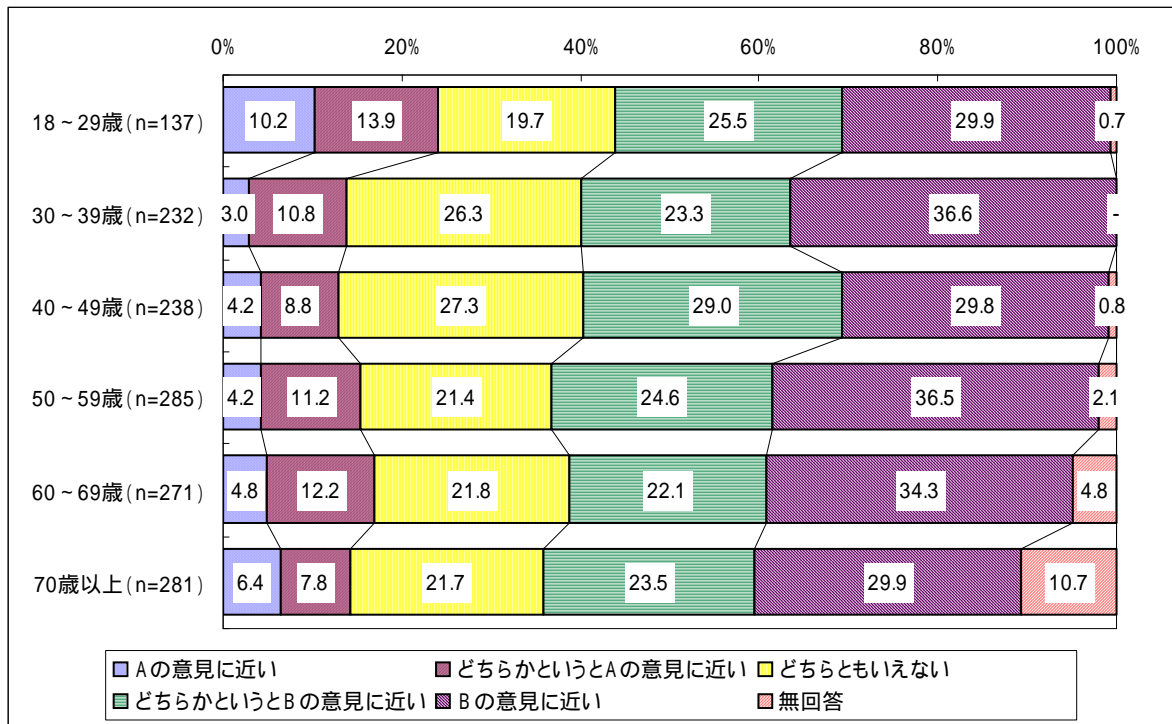
### 【性別】

- 男性の方が、「Aの意見に近い」、「どちらかというともAの意見に近い」ともに高くなっており、「(A) 行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたがない」の考えが強い。
- 女性は、「Bの意見に近い」、「どちらかというともBの意見に近い」を併せた割合が男性より高くなっており、「(B) 行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ」の回答が高くなっている。



【年齢別】

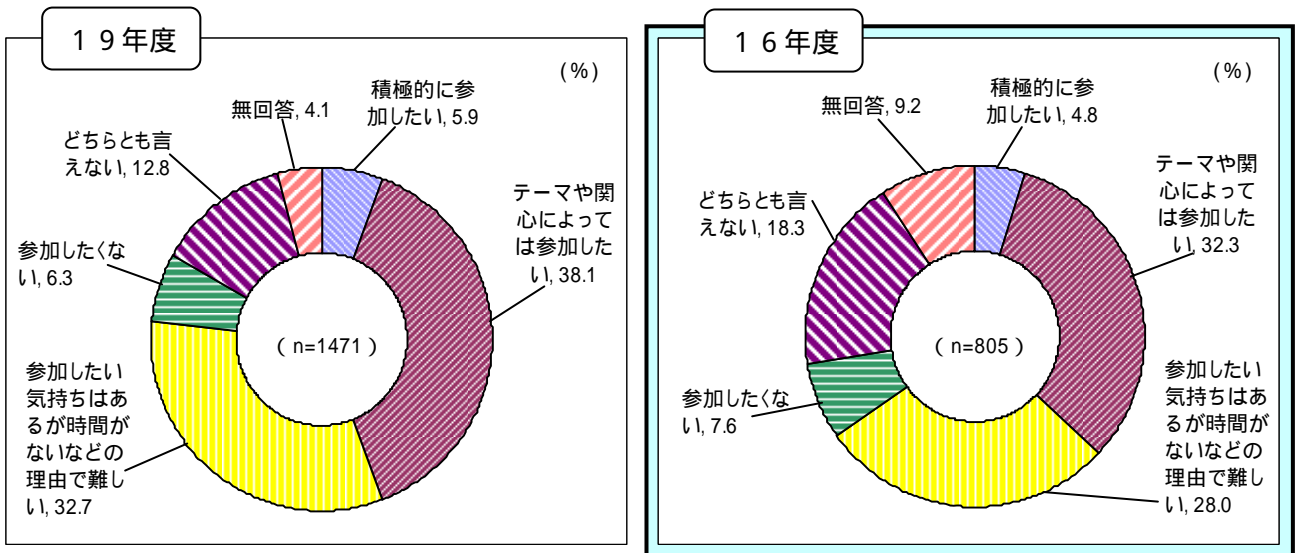
- 各年代とも「( B ) 行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ」が高いことは共通であるが、「20 歳代まで」で「( A ) 行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもしかたがない」の意向がやや高い。





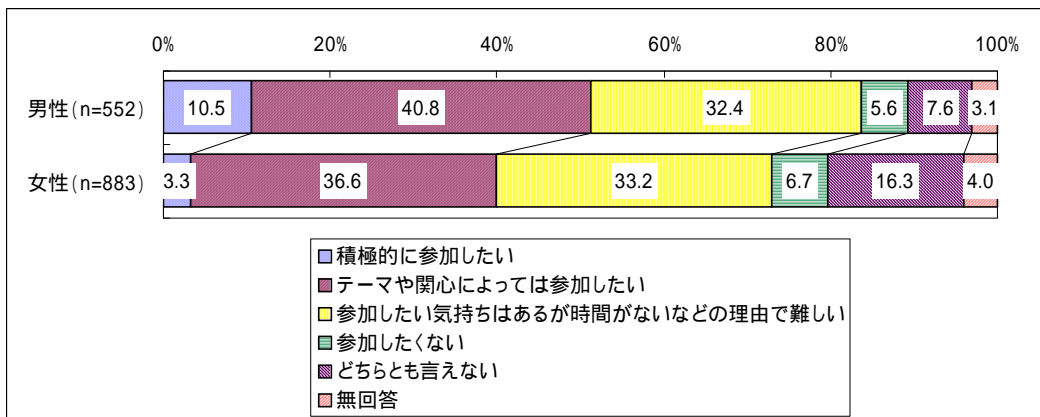
## 5 - 区政に意見を反映させる機会への参加〔問10-1〕

- 区政に意見を反映させる機会への参加について聞いたところ、最も高いものは、「テーマや関心によって参加したい」(38.1%)であり、「参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい」(32.7%)が続いている。
- 一方で「積極的に参加したい」(5.9%)や「参加したくない」(6.3%)は1割未満である。
- 平成16年度調査と比較すると、「積極的に参加したい」が1.1ポイント、「テーマや関心によって参加したい」が5.8ポイント、それぞれ高くなっている。



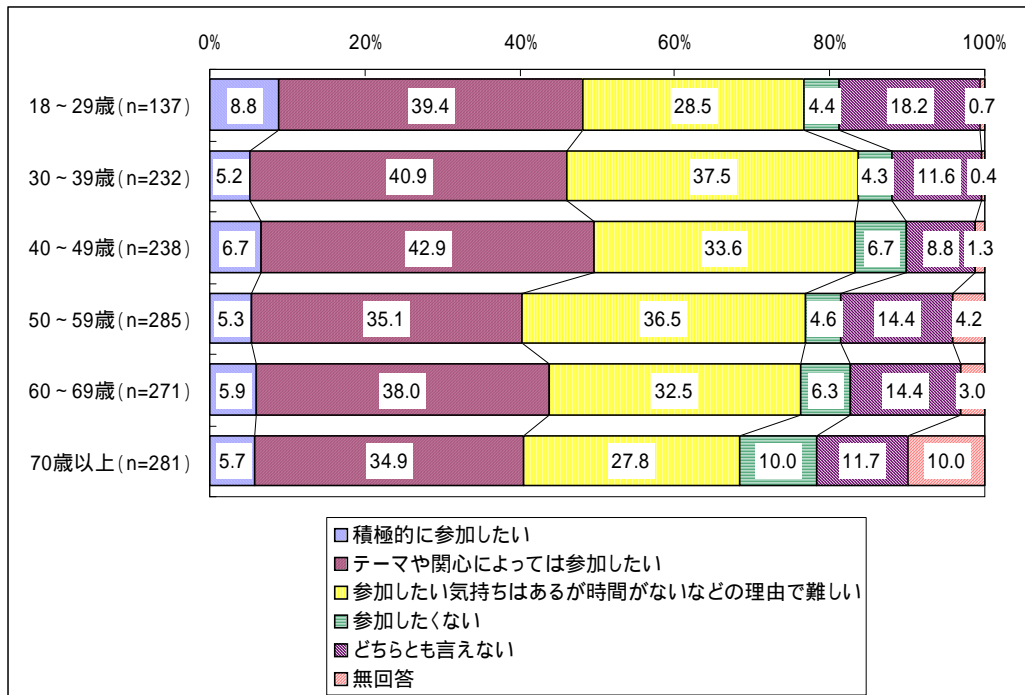
### 【性別】

- 男性の方が、「積極的に参加したい」(10.5%)、「テーマや関心によって参加したい」(40.8%)とも高くなっており、女性よりも参加意向が強い。
- 女性は、「参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい」(33.2%)、「参加したくない」(6.7%)ともに、男性より高くなっている。



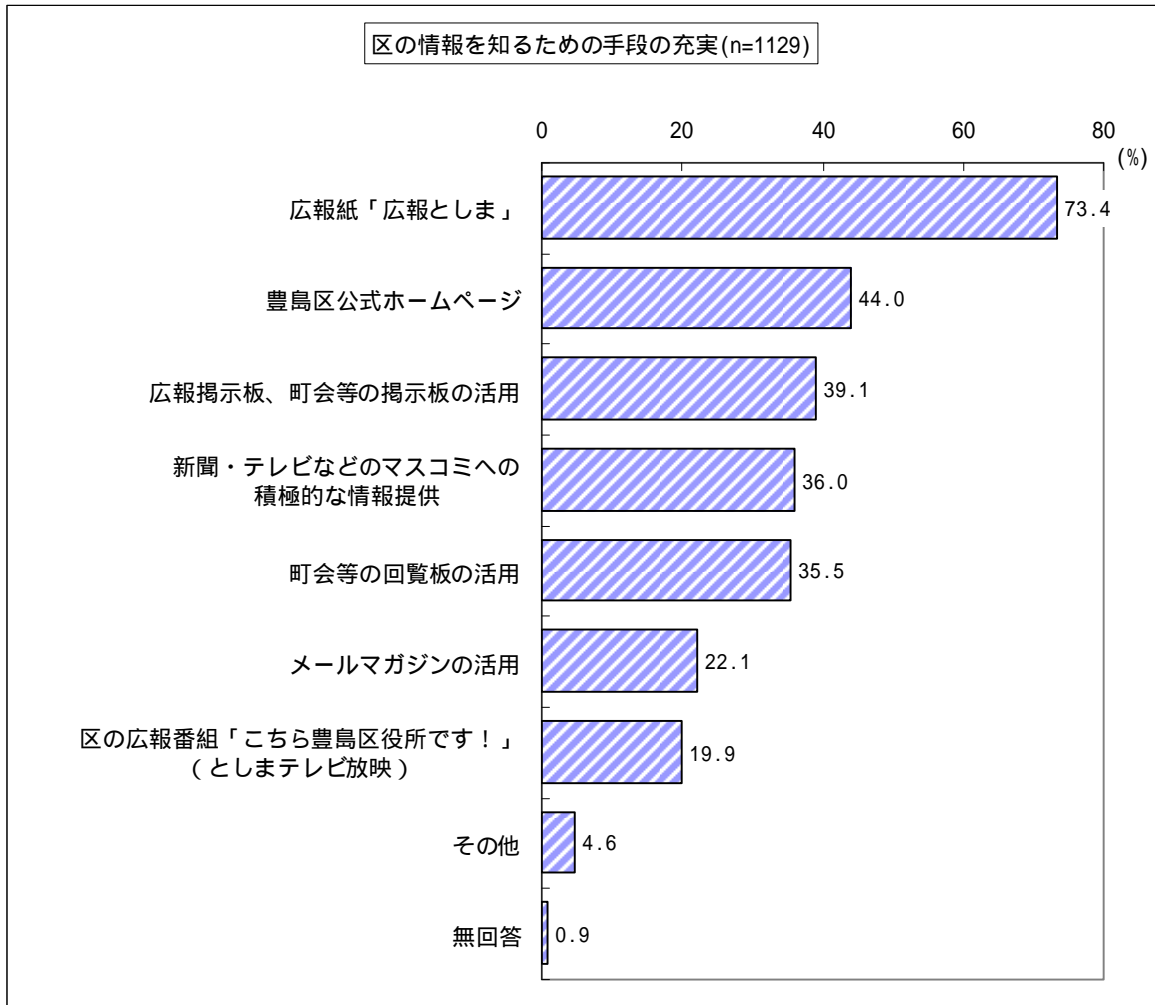
【年齢別】

- 「テーマや関心によっては参加したい」は、40歳代以下が高い割合となっている。
- 70歳以上では、「参加したくない」が10%となり、他の年齢より高くなっている。



5 - 区政への参加を広げていくために必要なこと（区の情報を知るための手段）〔問10-2〕

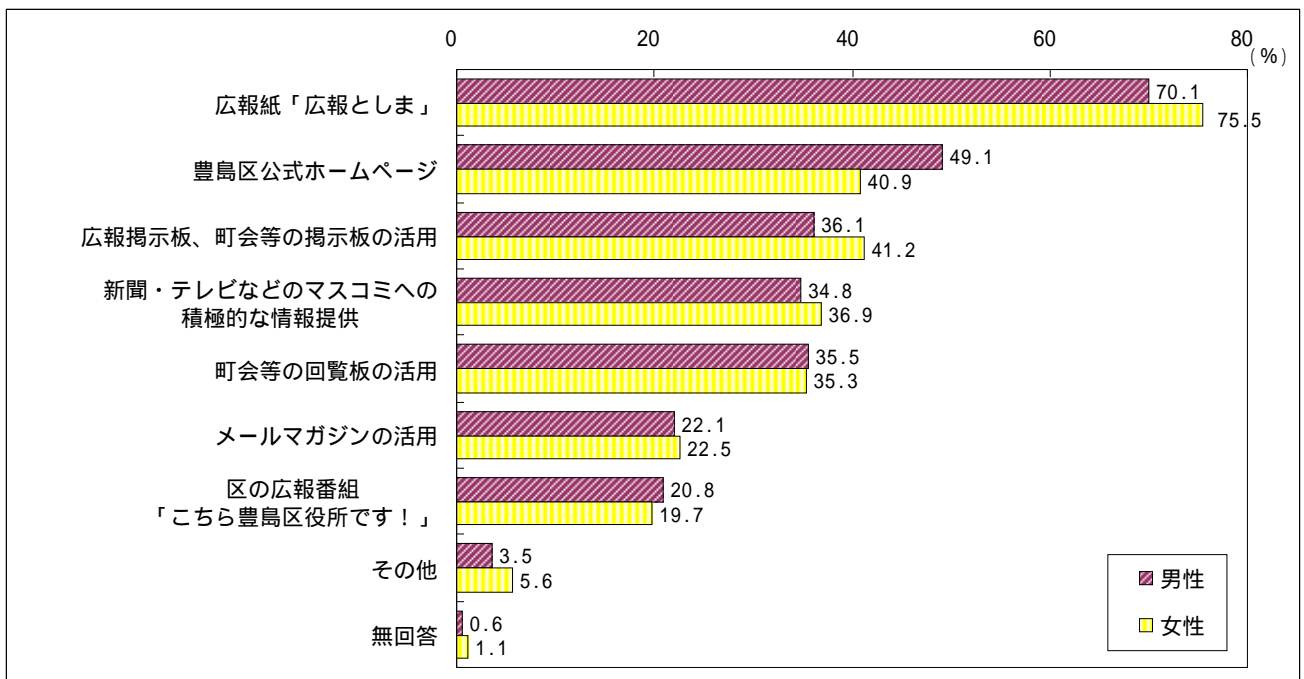
- 区の情報を知るための手段として充実すべきものについて聞いたところ、「広報紙 広報としま」(73.4%) が最も高く、「豊島区公式ホームページ」(44.0%)、「広報掲示板、町会等の掲示板の活用」(39.1%)、「マスコミへの積極的な情報提供」(36.0%)、「町会等の回覧板の活用」(35.5%)が続いている。



あてはまるものすべて選択

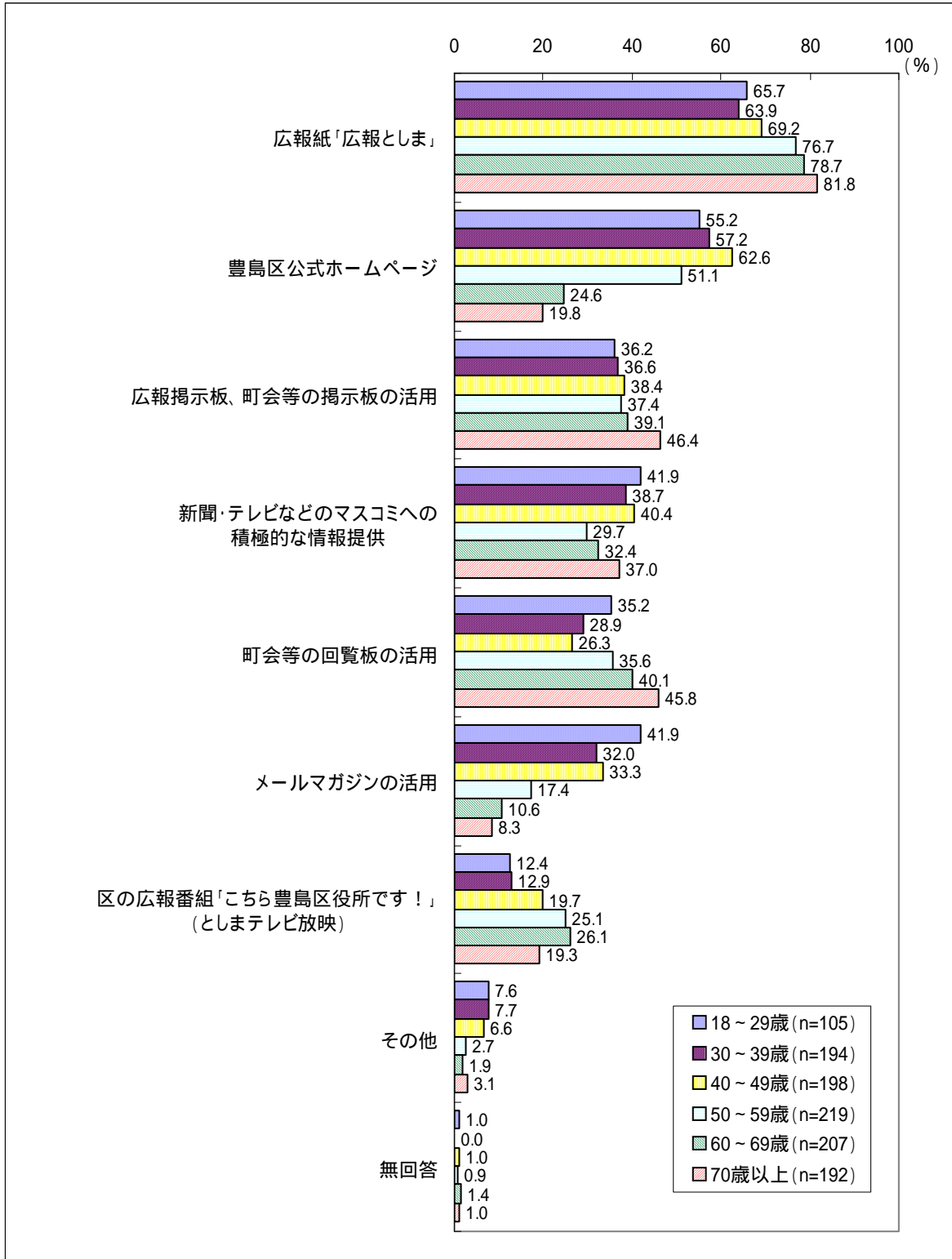
【性別】

- 男性の方が、「豊島区公式ホームページ」が高くなっている。
- 女性は、男性よりも、「広報紙「広報としま」」、「広報掲示板、町会等の掲示板の活用」が高くなっている。



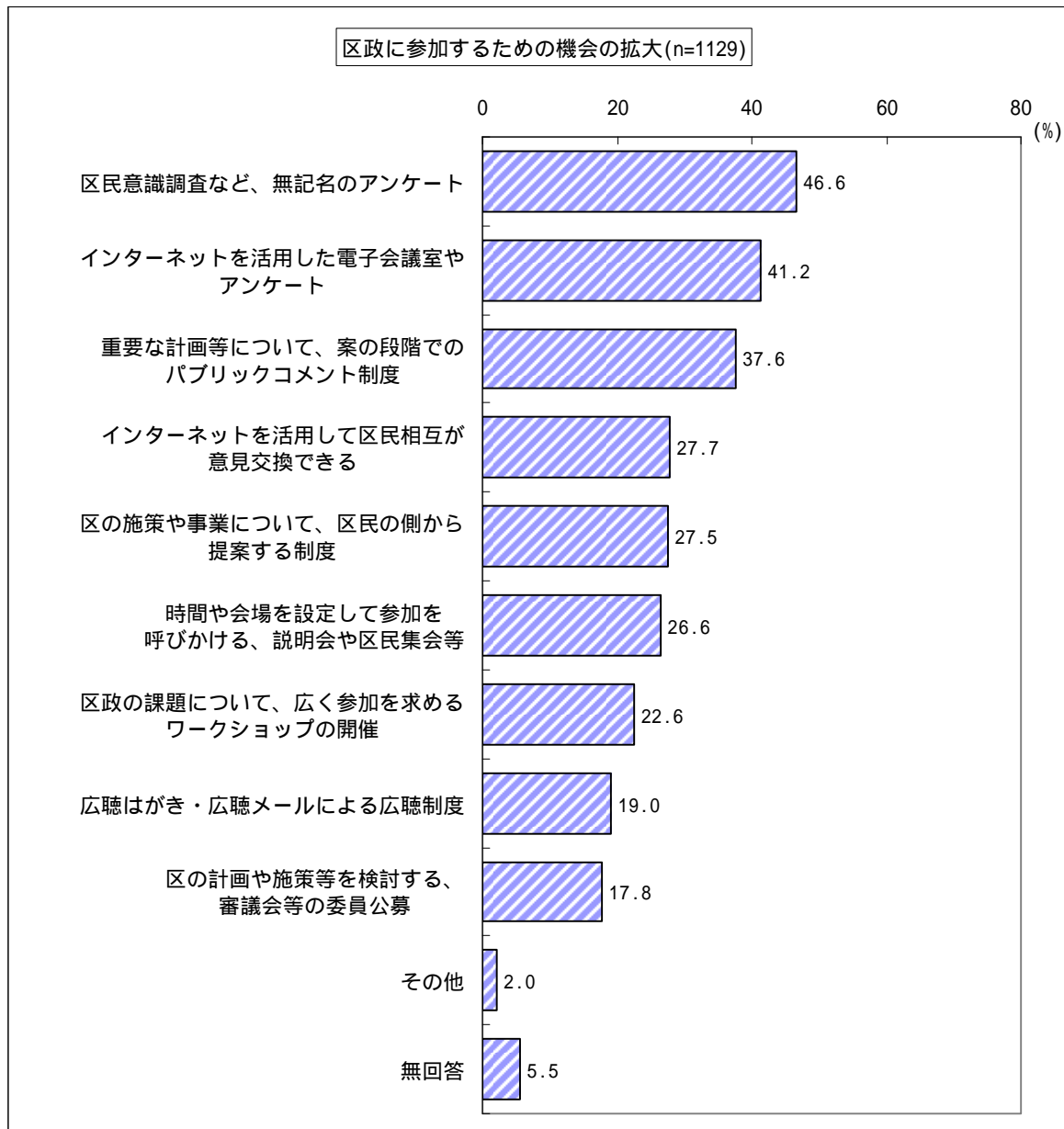
【年齢別】

- 年齢が増すほど、「広報誌 広報としま」や「町会等の回覧板の活用」が高くなる。
- 「ホームページ」、「メールマガジン」は40歳代までの年代で高い。



5 - 区政への参加を広げていくために必要なこと（区政に参加するための機会）〔問10-2〕

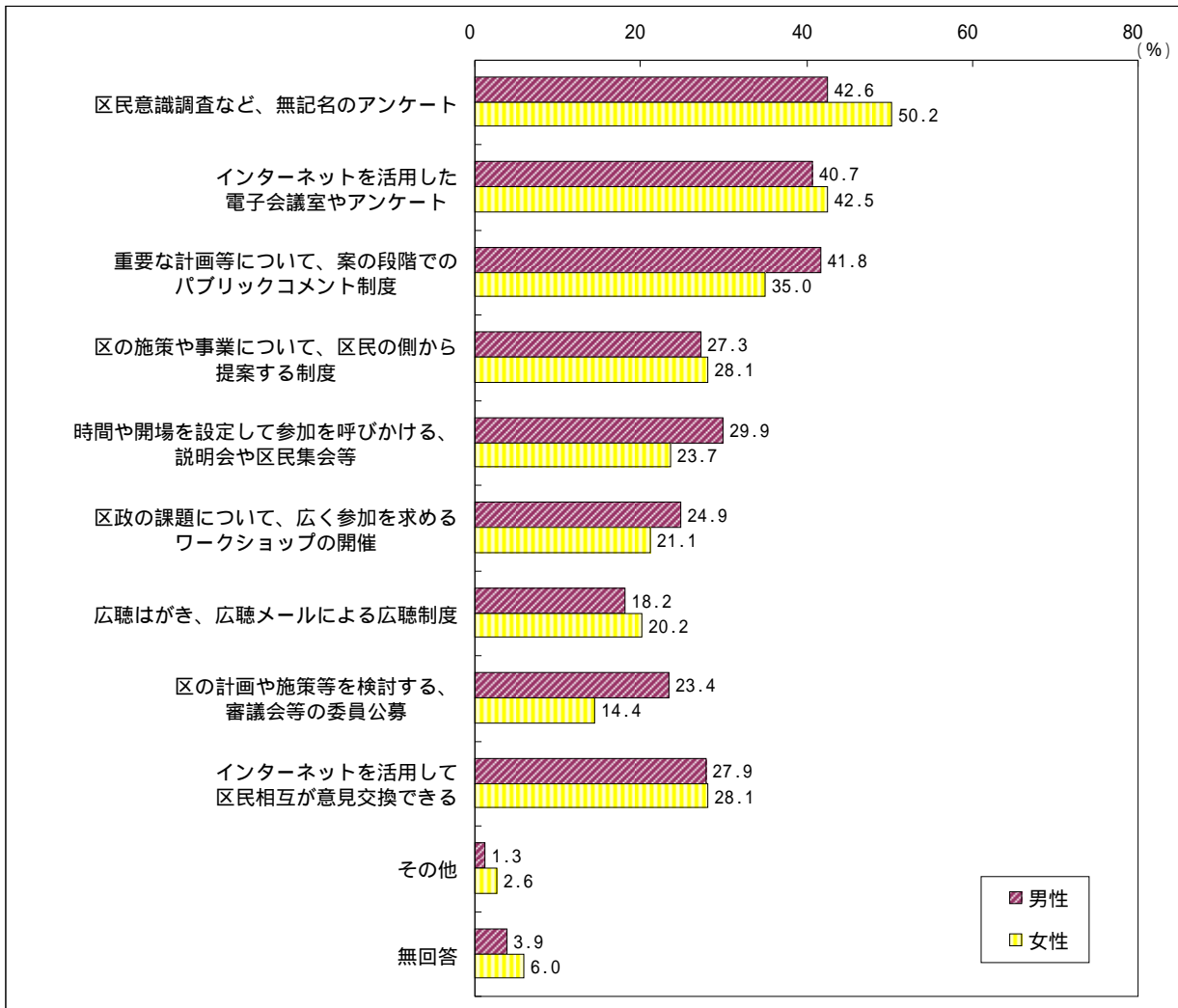
- 区政に参加するための機会の拡大のために必要なことについて聞いたところ、「区民意識調査などアンケート」(46.6%)が最も高く、「インターネット活用の電子会議室やアンケート」(41.2%)、「重要な計画等について、案の段階でのパブリックコメント制度」(37.6%)、「インターネットを活用して区民相互が意見交換できる」(27.7%)、「区の施策や事業について、区民の側から提案する制度」(27.5%)、「時間や会場を設定して参加を呼びかける、説明会や区民集会等」(26.6%)が続いている。



あてはまるものすべて選択

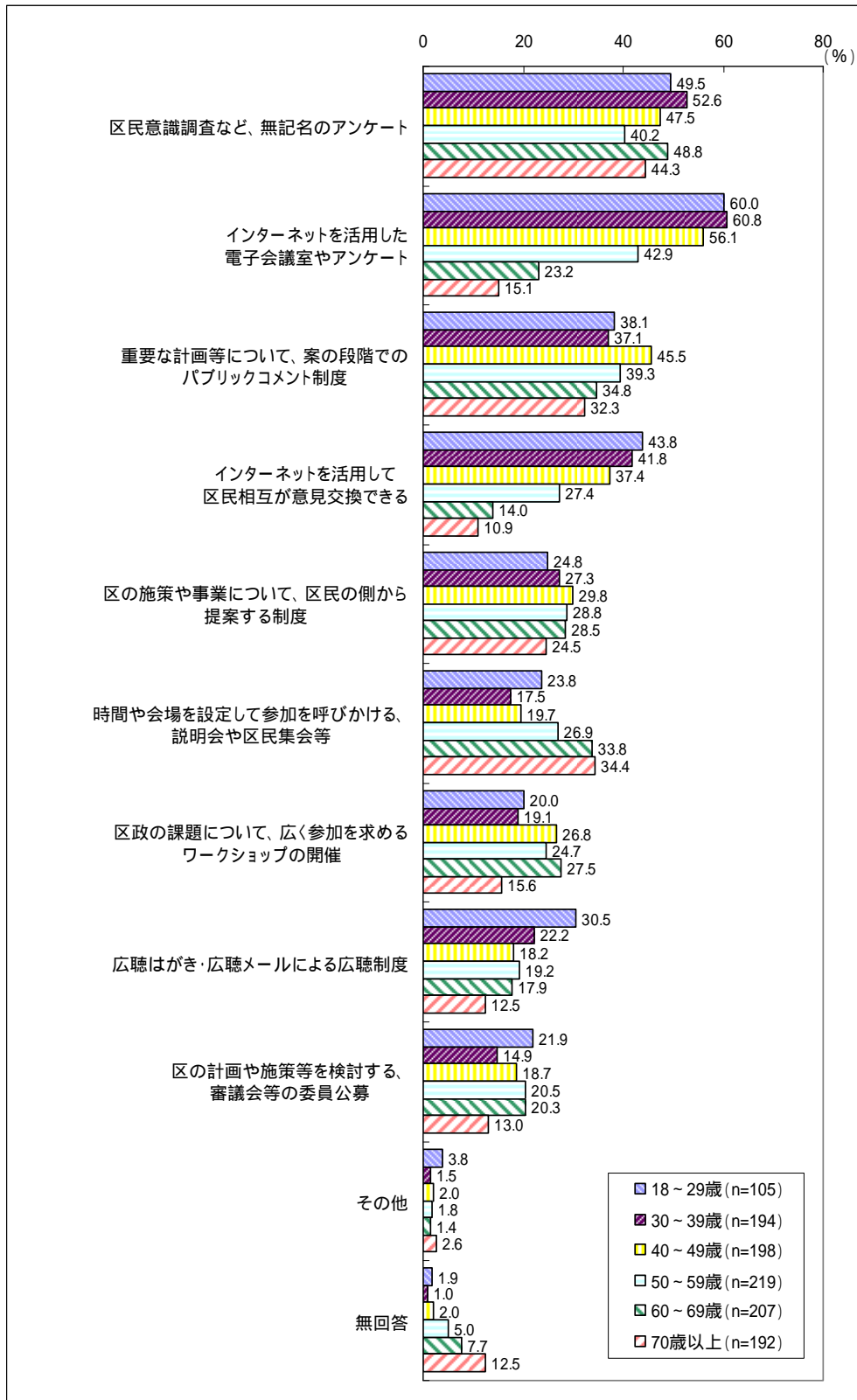
【性別】

- 男性の方が、「重要な計画等について、案の段階でのパブリックコメント制度」、「区の計画や施策等を検討する審議会等の委員公募」を回答する割合が高い。
- 一方、女性は、男性と比べて、「区民意識調査など、無記名のアンケート」が高い。



【年齢別】

- 「インターネットを活用した電子会議室やアンケート」「インターネットを活用して区民相互が意見交換できる」は、年代が低いほど高く、「時間や会場を設定して参加を呼びかける説明会や区民集会等」は年齢が高くなるほど高くなる傾向が見られる。





# 第4章

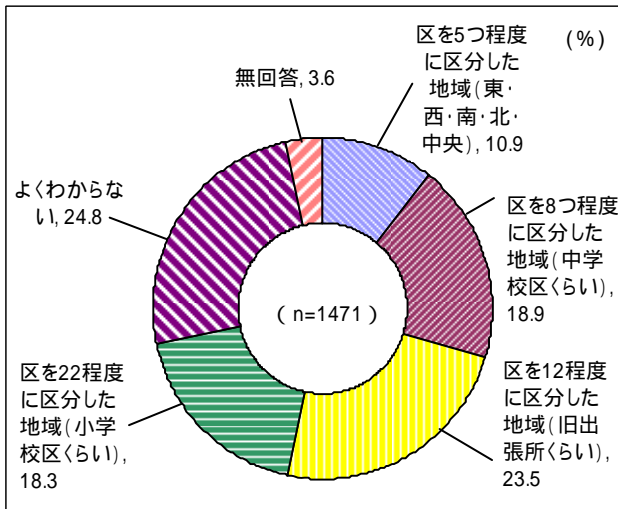
地域における  
コミュニティや協働について



## 第4章 地域におけるコミュニティや協働について

### 1 地域協議会の設置単位〔問11〕

- 地域協議会を設置する場合の地域単位について聞いたところ、4種類の地域区分では、「区を12程度に区分した地域（旧出張所くらい）」（23.5%）が最も高く、「区を8つ程度の地域（中学校区くらい）」（18.9%）と「区を22程度の地域（小学校区くらい）」（18.3%）がほぼ同じ割合で続いている。



#### 【問11の設問】

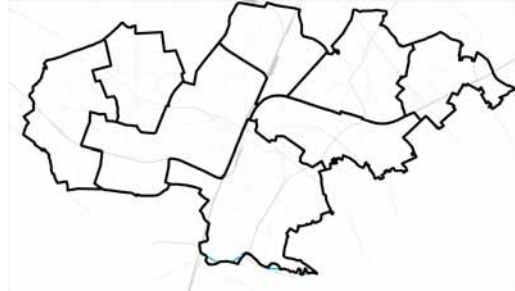
豊島区では、地域の多様な地域団体や区民が参加し、身近な地域の課題について話し合い、区にまちづくりの提案をしていく場として、「地域協議会」の設置を検討しています。

そのような協議会を地域ごとに設置する場合に、どの程度の地域単位に設置するのが望ましいと思いますか。

1. 区を5つ程度に区分した地域  
(東、西、南、北、中央)



2. 区を8つ程度に区分した地域  
(中学校区くらい)



3. 区を12程度に区分した地域  
(旧出張所くらい)

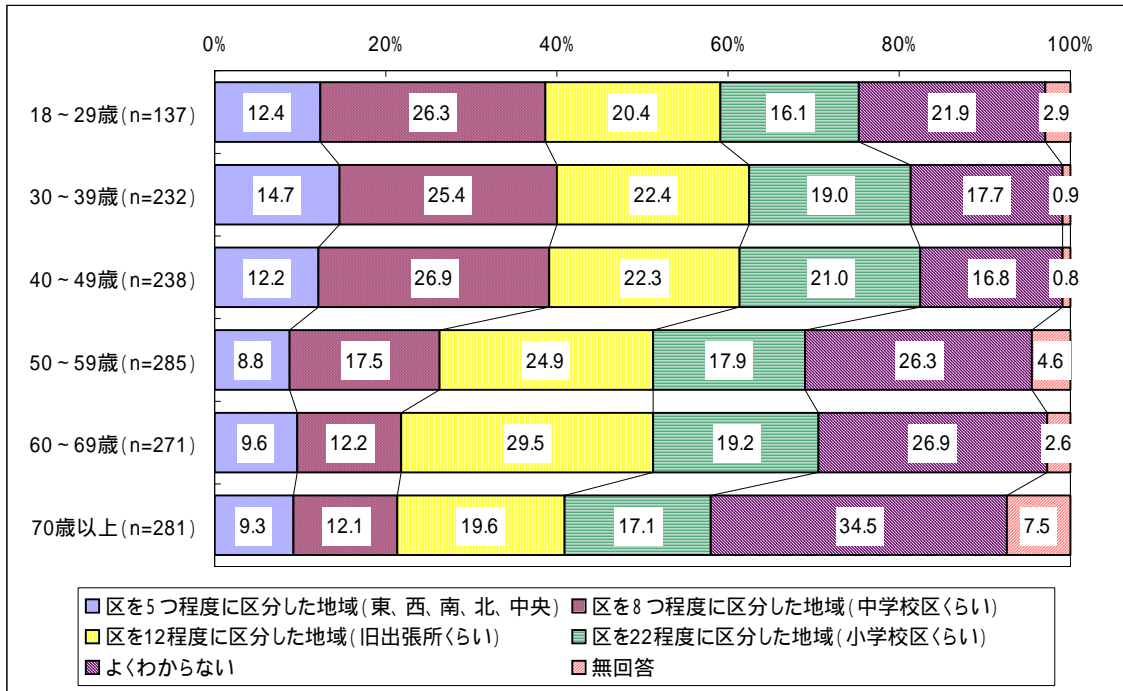


4. 区を22程度に区分した地域  
(小学校区くらい)



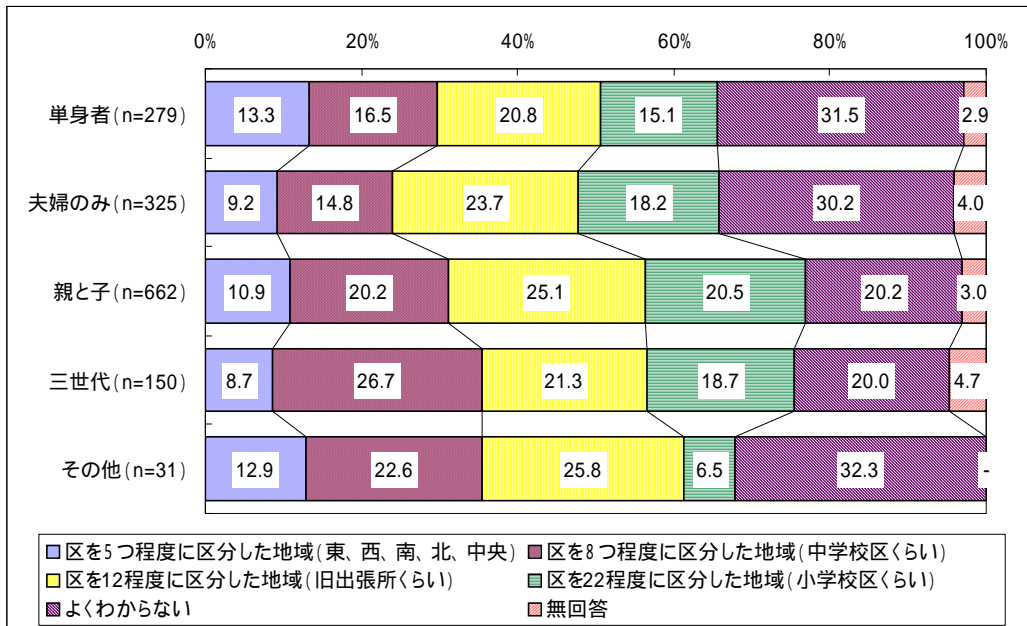
【年齢別】

- 「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では、「区を8つ程度に区分した地域（中学校区くらい）」が高い。
- 「50～59歳」、「60～69歳」、「70歳以上」では、「よくわからない」が高くなる傾向がある。



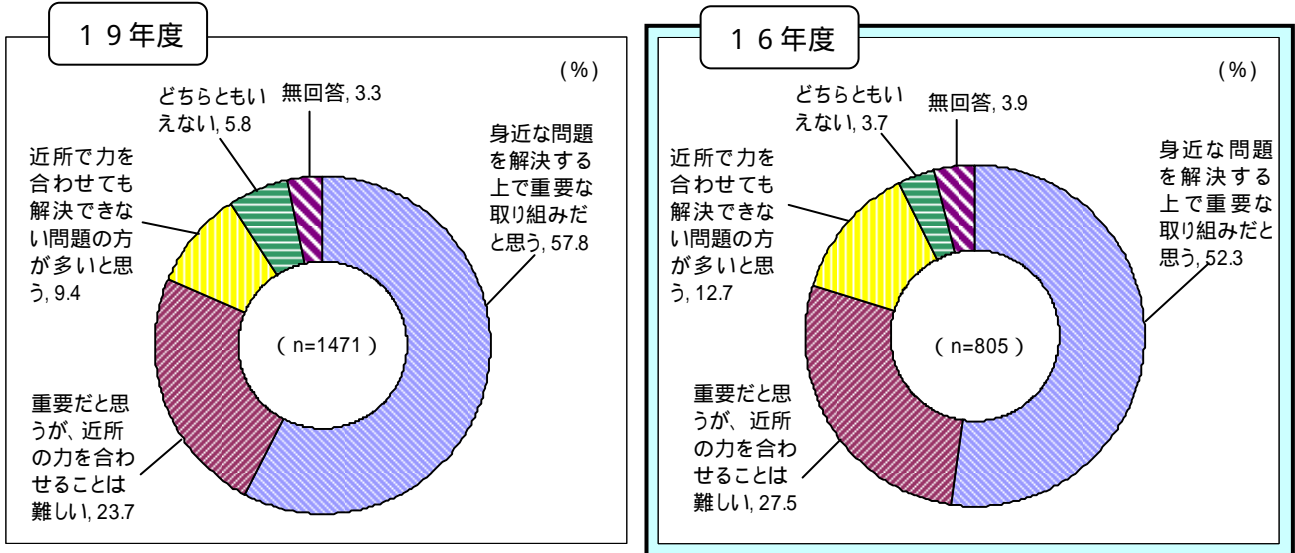
【世帯構成別】

- 「三世代」では、「区を8つ程度に区分した地域（中学校区くらい）」が高い。
- 「区を12程度に区分した地域（旧出張所くらい）」は、全ての世帯構成で2割を超えており、「親と子」が最も高い。



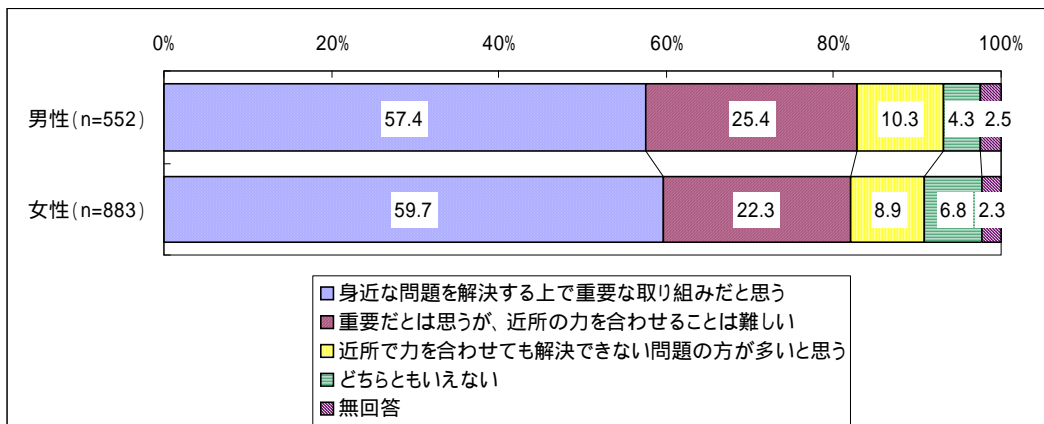
## 2 地域の課題解決への取り組みについて〔問12〕

- 防犯パトロールや子どもたちの安全見守り活動など、近隣住民が（ご近所）が自主的に力を合わせて、地域の課題の解決に取り組む考え方について聞いたところ、「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」（57.8%）が最も高い。
- 平成16年度と比較すると、「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」が5.1ポイント高くなっている。



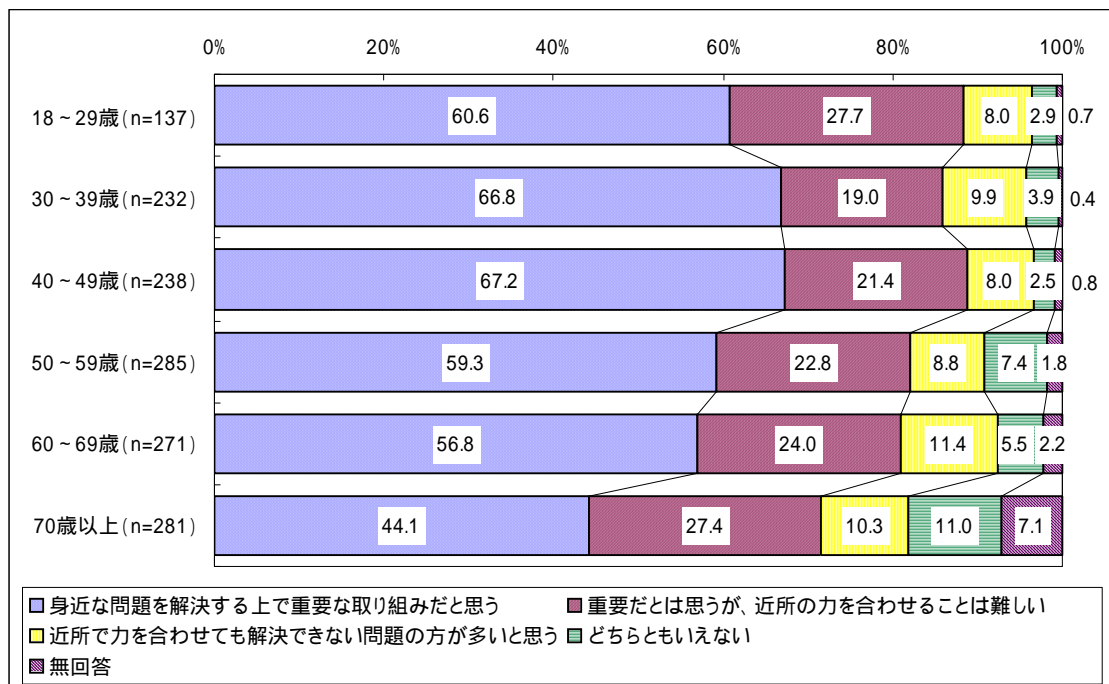
### 【性別】

- 男性の方が、「重要だと思いが、近所の力を合わせることは難しい」、「近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う」が高く、地域の問題解決に近隣住民（ご近所）が力を合わせて取り組むことに否定的な傾向にある。
- 女性は、「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」が男性より高く、地域が力を合わせて取り組むことに前向きである。



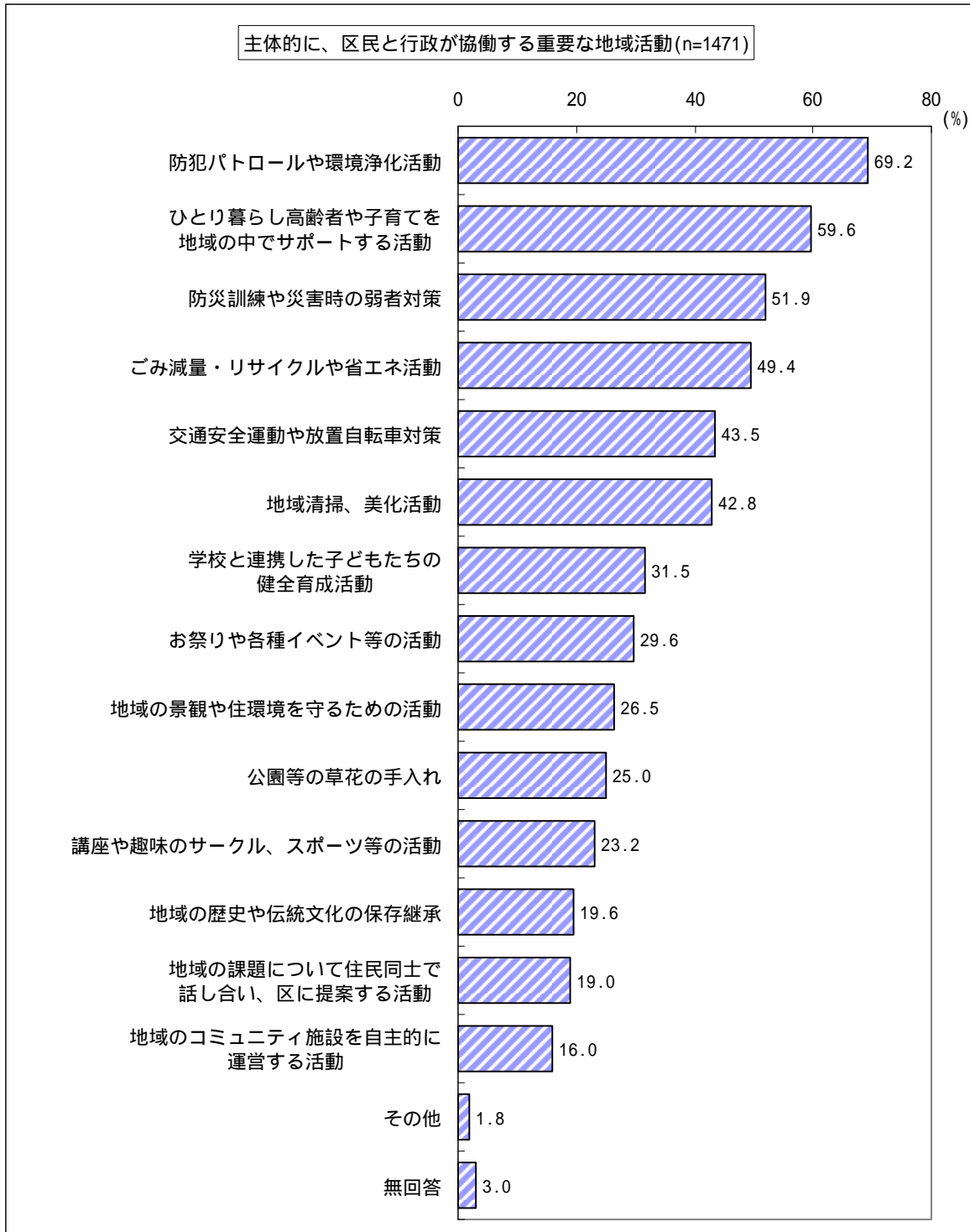
【年齢別】

- 「30 歳代」と「40 歳代」で「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」が高い。



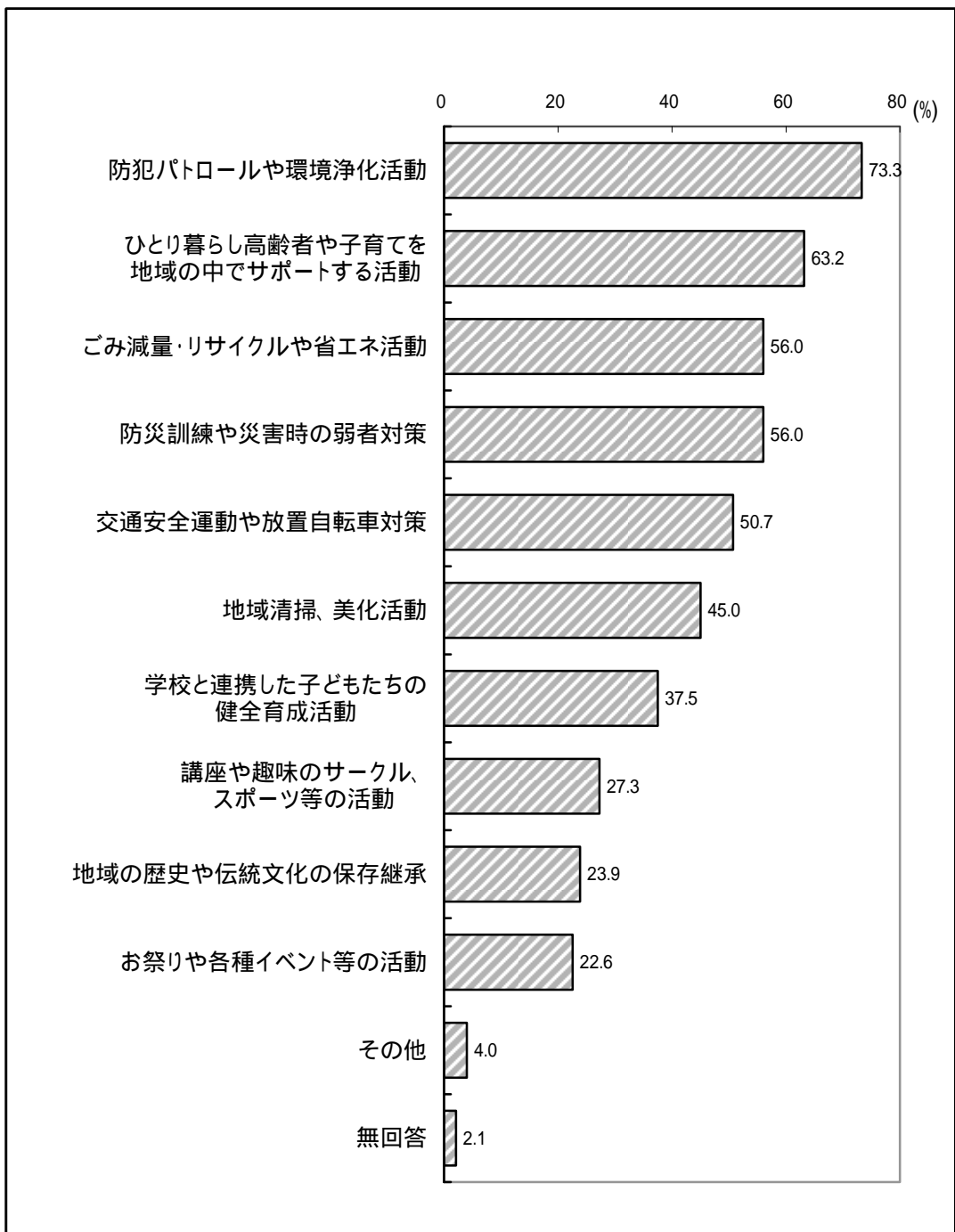
### 3 区民と行政とが協働する地域活動で重要と思うもの〔問13〕

- 近隣住民による主体的な地域活動や区民と行政とが協働する地域活動のなかでどのような活動が重要かについて聞いたところ、「防犯パトロールや環境浄化活動」(69.2%)が焼く7割で最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」(59.6%)が約6割、「防止訓練や災害時の弱者対策」(51.9%)と「ごみ減量・リサイクルや省エネ活動」(49.4%)が約5割となっている。
- 上位の2つについては、平成16年度調査と同様の結果である。



あてはまるものすべて選択

【平成 16 年度調査結果】



あてはまるものすべて選択



## 【年齢別】

- 年齢別でみると区全体と比べて特に高い割合は、次の項目である。
  - \* 18～29歳：「ごみ減量・リサイクルや省エネ活動」「お祭りや各種イベント等の活動」  
「講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動」  
「地域のコミュニティ施設を自主的に運営する活動」
  - \* 30～39歳：「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」  
「地域清掃、美化活動」「お祭りや各種イベント等の活動」  
「公園等の草花の手入れ」
  - \* 40～49歳：「防災訓練や災害時の弱者対策」
  - \* 50～59歳：「地域の課題について住民同士で話し合い、区に提案する活動」
  - \* 60～69歳：「ごみ減量・リサイクルや省エネ活動」  
「地域の課題について住民同士で話し合い、区に提案する活動」
  - \* 70歳以上：「交通安全対策や放置自転車対策」

選択肢	年齢							
	区全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
防犯パトロールや環境浄化活動	69.2	72.3	71.6	72.3	71.9	67.9	64.8	
ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動	59.6	53.3	65.9	63.9	57.5	63.5	54.1	
防災訓練や災害時の弱者対策	51.9	54.7	45.7	60.5	49.1	55.4	49.8	
ごみ減量・リサイクルや省エネ活動	49.4	55.5	45.7	48.7	49.8	56.1	44.5	
交通安全運動や放置自転車対策	43.5	40.9	32.8	47.5	41.8	42.4	55.2	
地域清掃、美化活動	42.8	46.7	50.9	44.1	43.9	40.6	36.3	
学校と連携した子ども達の健全育成活動	31.5	32.1	41.8	35.3	33.3	24.4	26.7	
お祭りや各種イベント等の活動	29.6	41.6	37.9	31.5	29.1	24.7	21.7	
地域の景観や住環境を守るための活動	26.5	25.5	26.7	30.3	28.4	25.8	23.5	
公園等の草花の手入れ	25.0	29.2	30.6	21.4	25.6	21.8	25.6	
講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動	23.2	32.8	20.3	24.4	25.3	23.6	18.9	
地域の歴史や伝統文化の保存継承	19.6	19.0	19.4	17.2	21.8	20.7	20.6	
地域の課題について住民同士で話し合い、区に提案する活動	19.0	20.4	15.9	16.8	22.8	22.9	15.7	
地域のコミュニティ施設を自主的に運営する活動	16.0	22.6	12.1	16.0	17.5	16.6	14.2	
その他	1.8	1.5	2.2	0.4	2.5	1.5	1.4	

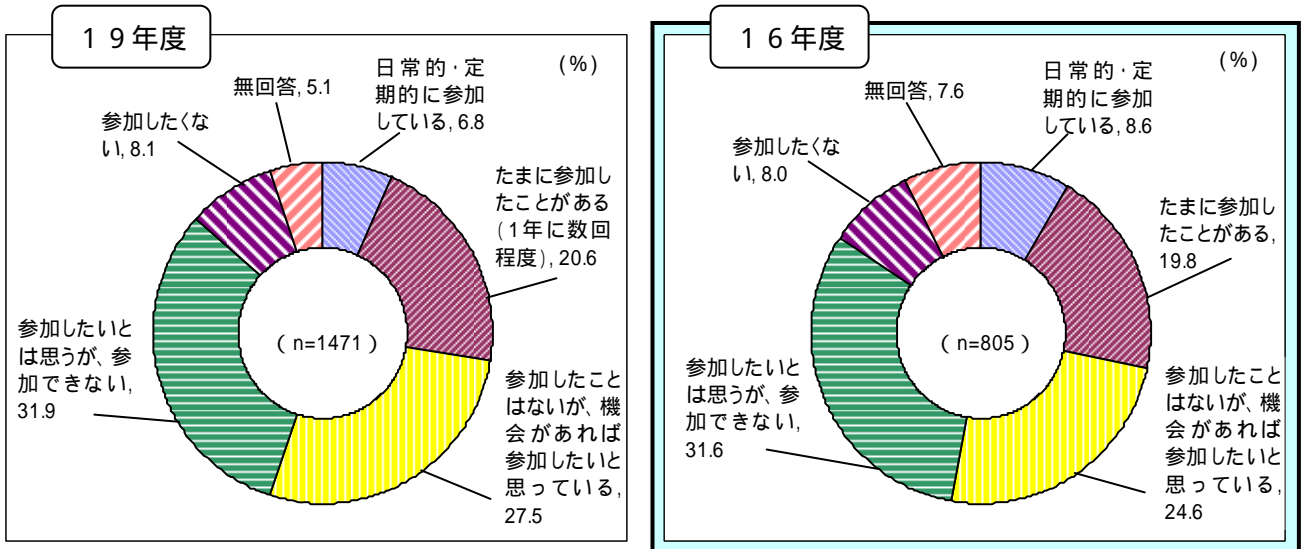
【地域別】

- 地域別でみると区全体と比べて特に高い割合は、次の項目である。
  - \* 東部地区：「公園等の草花の手入れ」
  - \* 北部地区：「防災訓練や災害時の弱者対策」
  - \* 中央地域：「地域清掃、美化活動」
  - \* 南部地域：「防犯パトロールや環境浄化活動」
  - \* 西部地域：「学校と連携した子ども達の健全育成活動」

選択肢	年齢	区全体	東部地域	北部地域	中央地域	南部地域	西部地域	無回答
防犯パトロールや環境浄化活動		69.2	66.8	70.6	65.8	74.1	70.6	41.4
ひとり暮らし高齢者や子育てを地域のなかでサポートする活動		59.6	60.2	61.2	60.4	58.5	59.8	37.9
防災訓練や災害時の弱者対策		51.9	47.0	56.4	50.4	55.3	52.4	31.0
ごみ減量・リサイクルや省エネ活動		49.4	51.6	48.4	48.3	50.5	48.6	37.9
交通安全運動や放置自転車対策		43.5	43.8	43.3	43.3	45.4	43.2	27.6
地域清掃、美化活動		42.8	42.8	42.9	47.9	43.1	39.9	27.6
学校と連携した子ども達の健全育成活動		31.5	26.6	33.9	31.7	28.8	38.5	17.2
お祭りや各種イベント等の活動		29.6	31.3	31.1	29.6	27.5	29.4	20.7
地域の景観や住環境を守るための活動		26.6	26.3	26.6	27.9	27.2	25.7	17.2
公園等の草花の手入れ		25.0	28.0	22.8	27.1	26.2	23.0	6.9
講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動		23.2	20.1	23.5	24.6	23.3	26.7	6.9
地域の歴史や伝統文化の保存継承		19.6	17.1	15.6	20.0	24.6	22.0	3.4
地域の課題について住民同士で話し合い、区に提案する活動		19.0	14.8	20.8	22.9	16.9	20.9	17.2
地域のコミュニティ施設を自主的に運営する活動		16.0	14.8	14.2	19.2	14.1	19.3	6.9
その他		1.8	2.0	0.7	4.6	0.3	1.0	10.3

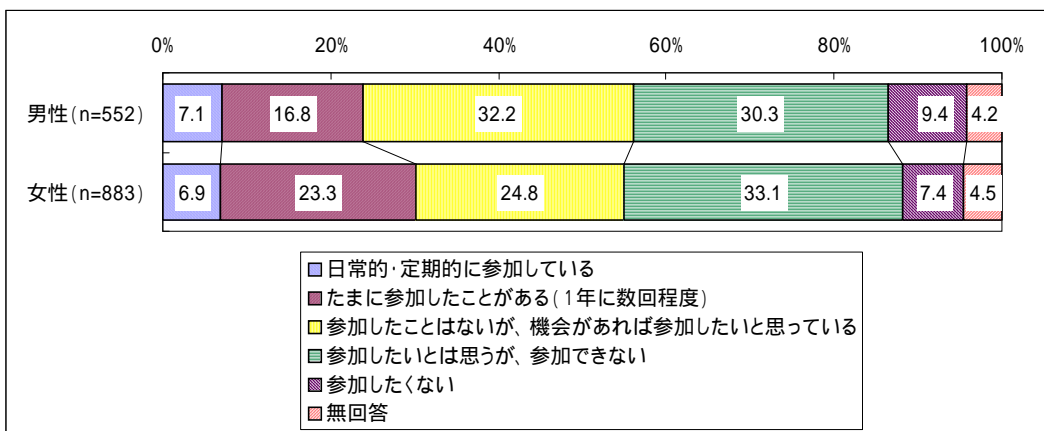
## 4 地域活動への参加状況〔問14〕

- 地域活動への参加状況について聞いたところ、「日常的・定期的に参加している」(6.9%)と「たまに参加したことがある」(20.6%)を併せた“参加経験層”は3割弱(27.4%)である。
- 「参加したいと思うが、参加できない」(31.9%)が最も高く、「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている」(27.5%)が次いでいる。この2つの“参加希望潜在層”を合わせると約6割(59.4%)である。



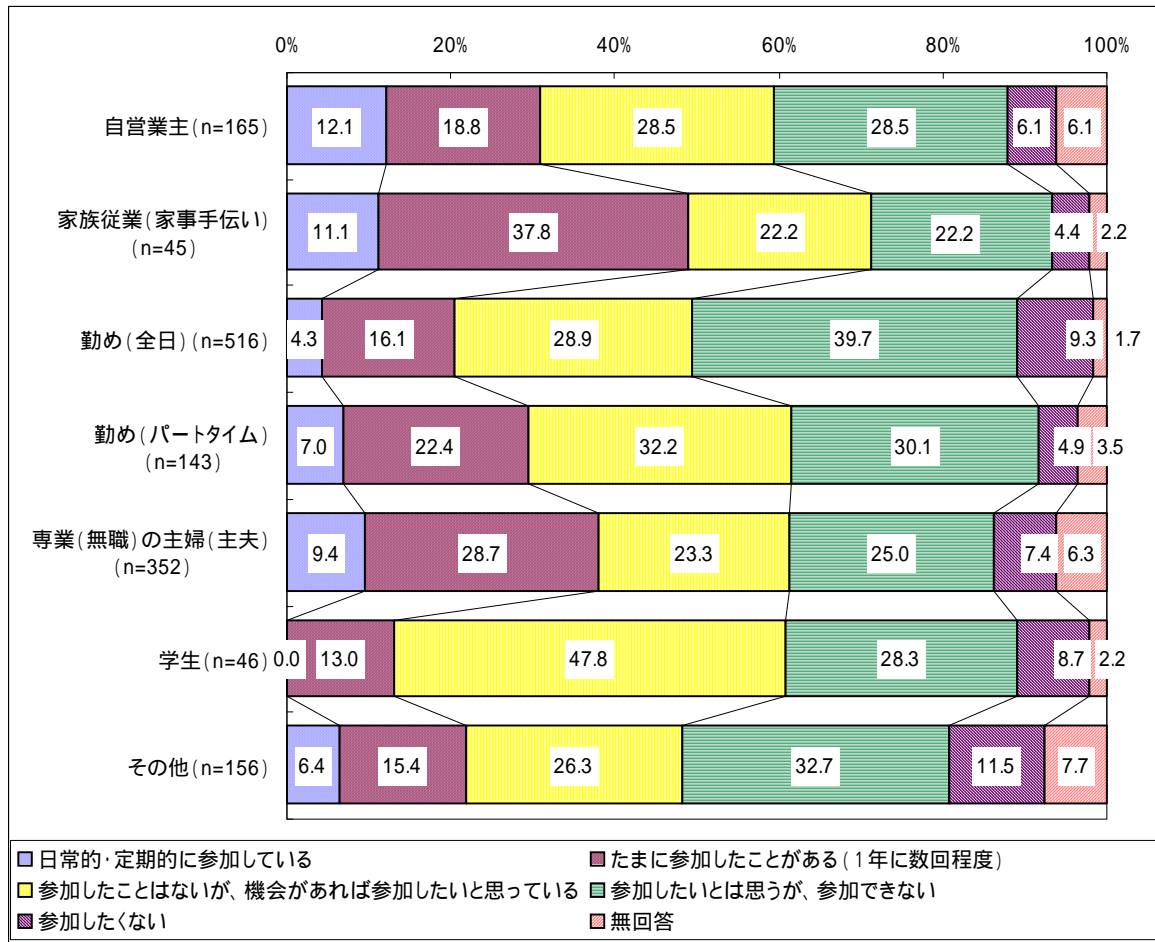
### 【性別】

- 男性の方が、「参加したいとはないが、機会があれば参加したいと思っている」が高い。
- 女性は、「日常的・定期的に参加している」と「たまに参加したことがある(1年に数回程度)」を併せると30.2%であり、男性(23.9%)より“参加経験層”の割合が高くなっている。



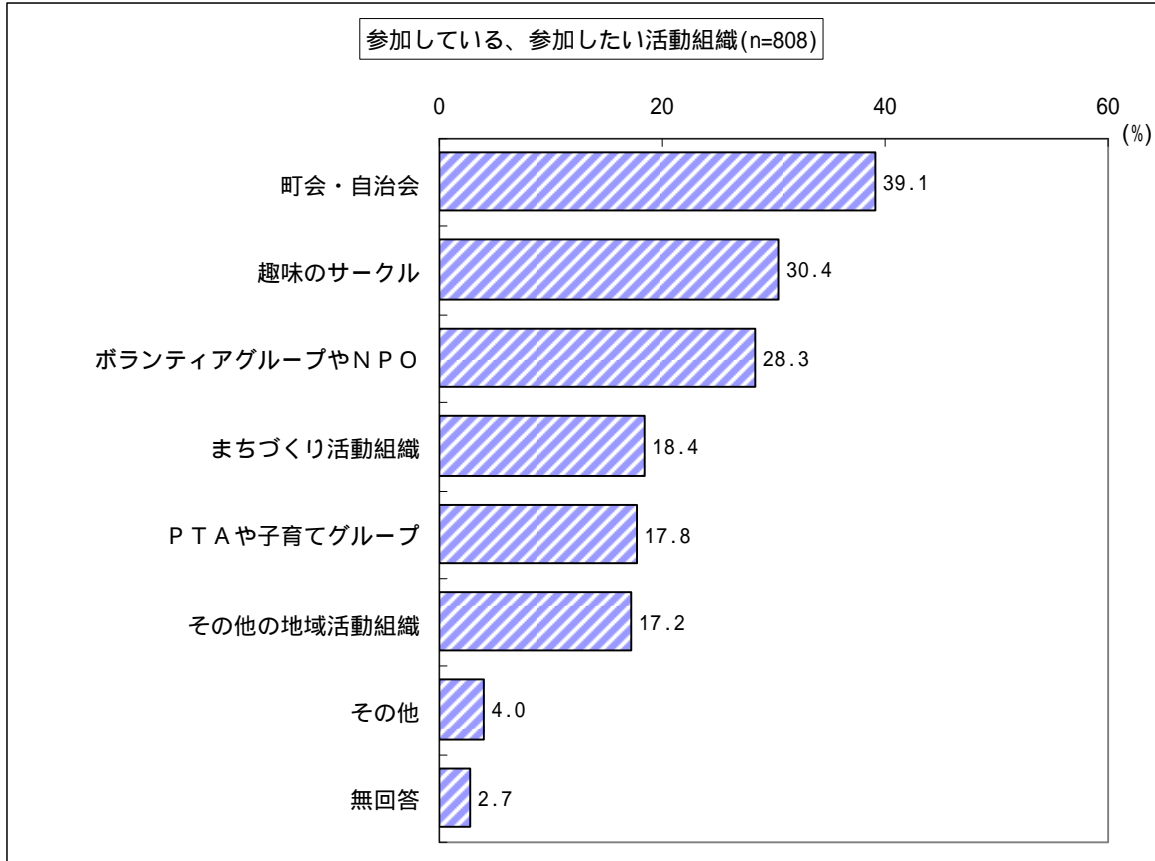
【職業別】

- 「日常的・定期的に参加している」と「たまに参加したことがある」を併せた“参加経験層”は、「自営業主」、「家族従業（家事手伝い）」、「専業（無職）の主婦（主夫）」で高くなっている。
- また、「参加したことがないが、機会があれば参加したいと思っている」、「参加したいと思うが、参加できない」を併せた、潜在的な参加意向を持つ人の割合は、「勤め（全日）」や「学生」でも6、7割前後となっている。



## 5 参加している・したい活動組織〔問14-1〕

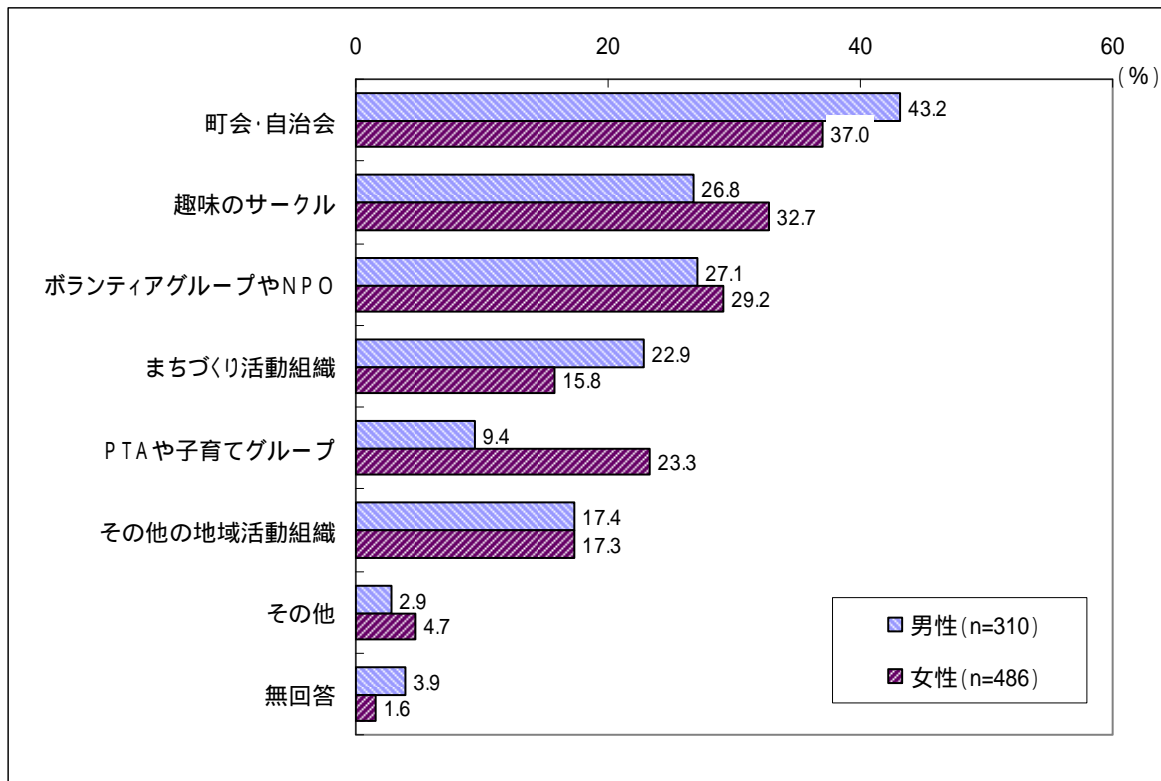
- 〔問14〕の地域活動への参加状況に関する設問に対し、「日常的・定期的に参加している」、「たまに参加したことがある」、「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている」を選択した場合について、参加している、または参加したい活動組織について聞いたところ、「町会・自治会」(39.1%)が最も高く、これに、「趣味のサークル」(30.4%)、「ボランティアやNPO」(28.3%)が続いている。



あてはまるものすべて選択

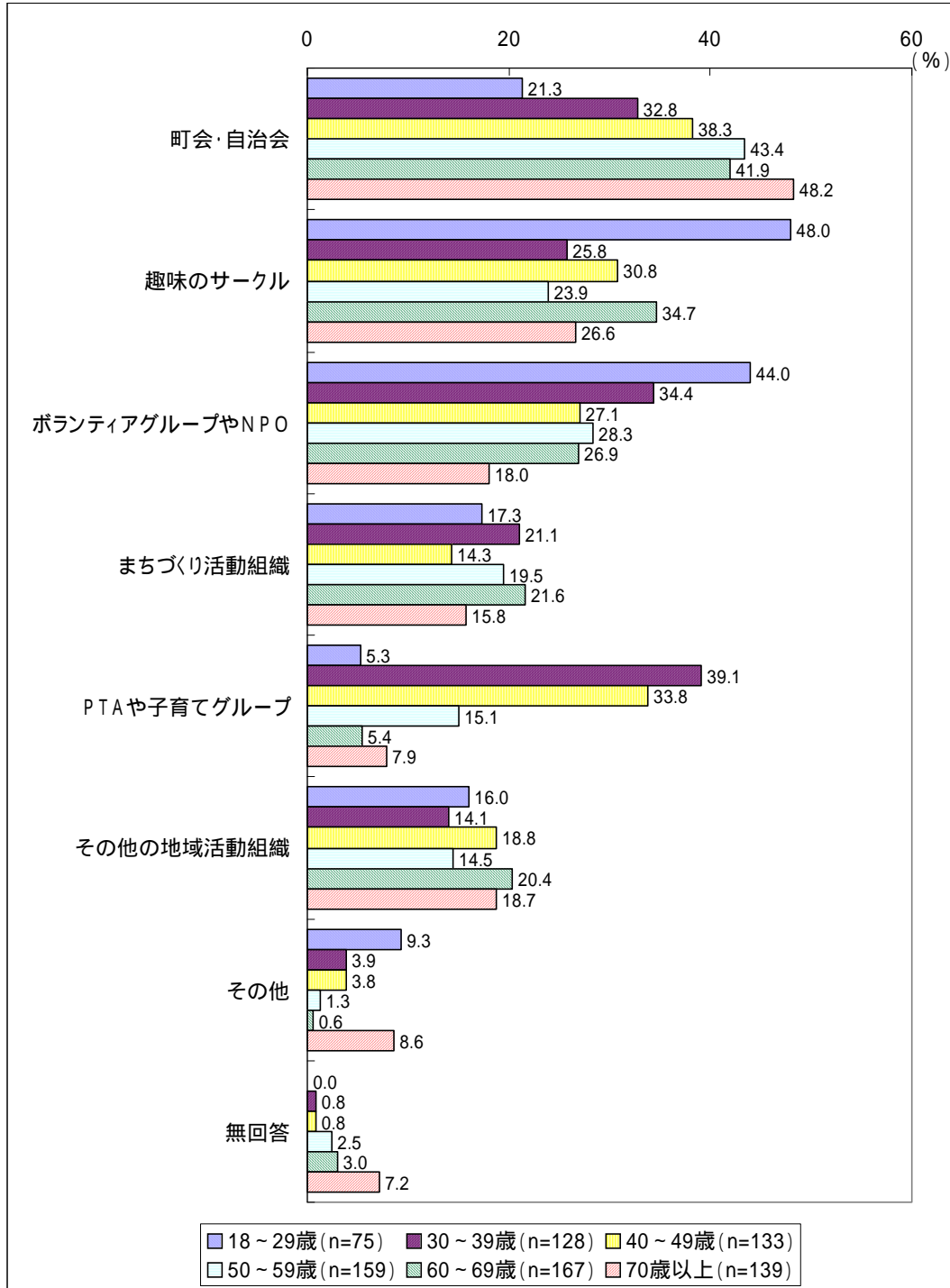
【性別】

- 男性では、女性と比較して、「町会・自治会」(43.2%)、「まちづくり活動組織」(22.9%)が高くなっている。
- 女性では、男性と比較して、「PTAや子育てグループ」(23.3%)が特に高い。また、「趣味のサークル」(32.7%)、「ボランティアグループやNPO」(29.2%)についても、男性より高くなっている。



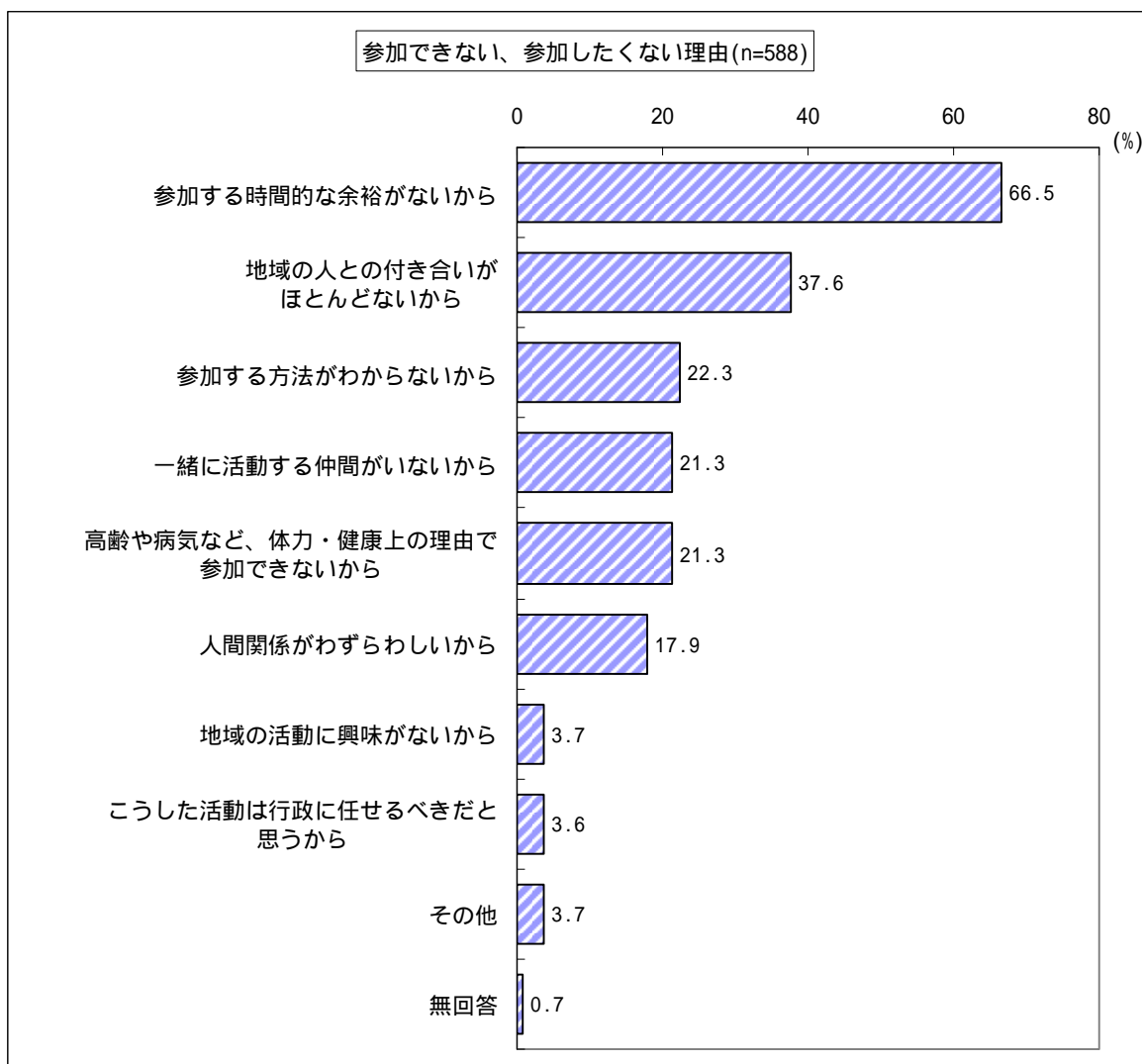
【年齢別】

- 年齢が高くなるほど、「町会・自治会」活動への参加経験・参加意向が高くなる傾向が伺われる。
- 「18～29歳」では、「趣味のサークル」(48.0%)、「ボランティアグループやNPO」(44.0%)が高くなっている。
- 「30～39歳」、「40～49歳」では、「PTAや子育てグループ」が高くなっている。



## 6 参加できない・参加したくない理由〔問14-2〕

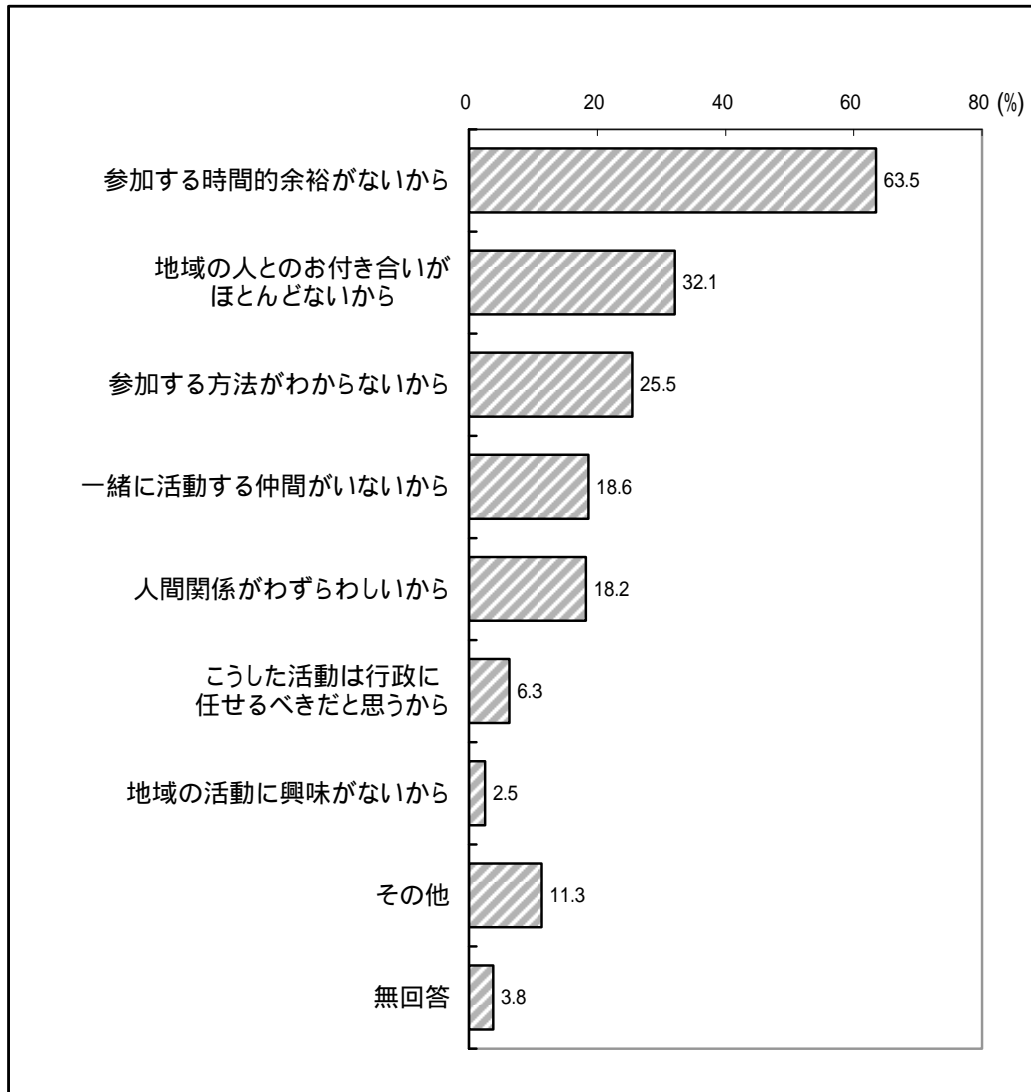
- 〔問14〕の地域活動への参加状況に関する設問に対して、「参加したいと思うが参加できない」、「参加したくない」を選択した場合について、その理由について聞いたところ、最も高いのは「参加する時間的な余裕がないから」(66.5%)であり、次いで「地域の人とのつきあいがほとんどないから」(37.6%)が続いている。
- 平成16年度調査と比べると、理由の順番は同じだが、「地域の人との付き合いがほとんどないから」(37.6%)が5.5ポイント増えている。



あてはまるものすべて選択



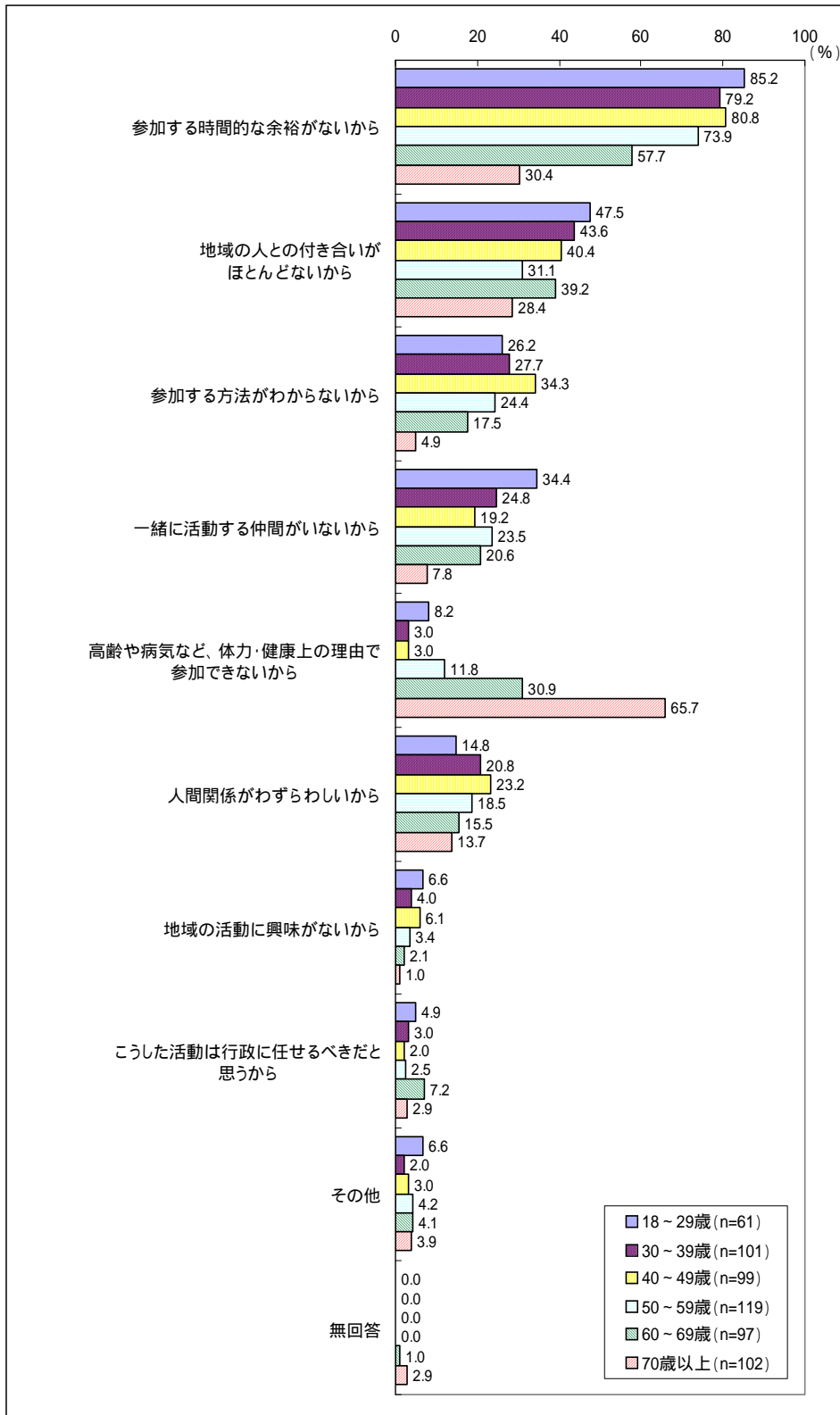
【平成 16 年度調査結果】



あてはまるものすべて選択

【年齢別】

- 地域活動に「参加できない」、「参加したくない」理由について、年齢別にみると、「参加する時間的な余裕がない」、「地域の人との付き合いがほとんどないから」、「一緒に活動する仲間がないから」については、年齢層が低いほど高い傾向にある。



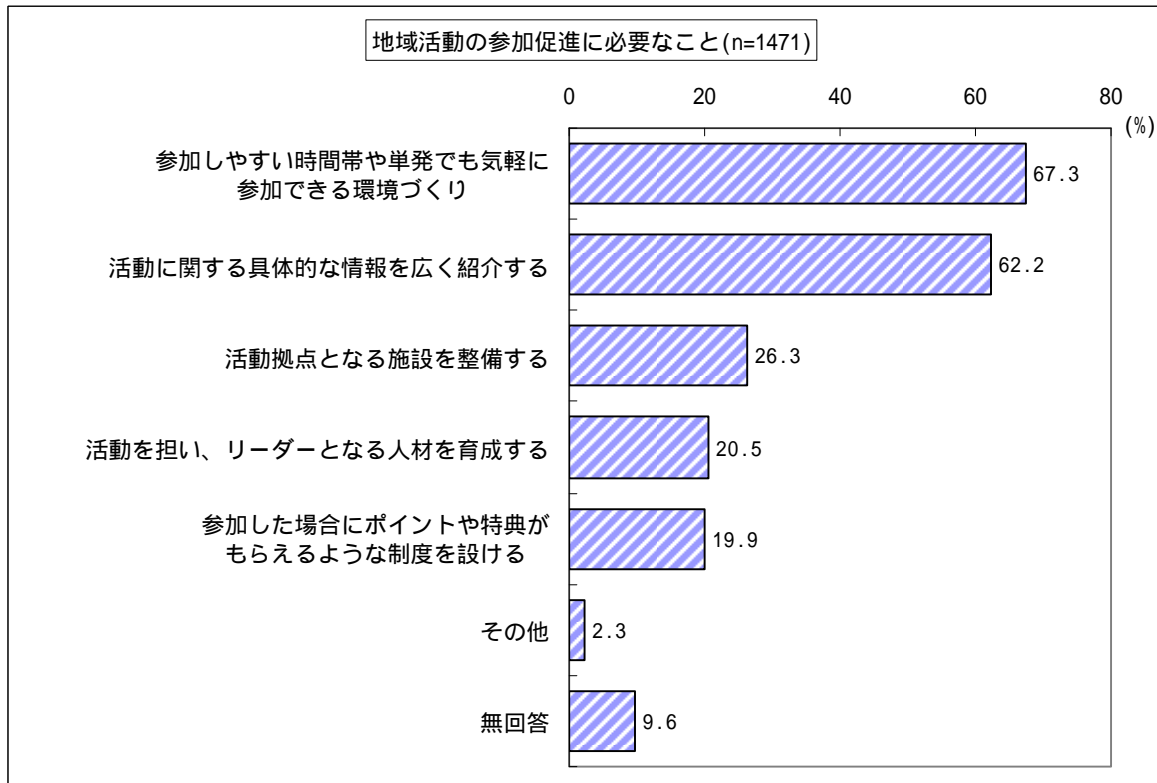
## 【職業別】

- 職業別でみると、区全体と比べて特に高い割合は、次の項目である。
  - \* 自営業主：「人間関係がわずらわしいから」、「地域の活動に興味がないから」
  - \* 勤め（全日）：「参加する時間的な余裕がないから」  
「地域の人との付き合いがほとんどないから」
  - \* 勤め（パートタイム）：「地域の人との付き合いがほとんどないから」  
「参加する方法がわからないから」
  - \* 専業（無職）の主婦（主夫）：「高齢や病気など、体力・健康上の理由で参加できないから」
  - \* 学生：「参加する時間的な余裕がないから」  
「地域の人との付き合いがほとんどないから」  
「一緒に活動する仲間がいないから」

選択肢 \ 職業	区全体	自営業主	（家事手伝い） 家族従業	（全日） 勤め	（パートタイム） 勤め	専業（無職） の主婦（主夫）	学生	その他	無回答
参加する時間的な余裕がないから	66.5	73.7	66.7	83.8	76.0	42.1	82.4	31.9	43.8
地域の人との付き合いがほとんどないから	37.6	33.3	25.0	41.5	42.0	30.7	41.2	37.7	31.3
参加する方法がわからないから	22.3	22.8	16.7	25.7	34.0	16.7	23.5	10.1	25.0
一緒に活動する仲間がいないから	21.3	12.3	16.7	26.9	20.0	19.3	29.4	7.2	37.5
高齢や病気など 体力・健康上の理由で参加できないから	21.3	17.5	33.3	4.0	12.0	44.7	5.9	56.5	25.0
人間関係がわずらわしいから	17.9	24.6	8.3	15.8	20.0	14.0	11.8	24.6	31.3
地域の活動に興味がないから	3.7	7.0	8.3	2.4	4.0	1.8	5.9	4.3	18.8
こうした活動は行政に任せるべきだと思うから	3.6	1.8	-	4.3	2.0	1.8	5.9	7.2	-
その他	3.7	5.3	8.3	2.8	-	4.4	5.9	7.2	-

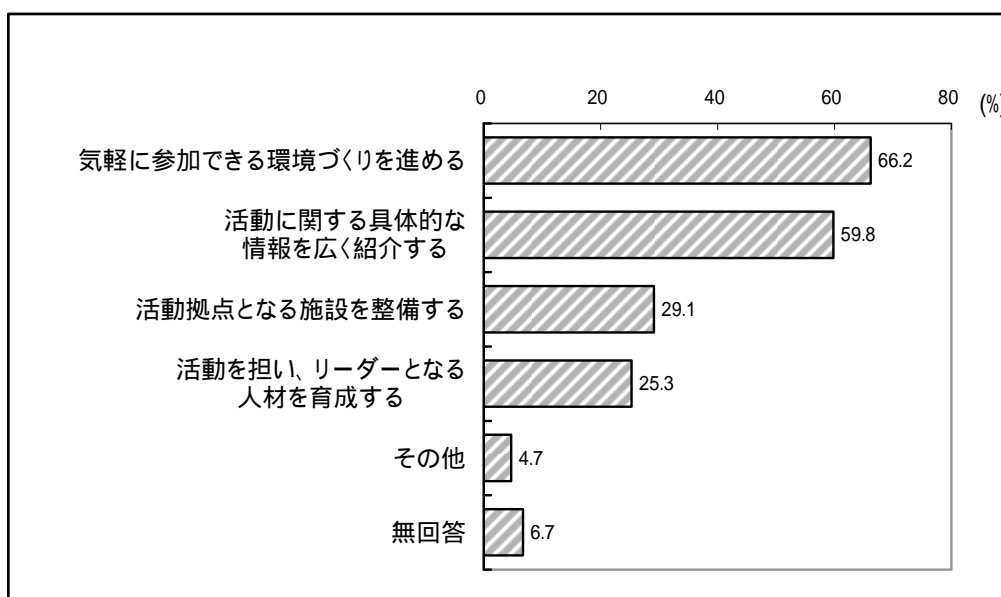
## 7 地域活動に、より多くの人に参加できるようにするために必要なこと 〔問14-3〕

- 地域活動に、より多くの人に参加できるようにするために必要なことについて聞いたところ、「参加しやすい時間帯や単発でも気軽に参加できる環境づくり」(67.6%)と「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(62.2%)が高い。
- 平成16年度調査とは大きな変化はない。今回は、「参加した場合にポイントや特典がもらえるような制度を設ける」の選択肢を新設したが、20%程度のニーズにとどまっている。



あてはまるものすべて選択

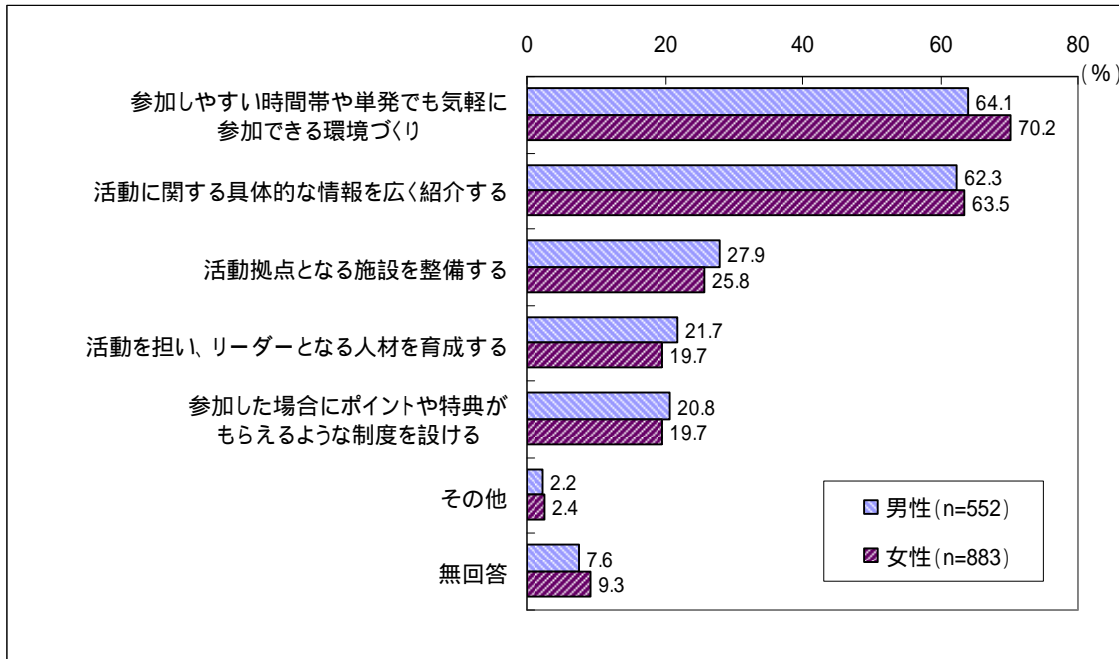
### 【平成16年度調査結果】



あてはまるものすべて選択

【性別】

- 男女別にみても、「参加しやすい時間帯や単発でも気軽に参加できる環境づくり」と「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」が高い。



【職業別】

- 職業別でみると、区全体と比べて特に高い割合は、次の項目である。
  - \* 自営業主：「活動拠点となる施設を整備する」
  - \* 勤め（パートタイム）：「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」
  - \* 専業（無職）の主婦（主夫）：「活動拠点となる施設を整備する」
  - \* 学生：「参加しやすい時間帯や単発でも気軽に参加できる環境づくり」「参加した場合にポイントや特典がもらえるような制度を設ける」

選択肢 \ 職業	区全体	自営業主	家族従業 (家事手伝い)	勤め (全日)	パート勤め (パートタイム)	専業(無職) の主婦(主夫)	学生	その他	無回答
参加しやすい時間帯や単発でも気軽に参加できる環境づくり	67.3	64.8	73.3	70.9	71.3	68.2	84.8	51.3	47.9
活動に関する具体的な情報を広く紹介する	62.2	63.6	64.4	61.6	70.6	59.1	65.2	64.7	47.9
活動拠点となる施設を整備する	26.3	29.1	22.2	25.6	22.4	29.8	23.9	26.9	14.6
活動を担い、リーダーとなる人材を育成する	20.5	24.8	17.8	17.4	26.6	20.5	19.6	21.8	20.8
参加した場合にポイントや特典がもらえるような制度を設ける	19.9	15.8	17.8	22.9	24.5	14.2	47.8	17.3	14.6
無回答	9.6	9.7	6.7	5.2	5.6	12.8	2.2	14.1	39.6

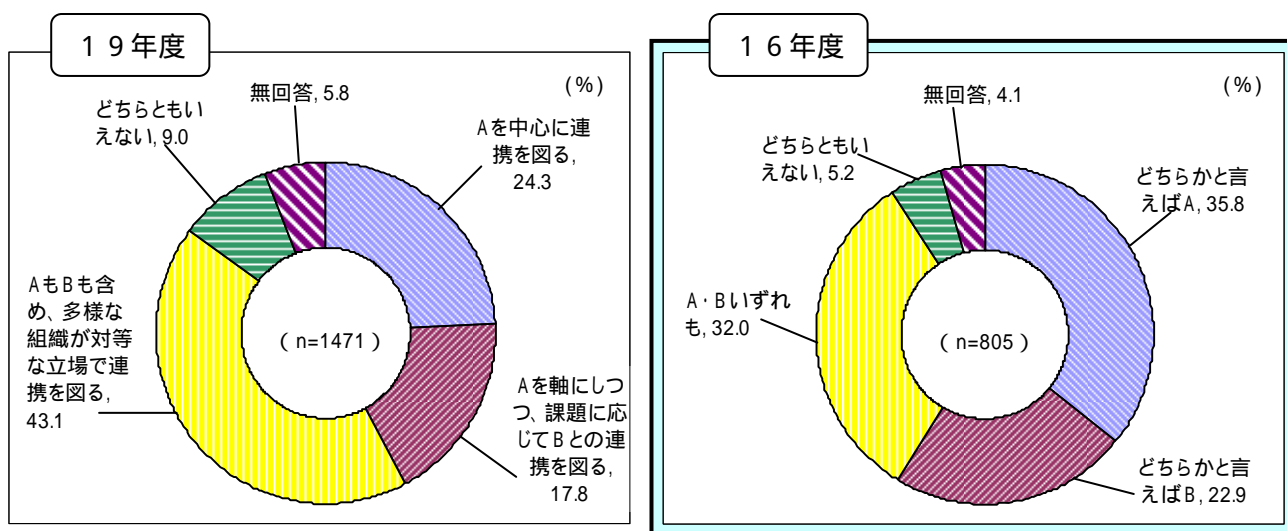
## 8 地域で活動する組織間の連携のあり方〔問15〕

地域で活動する組織について、大きく次のA・Bふたつに分類し、地域の課題を解決していくためにどのような連携を図っていくことが望ましいかを聞いた。

### (選択における地域で活動する組織A・B)

A	町会・自治会等のように一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織
B	環境・福祉・教育など、特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織

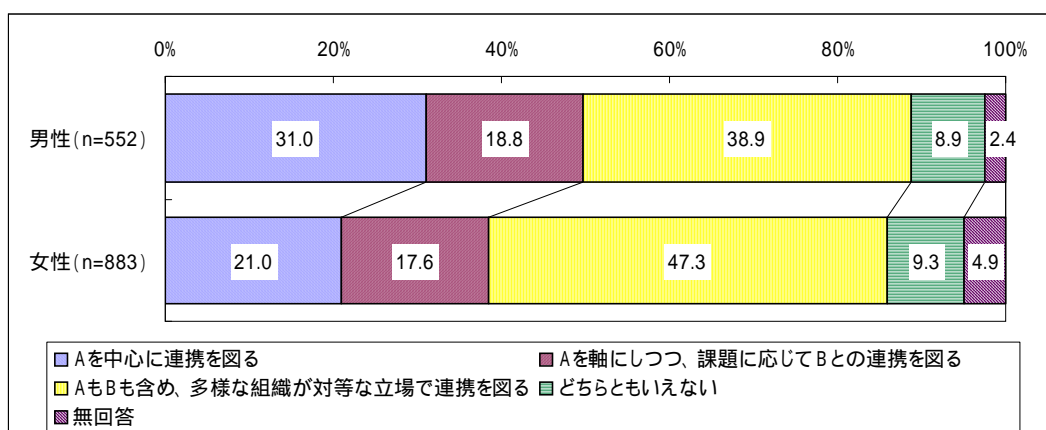
- 地域で活動する組織間の連携のあり方について聞いたところ、「(A)一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織」も、「(B)特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織」も含め、「多様な組織が対等な立場で連携を図る」(43.1%)が最も高い。



16年度の設問は「A・Bどちらの活動が活発になっていくべきか」

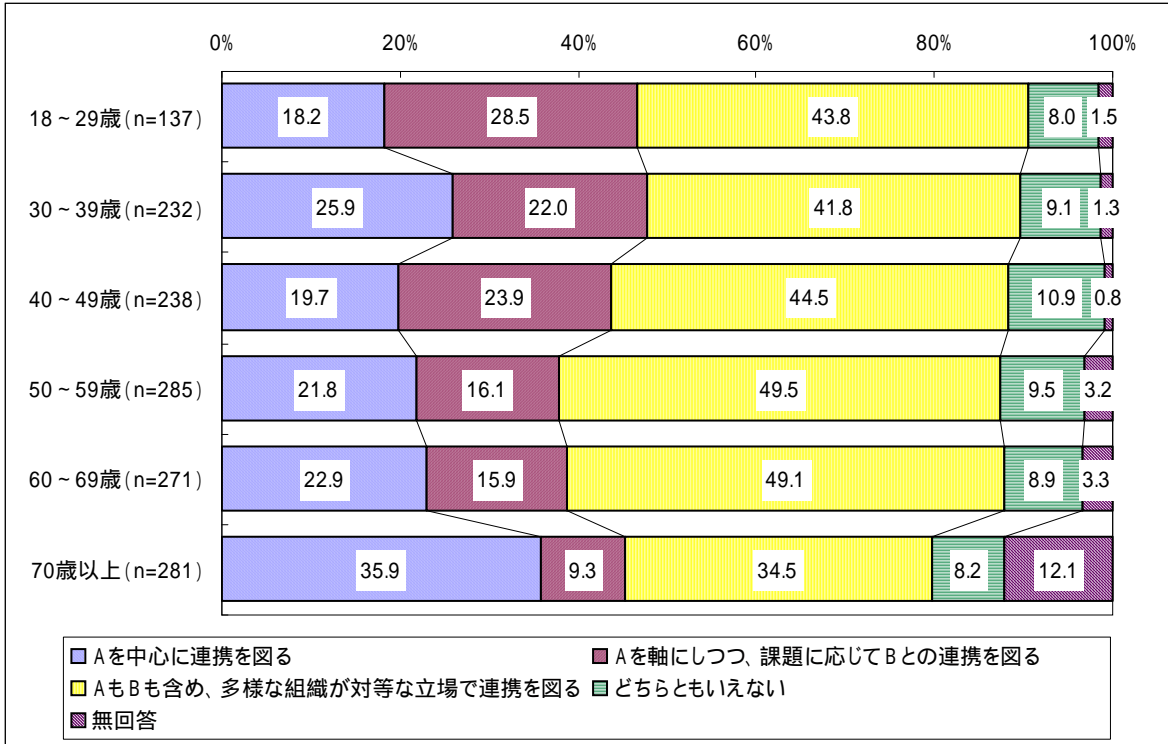
### 【性別】

- 男女別にみると、「(A)一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織が中心に連携を図る」と「(A)も(B)も含め、多様な組織が対等な立場で連携を図る」について、比較的大きな差がみられる。



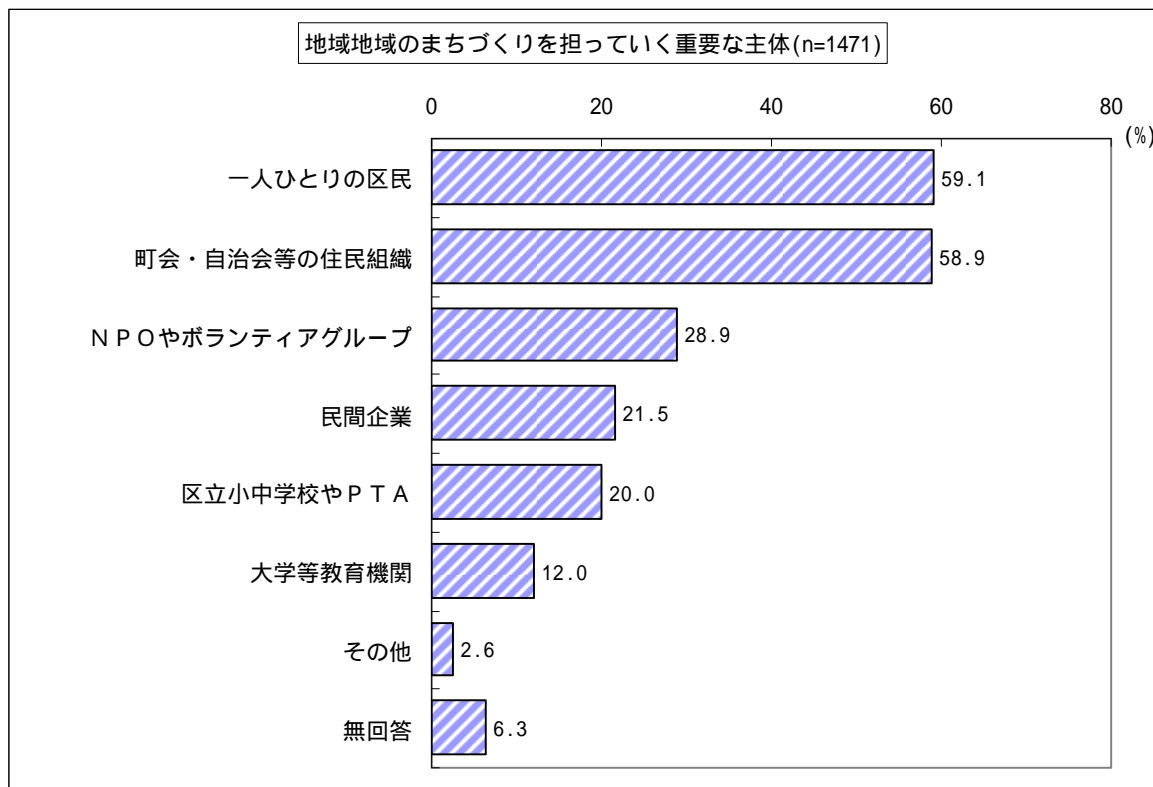
【年齢別】

- 「70歳以上」で「A（住民同士が力を合わせて活動する組織）を中心に連携を図る」が高い。
- 「20～29歳」では、「Aを軸にしつつ、課題に応じてB（特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織）との連携を図る」が高い。
- 「50～59歳」や「60～69歳」では、「AもBも含め、多様な組織が対等な立場で連携を図る」が高い。



## 9 これからのまちづくりを担っていく主体〔問16〕

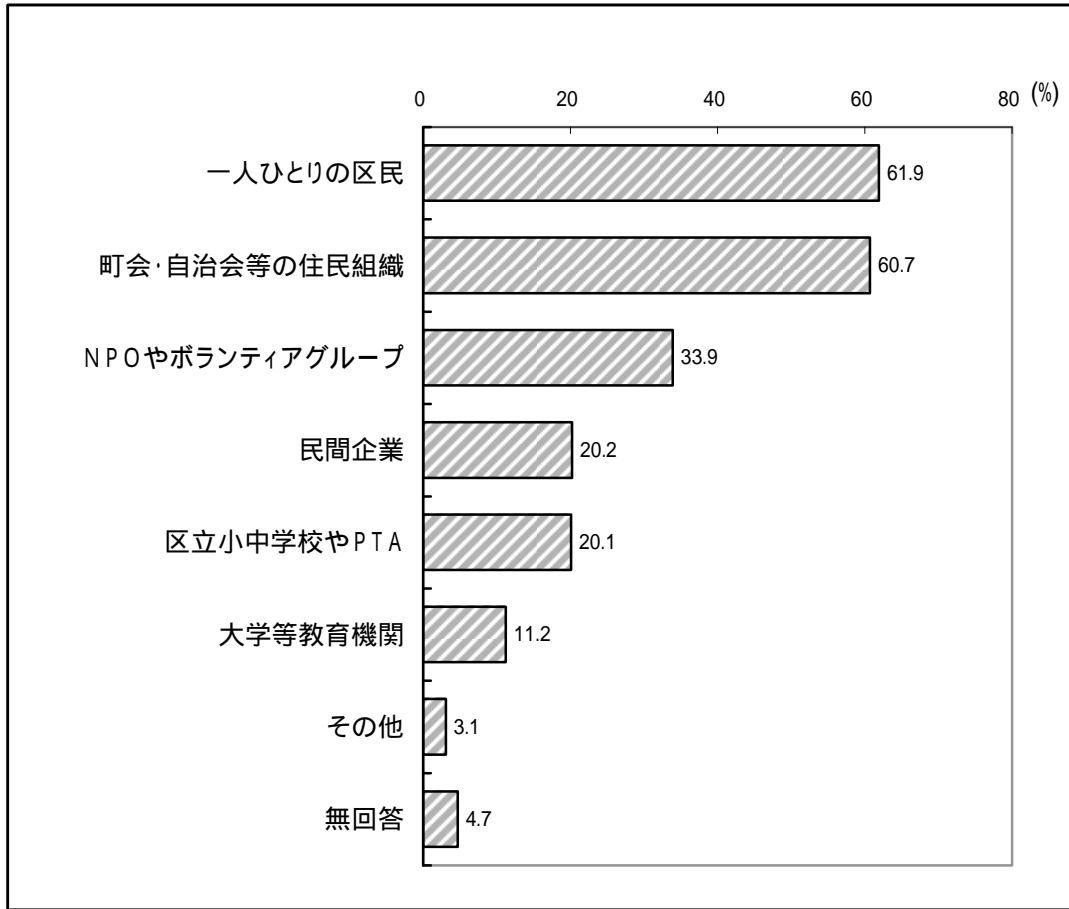
- これからの地域のまちづくりを担っていく主体について聞いたところ、「一人ひとりの区民」(59.1%)と「町会・自治会等の住民組織」(58.9%)の2つに集中し、それぞれ6割近くを示している。
- 次いで「NPOやボランティアグループ」(28.9%)が約3割、「民間企業」(21.5%)、「区立小中学校やPTA」(20.0%)が2割台で続いている。
- 平成16年と比較すると、全体の傾向は変わっていない。



あてはまるものすべて選択



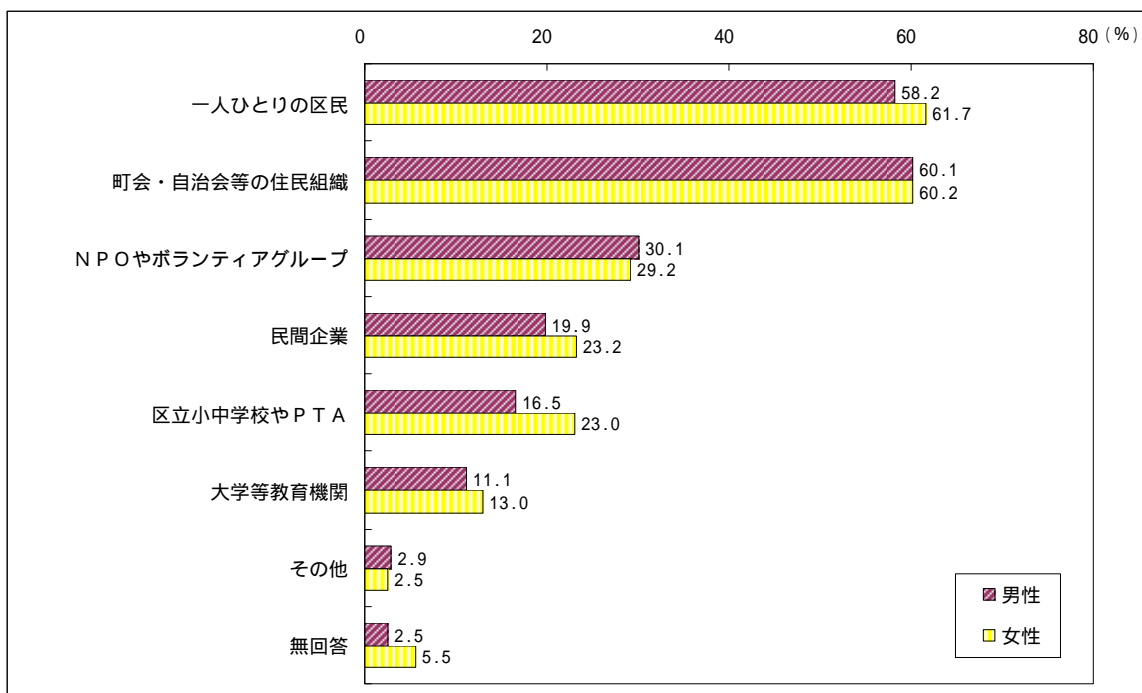
【平成 16 年度調査結果】



あてはまるものすべて選択

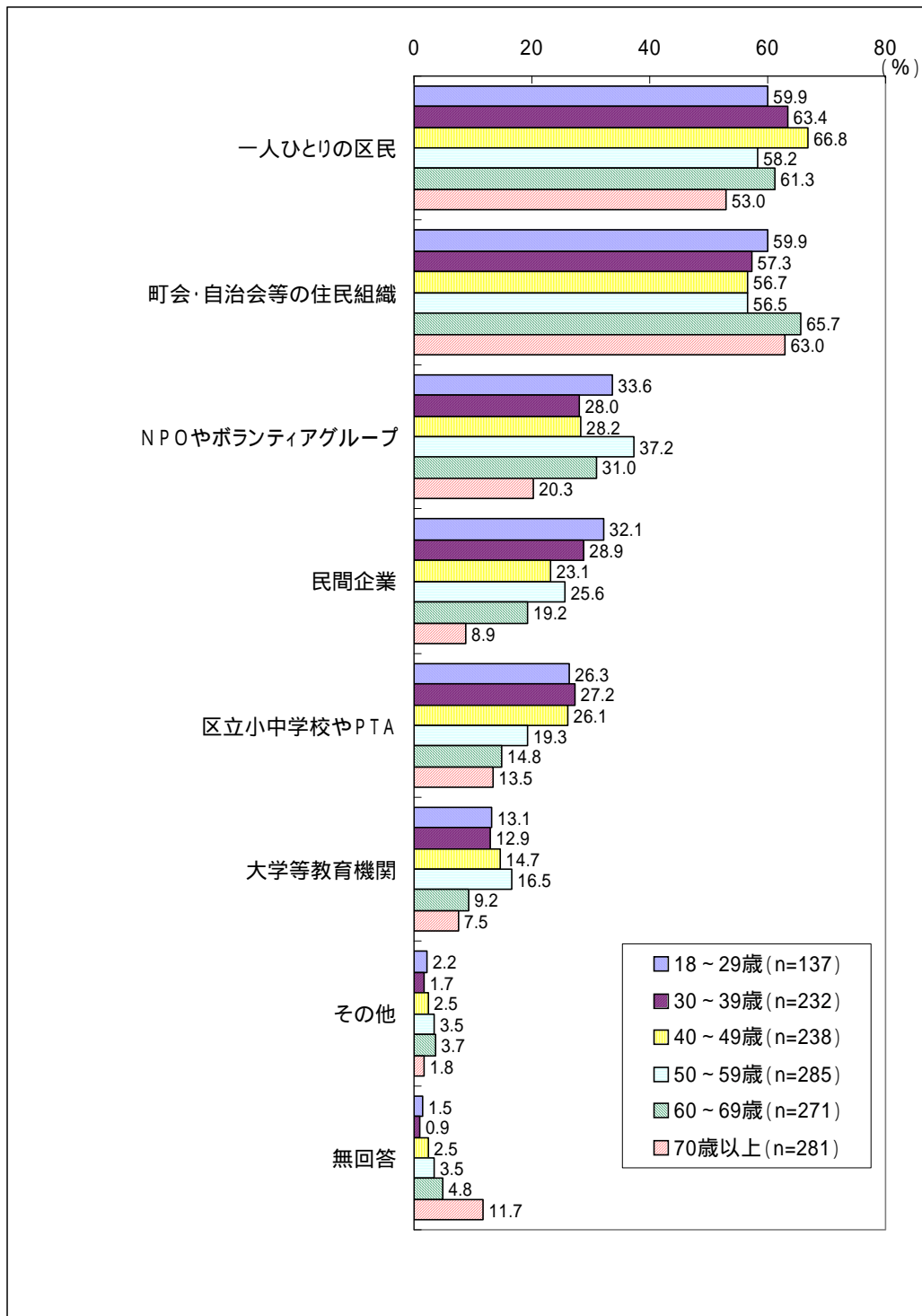
【性別】

- 男性の方が、「一人ひとりの区民」の回答が高い。
- 女性は、「民間企業」、「区立小中学校やPTA」、「大学等教育機関」が男性より高くなっている。



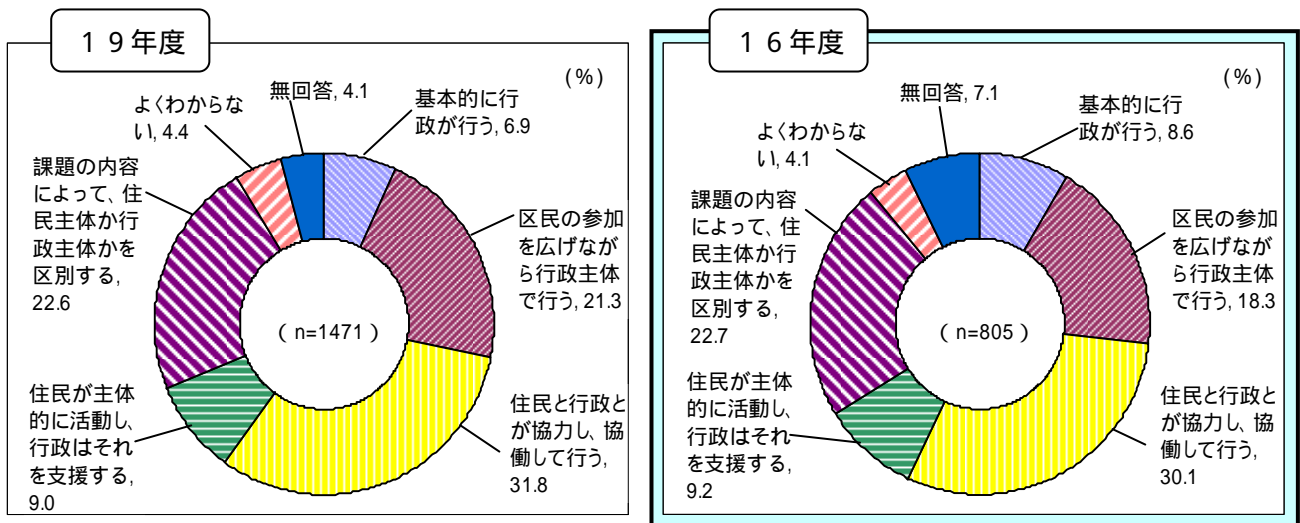
【年齢別】

- 「一人ひとりの住民」では「40～49歳」が高い。
- 「町会・自治会等の住民組織」では「60～69歳」や「70歳以上」が高い。
- 「NPOやボランティアグループ」では「50～59歳」が高い。
- 「民間企業」では「30～39歳」以下、「区立小中学校やPTA」では「40～49歳」以下の年齢が高い。



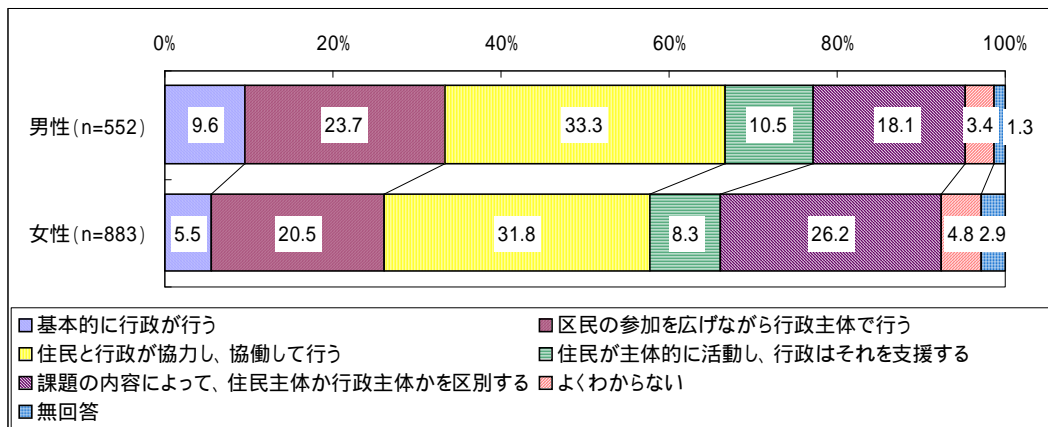
## 10 地域の課題を解決する場合の住民と行政との役割分担のあり方〔問17〕

- 地域の課題を解決する場合の住民と行政との役割分担のあり方について聞いたところ、「住民と行政が協力し、協働して行う」(31.8%)が最も高く、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(22.6%)と「区民の参加を広げながら行政主体で行う」(21.3%)がほぼ同じ割合で次いでいる。
- 「基本的に行政が行う」(6.9%)は1割未満であるが、「区民の参加を広げながら行政主体で行う」(21.3%)と合わせると、“行政主体”は約3割(28.2%)となる。
- 平成16年度調査と比較すると、全体的な傾向は変わらない。



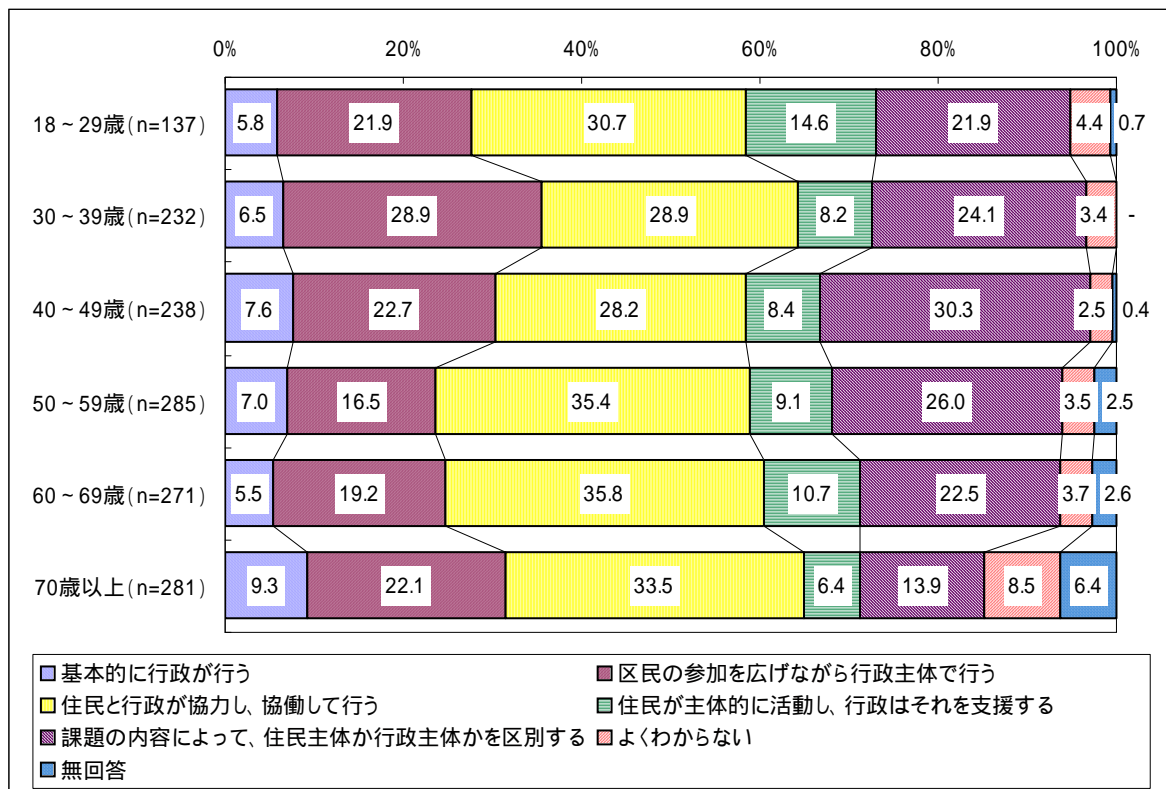
### 【性別】

- 女性は、男性と比較して、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(26.2%)が8.1ポイント高く、住民と行政の役割分担は、課題の内容によって区分する考えが強い。
- 「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」以外の項目では、男性の方が高くなっている。



【年齢別】

- 全ての年齢で、「住民と行政が協力し、協働して行う」が最も高くなっている。
- 「40～49歳」は、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」が最も高い。
- 「30～39歳」では、「住民と行政が協力し、協働して行う」(28.9%)と「区民の参加を広げながら行政主体で行う」(28.9%)が同じ回答割合で最も高くなっている。
- それ以外の年齢では、「住民と行政が協力し、協働して行う」の回答割合が最も高い。



# . 調查票



# 協働のまちづくりに関する区民意識調査

## ～ 調査ご協力をお願い ～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。



これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

平成19年8月

豊島区長 高野之夫

### 《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内在住の18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。なお、2、3年前と比べた最近の地域の生活環境についての設問があることから、居住年数2年以上の方を対象としています。
2. アンケートの回答は、原則としてご本人が行ってください。（ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。）
3. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆様の個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、感じになっていることをお答えください。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に3つ折にして入れ、

**8月22日(水)** までにポストにご投函ください。

封筒には、バーコードがついていますが、これは返送先の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03 - 3981 - 4201 (直通)

【FAX】 03 - 3981 - 1021

## ・豊島区の印象について



### 1. 住み心地

問1 - 1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに )

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. わからない

問1 - 2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに )

1. 以前より住み良くなった
2. 以前より住みにくくなった
3. 変らない
4. わからない

→ 問1 - 2で「1」～「2」と回答した方におたずねします

問1 - 3 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて一つお答えください。(自由回答)

### 2. 定住意向

問2 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに )

1. いつまでも住み続けたいと思っている
2. 当分住み続けたいと思っている
3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある
4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている
5. わからない

### 3. 地域への愛着

問3 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに )

1. 愛着を感じている
2. やや愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない
5. どちらともいえない



## ・地域の生活環境について

### 1. 地域の生活環境の評価と今後の優先度

問4 以下の設問は、地域の生活環境を12のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。

「最近の評価」の欄は、あてはまるところに、1つずつをつけてください。

「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。

もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そ ど う 思 わ れ た か ら い う と	い ど え ち な ら い と も	そ ど う 思 わ れ た か ら い う と	
福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。  1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる	1	2	3	
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	5	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している	1	2	3	
	6	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	7	公共施設や駅・道路など、街のバリアフリー化が進んでいる	1	2	3	
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	9～12の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	12	地域の医療機関やサービスが充実している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。
			そう思うかどうかというところ	どちらでもないところ	どちらがわかるところ	
子育て	13	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	13～17の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	14	子どもが友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	15	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	[ ]
	16	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	17	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識や活動が育っている	1	2	3	
教育	18	子どもの基礎的な学力が高まっている	1	2	3	18～24の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	19	子どものしなやかな心と体が育成され、豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	20	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
	21	小中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	[ ]
	22	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	23	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	1	2	3	
	24	学校施設が地域に開放され、活動の場として地域に活用されている	1	2	3	
コミュニティ	25	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている	1	2	3	25～28の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	26	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	[ ]
	28	さまざまな地域活動団体や企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度  各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。
			どちらかというところ	どちらもないところ	どちらかわないところ	
環境	29	運動ができ、災害時にも有効な比較的大きな公園がある	1	2	3	29～36の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	30	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	31	小鳥や昆虫、植物など、自然と四季を感じることができる	1	2	3	
	32	みどりを大切に守り、育てようとする意識が高まっている	1	2	3	
	33	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	34	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	35	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	36	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
都市再生	37	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	37～45の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	38	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	39	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	40	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている	1	2	3	
	41	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	42	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	43	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
	44	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	1	2	3	
	45	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度  各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。
			そ ど ち ら か と い う と	い ど ち な ら い と も	そ ど ち ら か と い う と	
安心・安全	46	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	46～52の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	47	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができて	1	2	3	
	48	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	49	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	50	青少年の健全な育成を阻害する社会環境が改善されている	1	2	3	
	51	交通事故が少ない	1	2	3	
	52	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
観光・産業	53	魅力ある店舗や観光スポットが多く、祭りなどのイベントも活発に行われて、まちがにぎわっている	1	2	3	53～58の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	55	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	56	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	57	印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している	1	2	3	
	58	身近な地域に、活力ある商店街がある	1	2	3	
文化	59	演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている	1	2	3	59～65の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	60	歴史的文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	61	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	62	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	63	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	64	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
	65	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そう思わかついうと	どちらないとも	どちらわかついうと	
その他	66	地域で外国人との交流がある	1	2	3	「その他」については、社会が目指す共通かつ基本的な課題であると考えておりますので、「今後の優先度」については、回答欄を設けていません。
	67	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	68	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	

問5 池袋副都心のまちづくりについておたずねします。

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そう思わかついうと	どちらないとも	どちらわかついうと	
池袋副都心	1	駅や広場、道路等がバリアフリー化され、案内表示もわかりやすく、誰もが快適に歩くことができる	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んで下さい。  1～7の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	2	駅の東西を結ぶ機能が高まり、副都心の回遊性が向上している	1	2	3	
	3	再開発の進展や新たな建物の建設等により、風格ある街並みがつくられている	1	2	3	
	4	文化芸術、商業施設が充実し、魅力あるイベントも催されるなど、年間を通じてにぎわっている	1	2	3	
	5	ポイ捨てや落書き等がなく、道路や街路が清潔である	1	2	3	
	6	治安がよく、マナーやモラルが守られていて安心できる	1	2	3	
	7	新宿、渋谷などの他の副都心にはない魅力を育てるまちづくりが進んでいる	1	2	3	



## 区政策について



### 1. 区政全般への要望

問6 あなたは、区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち特に力を入れてほしいのはどのようなことですか。(5つ選んで)

1. 健康づくり	15. 交通安全対策
2. 高齢者福祉の充実	16. 放置自転車対策
3. 障害者(児)福祉の充実	17. 池袋副都心の活性化
4. 保健・医療の充実	18. 中小企業、地域経済の振興
5. 子どもの健全育成	19. 消費生活対策
6. 子育て支援の充実	20. 防災対策
7. 学校教育の充実	21. 治安対策
8. 地域の活動やコミュニティの形成	22. モラル低下等による迷惑行為の防止対策
9. 男女平等参画社会づくり	23. 文化・芸術の振興
10. みどりや公園づくり	24. 観光・都市交流
11. 環境保全・資源リサイクル	25. 生涯学習・スポーツ等の充実
12. 再開発・街づくり・街並みの整備	26. 区民サービスのIT化・情報化の推進
13. 道路交通網の整備	27. 行財政改革
14. 住宅対策	

### 2. 震災等への備えについて

問7 今後30年以内に、首都直下地震が起こる確率は70%と言われており、区内でも震度6から6強という強い揺れが想定されています。

あなた(あなたの家庭で)は、大地震が起こった場合に備えてどのような対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 消火器を準備したり、風呂の水をためおきしている	<p>( ) 住宅用火災警報器</p> <p>東京都火災予防条例により、平成22年4月から既存の住宅を含め、すべての住宅に設置が義務付けられます。</p>
2. 住宅用火災警報器( )をつけている	
3. 家具や冷蔵庫等の転倒を防止する器具を設置している	
4. 家や塀の耐震性を高くしている	
5. 食料や飲料水を準備している	
6. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	
7. 家族や知人との連絡方法などを決めている	
8. 学校や公園など避難する場所や避難方法を決めている	
9. 防災訓練に積極的に参加している	
10. 特に何もしてない	

### 3. コミュニティバスについて

最近、小型バス車両等を活用し、地域住民の移動利便性を高めるために、区や市等が主体となって運行する「コミュニティバス」が増えています。

問8-1 あなたは、こうした「コミュニティバス」の導入についてどのようにお考えですか。あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(1つに)

1. 豊島区はもともと交通利便性が高いので、導入する必要は感じない
2. 今後の高齢社会では、多少税金を投入したとしても、移動利便性を高める必要がある
3. あれば便利に違いないが、できる限り事業採算性を重視すべきである

問8-2 導入の検討にあたっては、どのような点を重視する必要があると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。(2つに)

1. 鉄道駅から遠く、バス路線もない交通不便地域を解消すること
2. 高齢者や障害者、乳幼児連れの人が地域内を移動しやすくすること
3. 鉄道駅や図書館、体育施設、病院、商店街などに行きやすくすること
4. 区内の文化施設、観光スポットを結び、にぎわいを生むこと
5. 池袋副都心の回遊性や区内各地域から池袋駅へのアクセス性を向上させること

### 4. これからの行政のあり方

問9 行政の役割やサービスのあり方について、以下のようなAとBの異なる意見があるとします。あなたは、AとBどちらの意見に近いお考えをお持ちですか。(あてはまる番号に○)

Aの意見	Aの意見に近い	Aの意見に近いかと近い	どちらともいえない	Bの意見に近い	Bの意見に近いかと近い	Bの意見
民間でできることは民間に任せ、行政は行政でなければできないことに集中すべきだ	1	2	3	4	5	民間にサービスの提供を任せることには不安があるので、これまでどおり行政が担っていくべきだ
財源に限られる中では、行政はあれもこれもではなく、重点を定め、メリハリをつけてサービスを行うべきだ	1	2	3	4	5	行政は、区民のニーズに応じて広く網羅的にサービスを行うべきだ
行政サービスの水準が向上するなら税金等の負担が増えてもかたない	1	2	3	4	5	行政サービスの規模や水準を見直してでも税金等の負担が増えないようにすべきだ

5. 区政への参加について

問10-1 あなたは、区政に意見を反映させる機会があれば参加したいと思いますか。  
(1つに )

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に参加したい</li> <li>2. テーマや関心によっては参加したい</li> <li>3. 参加したい気持ちはあるが時間がないなどの理由で難しい</li> <li>4. 参加したくない</li> <li>5. どちらとも言えない</li> </ul>	} ( 問11へ進む )
--	--------------

問10-2 区政への参加を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに )

区の情報を知るための手段の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 広報紙「広報としま」</li> <li>2. 豊島区公式ホームページ</li> <li>3. 区の広報番組「こちら豊島区役所です！」(としまテレビ放映)</li> <li>4. 広報掲示板、町会等の掲示板の活用</li> <li>5. 町会等の回覧板の活用</li> <li>6. メールマガジンの活用(パソコンや携帯電話にニーズに応じたお知らせをメールで送るシステム)</li> <li>7. 新聞・テレビなどのマスコミへの積極的な情報提供</li> <li>8. その他(具体的に: _____)</li> </ul>
区政に参加するための機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 区の計画や施策等を検討する、審議会等の委員公募</li> <li>2. 区政の課題について、広く参加を求め話し合うワークショップの開催</li> <li>3. 時間や会場を設定して参加を呼びかける、説明会や区民集会等</li> <li>4. 参加の時間や場所の制約を受けない、インターネットを活用した電子会議室やアンケート</li> <li>5. インターネットを活用して区民相互が意見交換できる</li> <li>6. 重要な計画等について、案の段階で意見を聞くパブリックコメント制度</li> <li>7. 区の施策や事業について、区民の側から提案する制度</li> <li>8. 広聴はがき・広聴メール等による広聴制度</li> <li>9. 区民意識調査など、無記名のアンケート</li> <li>10. その他(具体的に: _____)</li> </ul>





## ・地域におけるコミュニティや協働について

問 1 1 豊島区では、地域の多様な地域団体や区民が参加し、身近な地域の課題について話し合い、区にまちづくりの提案をしていく場として、「地域協議会」の設置を検討しています。そのような協議会を地域ごとに設置する場合に、どの程度の地域単位に設置するのが望ましいと思いますか。（1つに ）

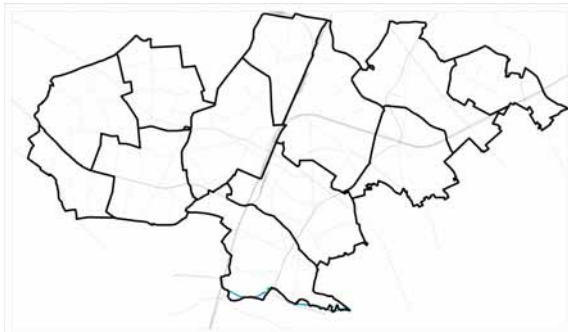
1 . 区を5つ程度に区分した地域  
（東、西、南、北、中央）



2 . 区を8つ程度に区分した地域  
（中学校区くらい）



3 . 区を12程度に区分した地域  
（旧出張所くらい）



4 . 区を22程度に区分した地域  
（小学校区くらい）



5 . よくわからない



問12 最近、防犯パトロールや子どもたちの安全見守り活動など、近隣住民（ご近所）が自主的に力を合わせて、地域の課題の解決に取り組む事例が紹介されています。あなたは、こうした取り組みについてどのようにお考えですか。（1つに ）

- 1．身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う
- 2．重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい
- 3．近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う
- 4．どちらともいえない

問13 区内各地域では、近隣住民が主体的に、また区民と行政とが協働するかたちで様々な地域活動が行われていますが、こうした活動としてどのようなものが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに ）

- 1．防犯パトロールや環境浄化活動
- 2．交通安全運動や放置自転車対策
- 3．防災訓練や災害時の弱者対策
- 4．地域清掃、美化活動
- 5．ごみ減量・リサイクルや省エネ活動
- 6．公園等の草花の手入れ
- 7．地域の景観や住環境を守るための活動
- 8．ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動
- 9．学校と連携した子どもたちの健全育成活動
- 10．地域の様々な課題について住民同士で話し合い、まちづくりの進め方を区に提案する活動
- 11．地域のコミュニティ施設（地域区民ひろば、集会室等）を自主的に運営する活動
- 12．地域の歴史や伝統文化の保存継承
- 13．講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動
- 14．お祭りや各種イベント等の活動
- 15．その他（具体的に： \_\_\_\_\_）



問14 こうした活動にあなた自身は参加したことがありますか。(1つに )

1. 日常的・定期的に参加している
2. たまに参加したことがある(1年に数回程度)
3. 参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている
4. 参加したいと思うが、参加できない
5. 参加したくない

→ 問14で「1」～「3」とお答えの方におたずねします

問14-1 こうした活動をする上で、あなたが参加している、または、参加したい活動組織は次のいずれですか。(あてはまるものすべてに )

1. 町会・自治会
2. まちづくり活動組織
3. PTAや子育てグループ
4. その他の地域活動組織
5. ボランティアグループやNPO
6. 趣味のサークル
7. その他(具体的に: )

→ 問14で「4」又は「5」とお答えの方におたずねします

問14-2 どのような理由で参加できない、参加したくないのですか。(あてはまるものすべてに )

1. 参加する時間的な余裕がないから
2. 参加する方法がわからないから
3. 地域の人とのお付き合いがほとんどないから
4. 一緒に活動する仲間がないから
5. 高齢や病気など、体力・健康上の理由で参加できないから
6. 人間関係がわずらわしいから
7. 地域の活動に興味がないから
8. こうした活動は行政に任せるべきだと思うから
9. その他(具体的に: )

問14-3 地域の活動により多くの人に参加できるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに )

1. 活動に関する具体的な情報を広く紹介する
2. 参加しやすい時間設定や単発でも気軽に参加できる環境づくりを進める
3. 活動を担い、リーダーとなる人材を育成する
4. 活動拠点となる施設を整備する
5. 参加した場合にポイント(地域通貨)や特典がもらえるような制度を設ける
6. その他(具体的に: )

問 1 5 一般的に、地域で活動する組織には、次の A・Bふたつがあると言われています。

A	町会・自治会等のように一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織
B	環境・福祉・教育など、特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織

地域の課題を解決していくためには、活動組織間の連携が必要とされますが、どのように連携を図っていくことが望ましいと思いますか。(1つに )

- 1 . Aを中心に連携を図る
- 2 . Aを軸にしつつ、課題に応じてBとの連携を図る
- 3 . AもBも含め、多様な組織が対等な立場で連携を図る
- 4 . どちらともいえない

問 1 6 あなたはこれからの地域のまちづくりを担っていく主体としてどのような主体が重要な役割を担っていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに )

- 1 . 一人ひとりの区民
- 2 . 町会・自治会等の住民組織
- 3 . 区立小中学校やPTA
- 4 . NPOやボランティアグループ
- 5 . 民間企業
- 6 . 大学等教育機関
- 7 . その他(具体的に: )

問 1 7 あなたは、お住まいの地域における様々な課題を解決する場合、住民と行政との役割分担はどうあるべきだと思いますか。(1つに )

- 1 . 基本的に行政が行う
- 2 . 区民の参加を広げながら行政主体で行う
- 3 . 住民と行政とが協力し、協働して行う
- 4 . 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
- 5 . 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
- 6 . よくわからない



・あなたご自身のことについて( 統計的に分析するために使用します。)

あなたの性別をお答えください。( 1つに )

1. 男 性	2. 女 性
--------	--------

あなたの年齢について、お答えください。( 1つに )

1. 18～19 歳	5. 50～59 歳
2. 20～29 歳	6. 60～69 歳
3. 30～39 歳	7. 70 歳以上
4. 40～49 歳	

あなたの職業について、お答えください。( 1つに )

1. 自営業主	5. 専業(無職)の主婦(主夫)
2. 家族従業(家事手伝い)	6. 学 生
3. 勤め(全日)	7. その他(具体的に: )
4. 勤め(パートタイム)	

あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。( 1つに )

1. ずっと住んでいる	2. 他の地域からきた (一時的に豊島区を離れた人も含む)
-------------	----------------------------------

あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。( 1つに )

1. 2年以上～5年未満	3. 10年以上～20年未満
2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上

あなたのお住まいの町名について、お答えください。(番号に 印をつけ、( )内に数字もお書きください。) 記入例 ① 駒込 ( 2 ) 丁目

1. 駒 込 ( ) 丁目	8. 南 池 袋 ( ) 丁目	15. 南 長 崎 ( ) 丁目
2. 巢 鴨 ( ) 丁目	9. 西 池 袋 ( ) 丁目	16. 長 崎 ( ) 丁目
3. 西 巢 鴨 ( ) 丁目	10. 池 袋 ( ) 丁目	17. 千 早 ( ) 丁目
4. 北 大 塚 ( ) 丁目	11. 池袋本町 ( ) 丁目	18. 要 町 ( ) 丁目
5. 南 大 塚 ( ) 丁目	12. 雑司が谷 ( ) 丁目	19. 高 松 ( ) 丁目
6. 上 池 袋 ( ) 丁目	13. 高 田 ( ) 丁目	20. 千 川 ( ) 丁目
7. 東 池 袋 ( ) 丁目	14. 目 白 ( ) 丁目	

あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに )

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	(具体的に: )

▶ で「3」または「4」とお答えの方におたずねします  
あなたの家族に中学生以下のお子さんは何人いらっしゃいますか。(1つに )

1. いない	3. 2 人
2. 1 人	4. 3人以上

あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに )

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)
2. 集合住宅(分譲)	4. その他

豊島区では、より一層の区民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。あなたが日々暮らしていく中で最近「豊島区が変わったな」と感じる事(豊島区が良くなったこと、悪くなったこと、取り組みをもっと進めてほしいことなど)についてご自由にお書きください。


調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に3つ折にして入れて8月22日(水)までにお近くのポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



## **協働のまちづくりに関する区民意識調査**

平成20(2008)年3月発行  
(平成19年8月実施)

豊島区政策経営部企画課

東京都豊島区東池袋1-18-1  
電話 03(3981)1111

